

市民活動支援に関するアンケート 集計結果報告書

我孫子市役所 市民活動支援課

平成29年2月

目次

1. 調査概要.....	1
2. 調査内容.....	1
3. 調査結果.....	2
【1. 団体の概要について】.....	2
(1) 会員数.....	2
(2) 設立経過年.....	3
(3) 主な年齢層.....	4
(4) 活動分野.....	5
(5) 社会貢献を主たる目的としているか.....	6
問1 活動する上で困っていることはありますか。.....	7
問2 活動する上でどのような支援を必要としていますか。.....	9
問3 団体の活動場所について.....	11
(1) 団体の事務局（連絡先）は、どこに置いていますか。.....	11
(2) 活動には、主にどのような場所を使っていますか。.....	12
(3) 今後、活動する上で使用したい場所はありますか。.....	13
(4) 活動場所について、現在お困りのことがありましたらお書きください。.....	14
問4 貴団体の会員等について伺います。.....	15
(1) 前年の同時期と比べて会員数の増減はありましたか。.....	15
(2) 会員に関することで苦勞していることは何ですか。.....	16
(3) 会員を増やすために行っていることは何ですか。.....	17
(4) 会員について現在お困りのことがありましたらご記入ください。.....	18
問5 貴団体の資金について伺います。.....	19
(1) 過去3年間の平均的な年間活動費用はどのくらいですか。.....	19
(2) 主な収入源は何ですか。.....	20
(3) 負担となっている主な経費は何ですか。.....	21
(4) 活動資金について現在お困りのことがありましたらご記入ください。.....	23
問6 貴団体と他の団体との関係について伺います。.....	25
(1) 団体と関わりを持っている団体はありますか。.....	25
(2) 団体が今後関わりを持ちたい団体はありますか。.....	27
(3) 「地域会議」について、知っていますか。.....	29
(4) 機会があれば「地域会議」に参加してみたいと思いませんか。.....	29
(5) 「あびこ市民活動ネットワーク」について、知っていますか。.....	30
(6) 他団体との連携について現在お困りのことがありましたらご記入ください。...	31
問7 貴団体の今後の展望についてお伺いします。.....	32
(1) 今後NPO法人格を取得する考えはありますか。.....	32

(2) 今後の団体活動についてどのようにお考えですか。	33
問8 「あびこ市民活動ステーション」の利用についてお伺いします。	34
(1) 「あびこ市民活動ステーション」の利用頻度を教えてください。	34
(2) 「あびこ市民活動ステーション」の利用目的を教えてください。	35
(3) 今後の「あびこ市民活動ステーション」に期待する機能は何ですか。	36
我孫子市の市民活動支援に関するご意見や、市に期待することがありましたら、ご遠慮なくお書きください。	38
4. クロス調査結果	45
① 会員の主な年齢層×活動する上で困っていること	45
② 会員の主な年齢層×活動する上での必要な支援	49
③ 会員の主な年齢層×会員の増減	53
④ 会員の主な年齢層×担い手対策のために行っていること	56
⑤ 会員の主な年齢層×負担となっている経費	59
⑥ 活動分野×活動する上で困っていること	63
⑦ 活動分野×活動する上での必要な支援	67
⑧ 活動分野×会員の増減	71
⑨ 活動分野×担い手対策のために行っていること	73
⑩ 活動分野×負担となっている経費	76
⑪ 会員の増減について	80
1) 会員の増減×設立経過年	80
2) 会員の増減×活動に使用する主な場所	80
3) 会員の増減×会員に関することで苦勞していること	81
4) 会員の増減×年間活動費用	81
5) 会員の増減×主な収入源	82
8) 会員の増減×今後関わりを持ちたい団体	84
9) 会員の増減×担い手対策のために行っていること	84
10) 会員の増減に係る総括	85
5. 終わりに	85
【資料】市民活動支援に関するアンケート	

1. 調査概要

我孫子市の市民活動団体の実態を調査するため、平成28年8月にアンケートを実施した。

本アンケートは、平成12年に我孫子市で行った「市民公益活動・市民事業団体（グループ）実態調査表」、平成21，25年に我孫子市市民活動サポート委員会で行った「市民活動支援に関するアンケート調査」を基に作成し、353団体に送付。209団体から回答があった。

【調査期間】 平成28年8月19日～平成28年9月16日

【調査方法】 あびこ市民活動ステーション利用者、市内NPO法人に郵送で送付。

【回答方法】 郵送（193）、FAX（0）、インターネット（16）による回答

【回答率】 59.2%（209／353）

2. 調査内容

本アンケートでは、「団体の概要について」、「団体の現状と支援策について」を主要項目として、全32問で構成されている。

また、「団体の現状と支援策について」では、活動する上で困っていること、支援が必要なこと、会員、活動場所、活動費用、連携状況、今後の展望、市民活動ステーションに関する項目を設けている。アンケート表の詳細は添付資料のとおり。

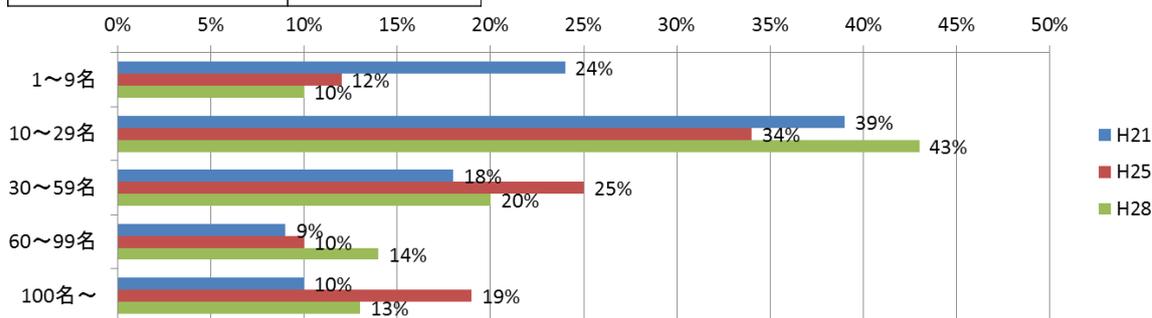
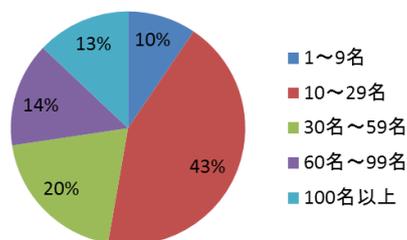
3. 調査結果

【1. 団体の概要について】

(1) 会員数

回答団体数：201

内容	回答数
1～9名	19
10～29名	87
30名～59名	40
60名～99名	29
100名以上	26

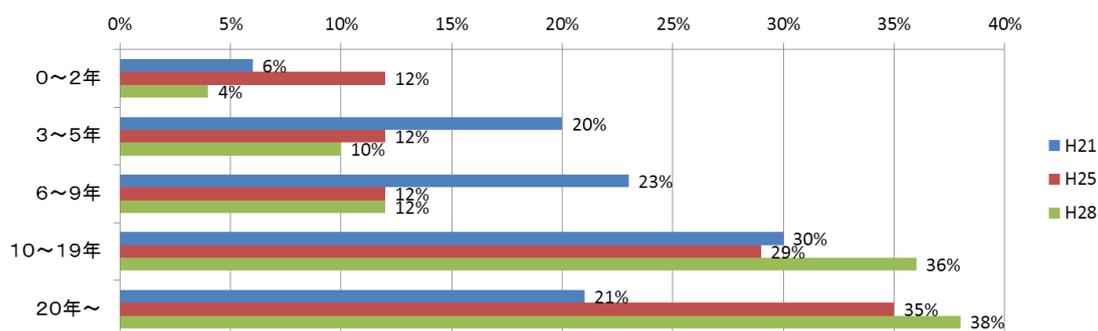
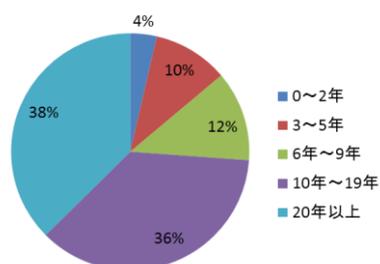


- ・平成28年の調査では、10～29名の団体が一番多く、全体の43%を占めた。
- ・平成25年から比較すると、「10～29名」、「60～99名」の団体は増加しているが、「1～9名」、「30～59名」、「100名以上」の団体数は減少している。
- ・団体規模は調査年によって異なるが、平成21年から比較すると、「10名未満」の団体数は、減少傾向にあり、「60～99名」の団体数は増加傾向にある。
- ・30名未満の団体数は、平成21年には、全体の63%を占めていたが、平成28年度になると53%にまで減少した。ただし、10～29名の団体は増えていることから、活動が活性化し、会員が増えた団体が増加したことが考えられる。60～99名の団体が年々増加していることから同様の事が考えられる。

(2) 設立経過年

回答団体数：195

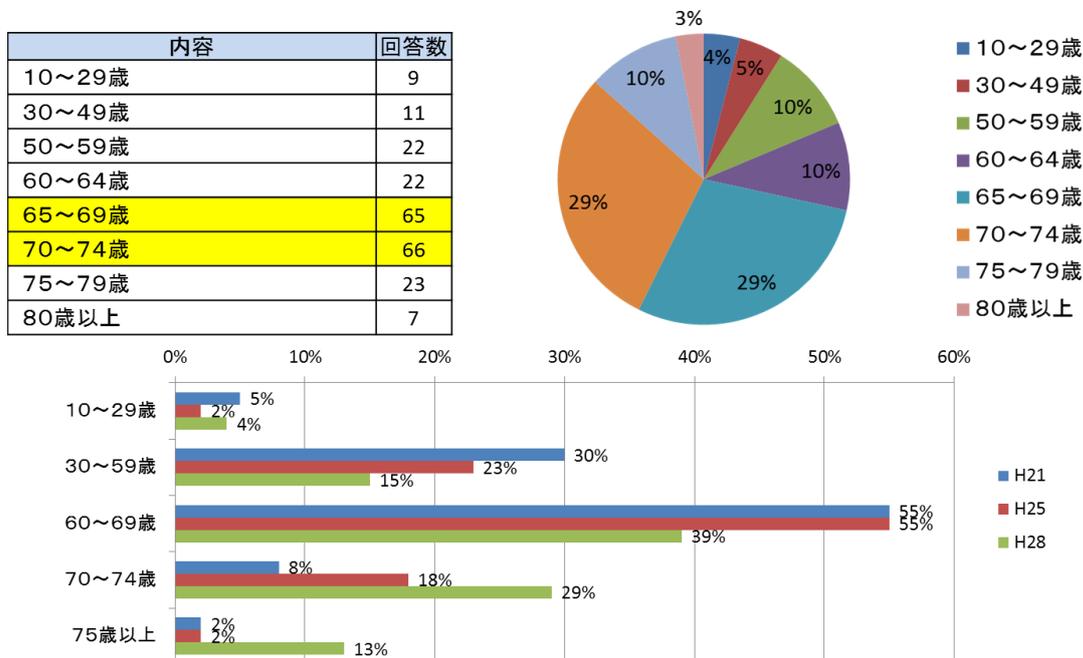
内容	団体数
0～2年	7
3～5年	20
6年～9年	24
10年～19年	71
20年以上	73



- ・平成28年の調査では、20年以上の団体が一番多く、全体の38%を占める。
- ・また、10年～19年の団体もほぼ同数の団体があり、10年以上の団体が全体の74%を占める。
- ・0～2年の団体数は減少しており、全体の4%のみとなっている。
- ・平成25年以降、10年以上の団体の割合が増加している。
- ・0～5年の団体数が減少傾向にある。今回の調査対象である市民活動ステーションを新規団体が利用していないことが考えられる。また、新しい市民活動団体が一時期より減っていることも考えられる。また、平成25年調査時に立ちあがったばかりの団体が解散をした、もしくは調査に回答していない可能性がある。
- ・10年以上の団体が増加傾向にある。既存の団体が長く活動をしており、今後もこの傾向は変わらないと考えられる。

(3) 主な年齢層

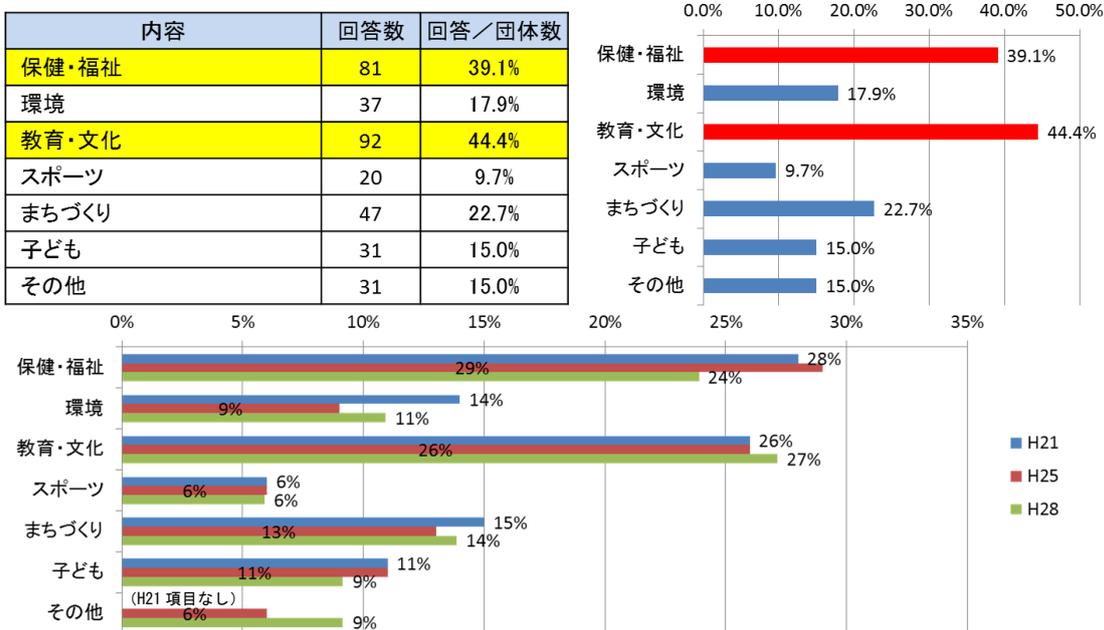
回答団体数：197、総回答数：225



- ・平成28年調査では、65～69歳、70～74歳の比率が一番高く、それぞれ29%を占めた。
- ・過去との比較では、70～74歳の増加傾向が顕著である。また、30～59歳の団体は年々減少傾向にある。75歳以上の団体は、今まで全体の2%の割合だったが、今回の調査では、全体の13%を占めた。
- ・10～29歳の割合は平成25年調査時よりも若干増加している。
- ・60歳代前半よりも後半の年代の方が約3倍多い。
- ・今回のアンケートに協力いただいた団体の70%近くが65歳以上の団体である。団体の構成メンバーには定年退職後の方が多く参加していることがわかる。また、年々高齢化が進んでいることがわかる。
- ・30～59歳の団体は、減少傾向にあるが、60～69歳の団体が増加傾向に無い為、平成21年以降、解散等活動をしていないことが考えられる。

(4) 活動分野 (3つまで)

回答団体数：207 総回答数：339



「その他」の内容：

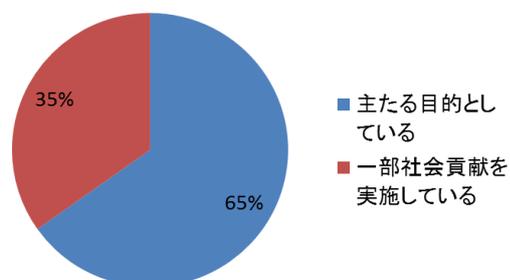
- ・ 農業 (有機) (2)
- ・ 自然エネルギー
- ・ 生きがい? 作り
- ・ 音楽(5)
- ・ 社会貢献
- ・ 平和・核廃絶
- ・ 一緒に歌う
- ・ 作家活動
- ・ 伝統芸能, 日本舞踊(2)
- ・ 福祉ボランティア
- ・ 俳句・短歌(2)
- ・ パソコンサポート
- ・ 国際化推進(2)
- ・ 高齢者の交流
- ・ 老人福祉
- ・ 勉強会
- ・ 消費生活
- ・ 武道
- ・ 歴史、郷土史
- ・ 地域活性化
- ・ ボランティア、料理
- ・ 動物保護
- ・ 市民への情報発信、啓発

- ・ 活動分野については、過去の傾向と大差はないが、「その他」の割合が増加している。また、「保健・福祉」が平成25年度と比較すると5%減少している。
- ・ 「その他」が増加していることから既存の枠組みにとられない多様な市民活動が生まれていると考えられる。

(5) 社会貢献を主たる目的としているか

回答団体数：201

内容	回答数
主たる目的としている	131
一部社会貢献を実施している	70



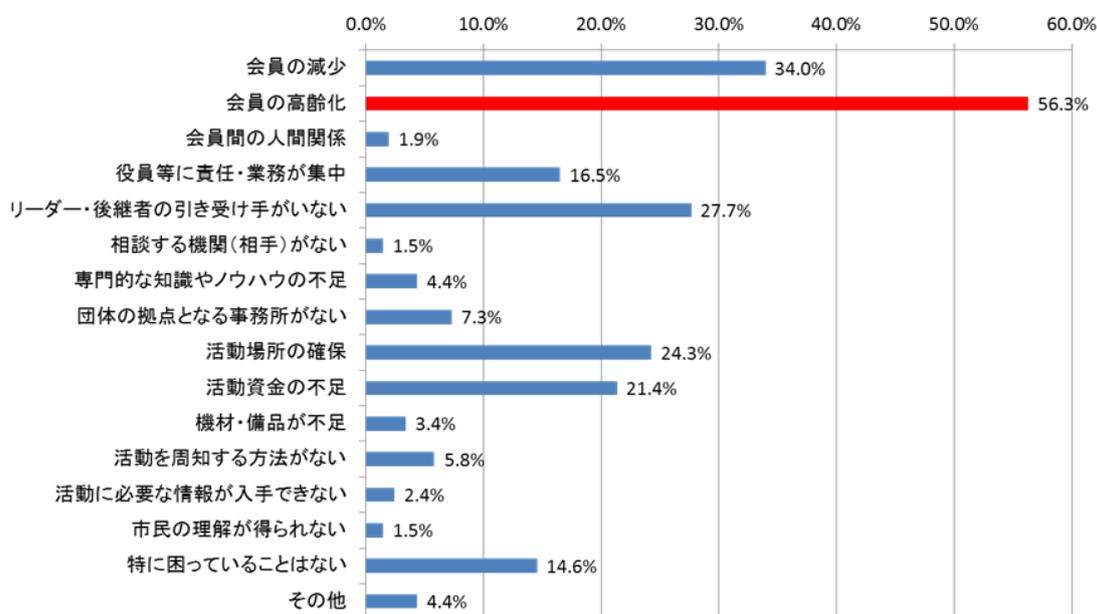
-
- ・社会貢献を主たる目的としている団体が多く、全体の65%の割合を占めた。また、一部社会貢献を実施している団体は全体の35%の割合となった。
 - ・一部社会貢献を実施している団体も少なくないため、自分達の楽しみだけでなく、自分たちのための活動にプラスして社会貢献を実施している団体がいることが考えられる。

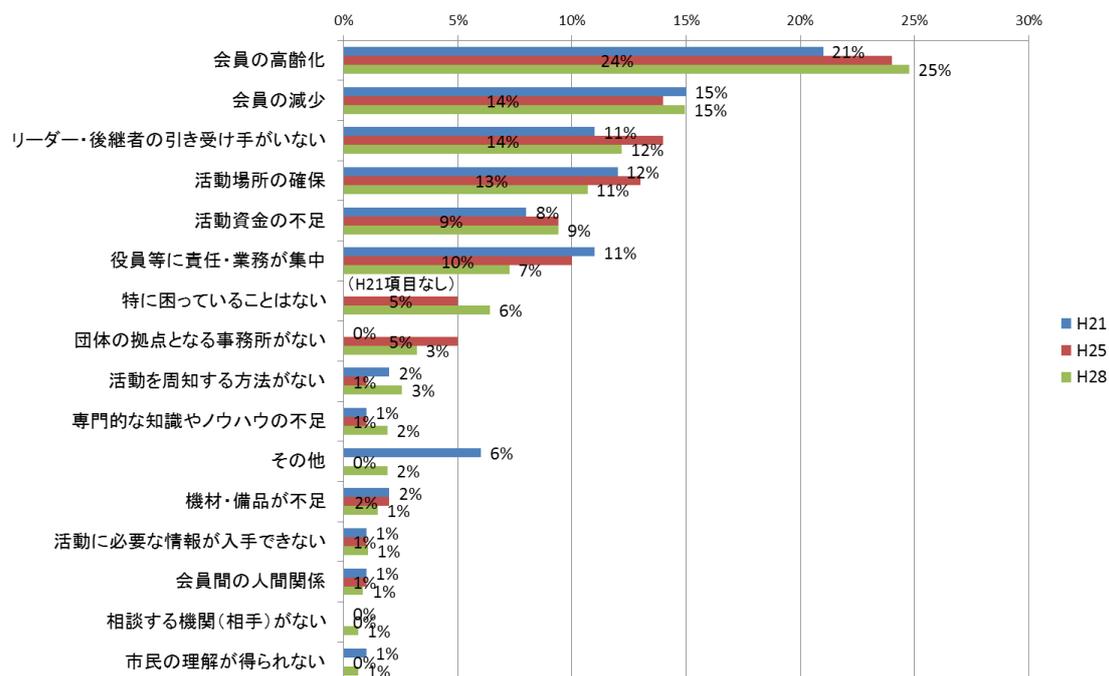
【2. 団体の現状と支援策について】

問1 活動する上で困っていることはありますか。(3つまで)

回答団体数：206、総回答数：468

内容	回答数	回答 / 団体数
会員の減少	70	34.0%
会員の高齢化	116	56.3%
会員間の人間関係	4	1.9%
役員等に責任・業務が集中	34	16.5%
リーダー・後継者の引き受け手がない	57	27.7%
相談する機関(相手)がない	3	1.5%
専門的な知識やノウハウの不足	9	4.4%
団体の拠点となる事務所がない	15	7.3%
活動場所の確保	50	24.3%
活動資金の不足	44	21.4%
機材・備品が不足	7	3.4%
活動を周知する方法がない	12	5.8%
活動に必要な情報が入手できない	5	2.4%
市民の理解が得られない	3	1.5%
特に困っていることはない	30	14.6%
その他	9	4.4%





「その他」内容：

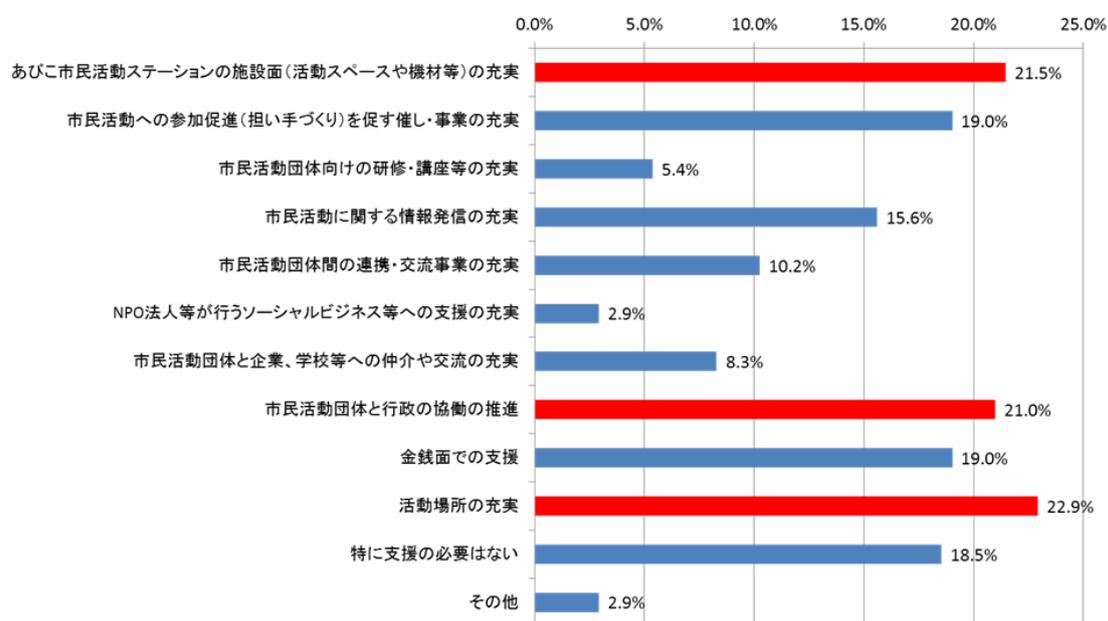
- ・ スタッフ、人手不足（２）
- ・ ボランティア施設へ行く時の送迎を希望したい。
- ・ 行政の支援がない。（２）
- ・ 会員それぞれやりたい事が違ってきている。
- ・ 利用者が増えない
- ・ 活動したいことはあるが、仕事を持っているので皆忙しく、実行できない。公共性のある活動を行っているので市や県の協力はほしい。
- ・ 介護
- ・ 講座の受講者増進
- ・ 道具の保管場所

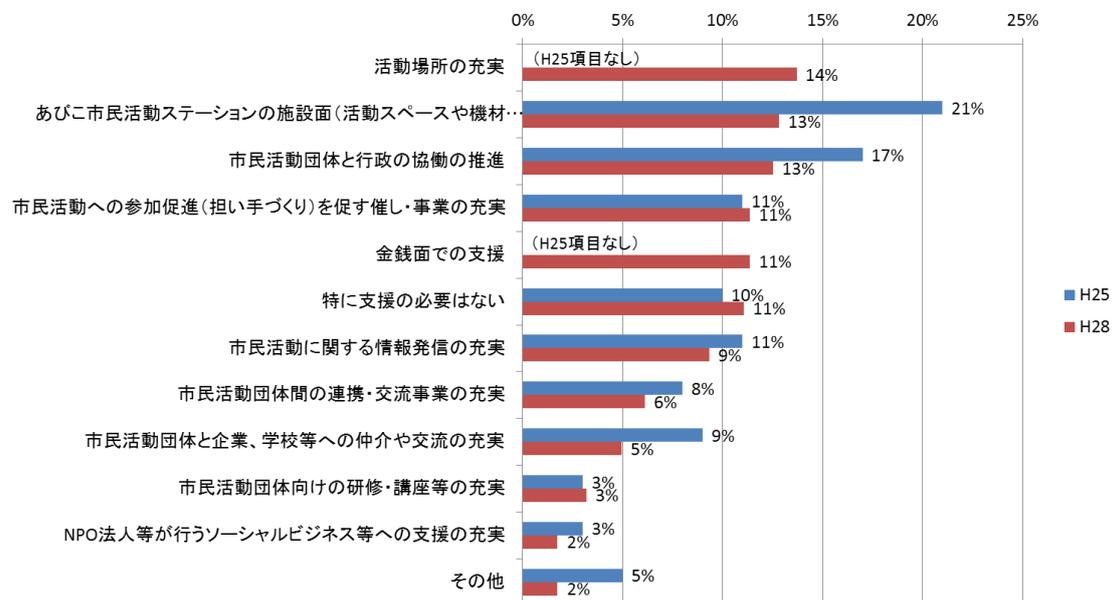
- ・ 会員の高齢化や減少など困っていることの多くは「人」に関する課題となっている。特に会員の高齢化は、団体の５６％が挙げている課題となっている。
- ・ 続いて、「活動場所の確保」、「活動資金の不足」が挙げられており、「人」、「場所」、「金」についての課題が多いことがわかる。
- ・ その他、過去の調査結果から大きな違いはない。
- ・ 我孫子市の市民活動団体の課題は「人」に関する事項が多く、特に高齢化による課題が多い。長年活動している団体の会員が年を重ねていることで高齢化が進んでいることがわかる。

問2 活動する上でどのような支援を必要としていますか。(2つまで)

回答団体数：205 総回答数：343

内容	回答数	回答 / 団体数
あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実	44	21.5%
市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実	39	19.0%
市民活動団体向けの研修・講座等の充実	11	5.4%
市民活動に関する情報発信の充実	32	15.6%
市民活動団体間の連携・交流事業の充実	21	10.2%
NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実	6	2.9%
市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実	17	8.3%
市民活動団体と行政の協働の推進	43	21.0%
金銭面での支援	39	19.0%
活動場所の充実	47	22.9%
特に支援の必要はない	38	18.5%
その他	6	2.9%





その他内容：

- ・市内で活動場所が確保できないため他市の施設を借用している。活動拠点が市内でないことの不安は常にある。
- ・担い手を増加するようにPTAや自治会へも橋渡し役を行政がしてほしい。
- ・見学時のバスの提供
- ・広報あびこなどによりPRしてもらう
- ・減免団体として現在市内5各場全て、年間の施設使用を希望。
- ・ボランティアの紹介
- ・行政の動物保護活動への積極的な理解

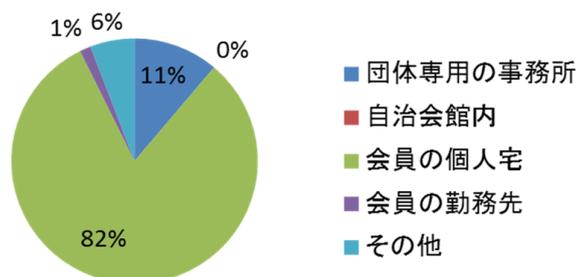
-
- ・平成25年調査時には、あびこ市民活動ステーションの充実が一番多い回答だったが、平成28年には期待する支援は多岐にわたり、幅広い支援を求めている。
 - ・活動場所、ステーションの充実を望まれている団体が多いことから「場」の支援の充実を求めていることが分かる。また、場の支援以外では、「市民活動団体と行政の協働の推進」が多く挙げられている。
 - ・金銭面での支援、担い手対策等団体運営に必要な不可欠な点への支援が求められていることから、現行の制度だけではなく、新たな支援の必要性がある。

問3 団体の活動場所について

(1) 団体の事務局（連絡先）は、どこに置いていますか。

回答団体数：205、総回答数：206（※一部複数回答有り）

内容	回答数
団体専用の事務所	23
自治会館内	0
会員の個人宅	168
会員の勤務先	3
その他	12



その他内容：

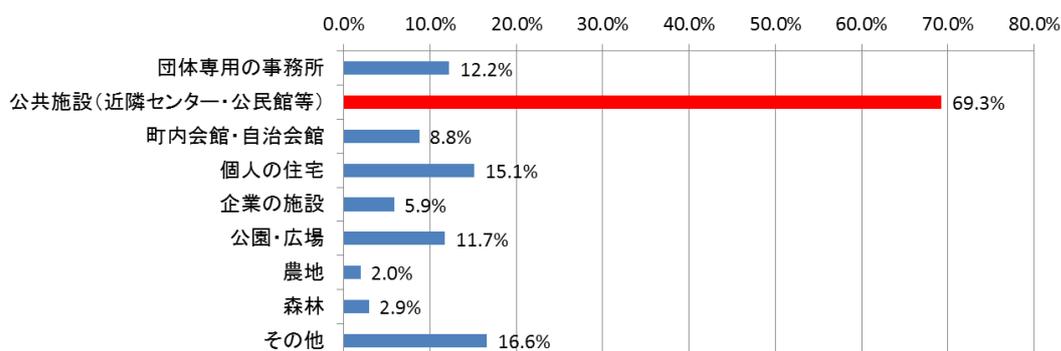
- ・市役所（4）
- ・他のNPO団体施設の間借り
- ・会長宅(5)
- ・団体が運営する事業所内
- ・あびこ市民活動ステーション
- ・飲食店…報告会
- ・我孫子市ふれあい工房
- ・社協（て・と・り・あ）

-
- ・団体の事務局は、82%の団体が会員の個人宅においている。また、団体専用の事務所を有している団体は、11%にとどまった。
 - ・また、事務局として特定の場所がない団体も見受けられる。
 - ・団体専用の事務所を用意するほど資金に余裕がないこと、また、専用の事務所への必要性を感じていない団体が多いことが考えられる。

(2) 活動には、主にどのような場所を使っていますか。(2つまで)

回答団体数：205、総回答数：296

内容	団体数	回答 / 団体数
団体専用の事務所	25	12.2%
公共施設(近隣センター・公民館等)	142	69.3%
町内会館・自治会館	18	8.8%
個人の住宅	31	15.1%
企業の施設	12	5.9%
公園・広場	24	11.7%
農地	4	2.0%
森林	6	2.9%
その他	34	16.6%



「その他」内容：

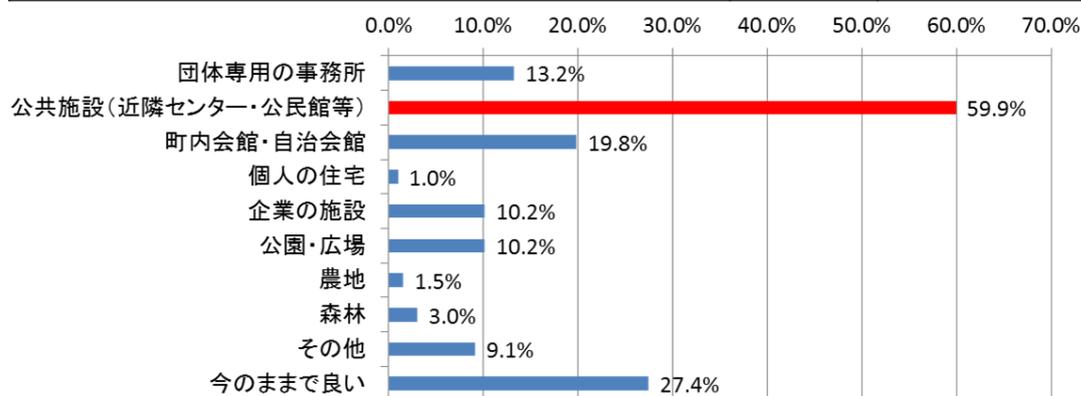
- ・各自のパソコンを使用している。
- ・活動場所は各施設10ヶ所
- ・郊外
- ・カラオケ店
- ・銀行、スーパー、駅、道路上
- ・中央学院大学、お寺
- ・飲食店(2)
- ・我孫子警察署
- ・手賀沼(3)
- ・個人のお店
- ・山岳
- ・リウマチの会員が活動する場所に行っ
て手伝う
- ・学校施設(2)
- ・我孫子市ふれあい工房
- ・スキー場

- ・公共施設を利用している団体が全体の69.3%を占め、「公園・広場」、「農地」、「森林」等、活動内容にあわせた場所を利用している団体が次いで多い。
- ・その他の回答が全体の16.6%を占めている。
- ・我孫子市内の団体活動のベースは、公共施設となっている。民間の貸しスペースと比較すると安価に利用できることも要因の一つだと考えられる。また、外の活動がメインの団体も打ち合わせ等で会議スペースが必要なことから公共施設が多くなっていると考えられる。

(3) 今後、活動する上で使用したい場所はありますか。(全てに)

回答団体数：197 総回答数：306

内容	団体数	回答 / 団体数
団体専用の事務所	26	13.2%
公共施設(近隣センター・公民館等)	118	59.9%
町内会館・自治会館	39	19.8%
個人の住宅	2	1.0%
企業の施設	20	10.2%
公園・広場	20	10.2%
農地	3	1.5%
森林	6	3.0%
その他	18	9.1%
今のままで良い	54	27.4%



その他内容：

- ・ けやきビル前広場
- ・ 市民プラザ
- ・ カラオケ店
- ・ 市内の運動施設
- ・ 銀行、スーパー、駅、道路
- ・ 学校施設(2)
- ・ 市内道路、手賀沼
- ・ 団体専用又は共用の倉庫
- ・ 老人施設
- ・ 運動用具、事務用品の保管庫
- ・ 国の法定基準をみたした建物
- ・ 会議スペース
- ・ 神社

- ・ 公共施設を利用したい団体が全体の59.9%を占めた。また、「町内会館・自治会館」をあげている団体も19.8%を占めている。
- ・ 一方、「今のままでよい。」を挙げている団体は全体の27.4%を占めている。
- ・ 現行の利用状況と比較すると、「町内会館・自治会館」の使用希望が増えている。また、「個人の住宅」は現行では使用している団体は多いが、継続的に使用したいと考えている団体は少ない。

(4) 活動場所について、現在お困りのことがありましたらお書きください。

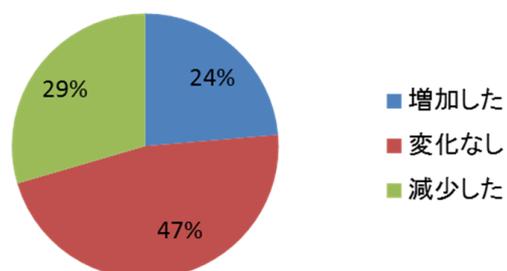
- ・活動公園の整備（ペタンクをプレーする為に練習場所の整備、砂を入れて欲しい）
- ・遊休農地や放棄森林（里山）対策
- ・300名程度で階段上の客席と大型スクリーンの会場がほしい。
- ・活動場所は10ヶ所で毎月、目一杯活動している。
- ・会場確保が難しい（13）
- ・グラウンドの整備（草刈）、クラブハウス（受付事務、掲示、休憩場所、私物一時保管、etc.）
- ・時間がバラバラで、統一して欲しい。
- ・「教室」として恒常的に使用できる会場（年間通して）がほしい。
- ・現在活動場所は市民体育館武道場のみで、車のない方の参加が難しい。
- ・老朽化による新拠点を強く要望
- ・専用の事務所が欲しい
- ・公共施設の一部を障害者団体優先の会場を設けて欲しい。（抽選に当たる確率が少ない）
- ・100人位で活動できるホールがほしい
- ・小学校体育館利用させていただいているが、短期使用による利用不可が年間6～7回ある（25回中）
- ・講演会等の会場確保に、講師の日程との調整と、公共施設の抽選との間で困っている。
- ・使用機材・用具の倉庫の確保（個人保管、搬入が多い）
- ・靴をはいたままで使える場所、施設が少ない
- ・音楽ホールがない
- ・今の施設が国の法定基準をみたしていないため、新に建設しないと会の存続が難しくなる。
- ・市民活動ステーション会議室の定期的予約を半年～1年分まとめてできるようにしてほしい。
- ・市民会館の再建が遅い
- ・近隣センターなどでの利用料が負担。利用者にとって利便性の高い場所での開催が阻害されている。他市では公共施設の無料使用をさせているようだ。本市も社会貢献度の高い活動は無料で開放してほしい。

問4 貴団体の会員等について伺います。

(1) 前年の同時期と比べて会員数の増減はありましたか。

回答団体数：202、総回答数：203（※一部複数回答有り）

内容	回答数
増加した	48
変化なし	95
減少した	60

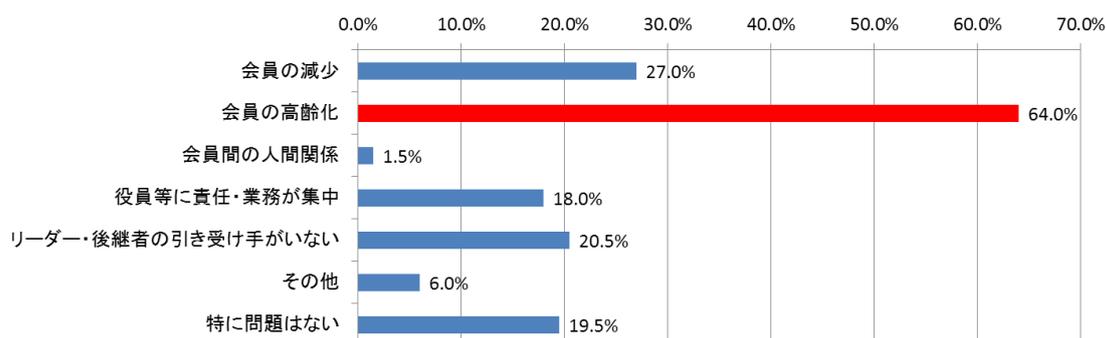


- ・全体の47%の団体で「変化なし」と回答している。
- ・次いで、「減少した」が29%、「増加した」が24%となっている。
- ・約半数の団体は会員の増減については変化がないと回答しているが、増加していると回答している団体よりも減少したと回答している団体のほうが多いことから、新たに市民活動を始める人はいるものの、全体で見れば減少傾向が見受けられる。

(2) 会員に関することで苦労していることは何ですか。(2つまで)

回答団体数：202、総回答数：313

内容	回答数	回答 / 団体数
会員の減少	54	27.0%
会員の高齢化	128	64.0%
会員間の人間関係	3	1.5%
役員等に責任・業務が集中	36	18.0%
リーダー・後継者の引き受け手がいない	41	20.5%
その他	12	6.0%
特に問題はない	39	19.5%



その他内容：

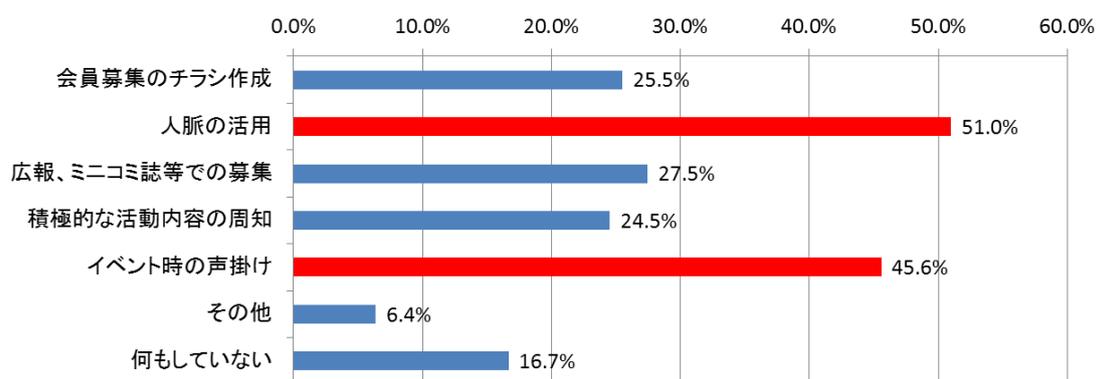
- ・若い人の加入が少ない(2)
- ・言語障害の早期発見を促したいので、市との連携を計りたいが時間がとれない。
- ・会の活動に無関心な会員
- ・会員の獲得
- ・地区老人会を中心に呼びかけているがあまり効果がない。これからは、見守りの会、町会にも働きかけたい。
- ・拡大のために時間が割けない
- ・皆仕事が忙しく年々ボランティアに時間を割けなくなってきている。
- ・介護、健康問題等あり、会員が多忙である。
- ・PC 技術力レベルアップと活動参加意欲の向上

- ・会員の高齢化が全体の64.0%を占めており、他の回答と比べると圧倒的に多い。
- ・次いで、会員の減少が27.0%を占めている。
- ・一方、特に問題はないと回答している団体も19.5%を占める。
- ・「その他」で挙げられている、会員ではあるが活動に参加をしない・できない会員も増えており活動への関わり方を団体として考える必要性があるとの回答もある。
- ・役員等に責任・業務が集中していることが、リーダー・後継者の引き受け手がいない要因となっていると考えられる。
- ・会員が一律に同じ活動を行うことが高齢化やその他の事情によって困難となっていることから会の活動への関わり方についても検討する必要性があると考えられる。

(3) 会員を増やすために行っていることは何ですか。(全てに)

回答団体数：204、総回答数：402

内容	団体数	回答 / 団体数
会員募集のチラシ作成	52	25.5%
人脈の活用	104	51.0%
広報、ミニコミ誌等での募集	56	27.5%
積極的な活動内容の周知	50	24.5%
イベント時の声掛け	93	45.6%
その他	13	6.4%
何もしていない	34	16.7%



「その他」内容：

- ・会費の値下げ
- ・ホームページ作成・充実(4)
- ・会報に広告掲載
- ・特支でのチラシ配布、子ども発達センターでの対話会
- ・個別訪問(2)
- ・活動内容の充実
- ・養成講座を定期的に関催
- ・会報誌(活動内容紹介と入会案内)を年2回市内各施設に配布・掲示依頼

- ・約半数の団体が、「人脈の活用(51.0%)」「イベント時の声掛け(45.6%)」など直接的な方法で行っている。
- ・「会員募集のチラシ作成(25.5%)」や「広報、ミニコミ誌等での周知(27.5%)」等、間接的な方法で行っている団体は全体の1/4程度。
- ・何もしていないは16.7%
- ・直接的な方法で会員募集をしている団体が多く、チラシ等、間接的な方法で募集をかける団体とは約2倍の差がある。要因は、チラシの作成や広報誌での周知には手間やお金がかかることからこのような結果になっていると考えられる。
- ・直接の声掛けは効果が高いが、人脈等を使うことにも限界があるため、より効果的な活動周知や広報の方法を検討する必要性が高いことが考えられる。

(4) 会員について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

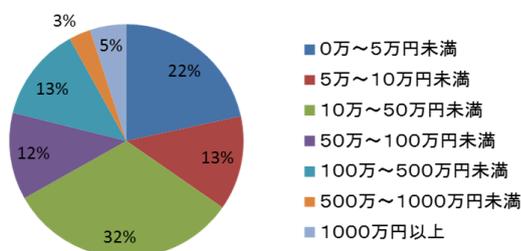
- ・生徒数確保と維持策
- ・高齢化で運転が出来なくなっているの、行動範囲が狭まってくる。
- ・大会時に他団体に内容を理解してもらい連絡会に参加をお願いしている。
- ・最近、会員同志の懇親・交流がない。
- ・2～3才の低年齢児の来所を促したいが、現状としては不十分。
- ・若い会員を増やしたい。
- ・確実に会員は増加しており、特に困ったことはありません。
- ・高齢の為、活動できなくなりやめる人が多い
- ・活動の肉体的負荷が多い（体力の持続）
- ・会員の悩みや課題についてしっかり把握できていない
- ・会員それぞれが自分がやりたい事をやりはじめ全員での活動はできなくなってきている。
解散するかどうかが考えているが、今のところ年数回集まって自分のやっている事の活動報告をしている。せっかくいい仲間と出会えたので、解散するのも残念で…。
- ・次世代のボランティア会員
- ・会員の高齢化。

問5 貴団体の資金について伺います。

(1) 過去3年間の平均的な年間活動費用はどのくらいですか。

回答団体数：198、総回答数：199（※一部複数回答有り）

内容	回答数
0万～5万円未満	43
5万～10万円未満	26
10万～50万円未満	64
50万～100万円未満	24
100万～500万円未満	26
500万～1000万円未満	6
1000万円以上	10

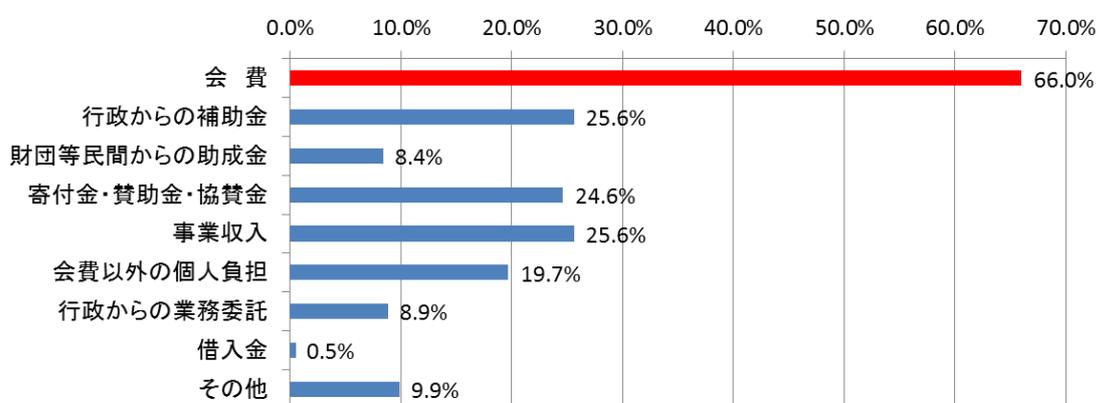


- ・年間活動費用は「10万～50万円未満」が一番多く、全体の32%を占めている。次いで「5万円未満」で活動している団体が全体の22%を占めている。
- ・一方、「1000万円以上」の団体も全体の5%を占めている。
- ・活動費用については、団体の規模によってそれぞれ異なる結果となっている。団体の規模や活動内容によって必要となる予算が異なるため上記のような結果となったと考えられる。

(2) 主な収入源は何ですか。(3つまで)

回答団体数：203、総回答数：384

内容	団体数	回答 / 団体数
会費	134	66.0%
行政からの補助金	52	25.6%
財団等民間からの助成金	17	8.4%
寄付金・賛助金・協賛金	50	24.6%
事業収入	52	25.6%
会費以外の個人負担	40	19.7%
行政からの業務委託	18	8.9%
借入金	1	0.5%
その他	20	9.9%



その他内容：

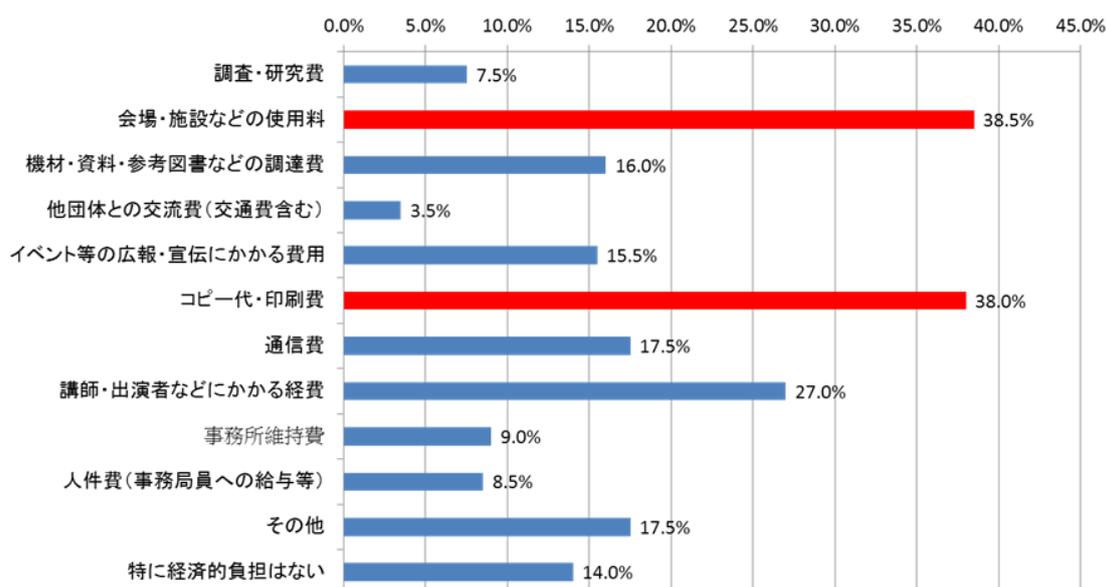
- ・大会参加費1人300円を留保している。
- ・内部留保の取り崩し
- ・委託金で運営しているため、ボランティア側は集めていない。昼食等経費は自己負担。
- ・収入源は無
- ・国保連の給付金
- ・介護保険のヘルプ
- ・消耗品は理解者から寄付をうけている。
- ・町会からの助成
- ・社協からの助成金
- ・①話しあい決定②任務分担③各自負担④不足分役員

- ・「会費」を主な収入源としている団体が全体の66.0%を占めている。
- ・「行政からの補助金」「事業収入」を主な収入源と答えた団体が25.6%を占めている。
- ・「会費以外の個人負担」を主な収入源としている団体が19.7%を占めている。
- ・我孫子市の団体の多くが会費によって活動を行っている一方、「会費以外の個人負担」を主な収入源としている団体も20%近く存在する。活動規模に対する適正な会費設定が必要だと考えられる。
- ・行政からの補助金が主な収入源とあげている団体は25%である一方、民間からの助成金は8.4%に留まっている。分野ごとの民間の助成金も多いため、周知等も必要。

(3) 負担となっている主な経費は何ですか。(3つまで)

回答団体数：200、総回答数：425

内容	回答数	回答／団体数
調査・研究費	15	7.5%
会場・施設などの使用料	77	38.5%
機材・資料・参考図書などの調達費	32	16.0%
他団体との交流費(交通費含む)	7	3.5%
イベント等の広報・宣伝にかかる費用	31	15.5%
コピー代・印刷費	76	38.0%
通信費	35	17.5%
講師・出演者などにかかる経費	54	27.0%
事務所維持費	18	9.0%
人件費(事務局員への給与等)	17	8.5%
その他	35	17.5%
特に経済的負担はない	28	14.0%



「その他」内容：

- ・ 作業労務費
- ・ 活動する団体の登録費
- ・ 研修費、内外大会行事費、県・日本協会登録費
- ・ イベント費用(4)
- ・ イルミネーション代
- ・ おもちゃなど消耗品費(2)
- ・ 楽譜の編曲料金
- ・ 資材の配達料
- ・ シャトル代・道具類を保管する倉庫代
- ・ 車両維持
- ・ 決算費用、税金
- ・ 保護動物への恒常的な給餌
- ・ 毎回出す茶菓代

- 会報の発行 12回/年 刷費、配布時の交通費
 - 講習会、教室開催時の役員経費
 - ガイドマップを作成し、配布する時の印
-

- 会場・施設などの使用料（38.5%）、コピー代・印刷費（38.0%）が負担となっている団体が多い。
- 「特に経済的負担はない」と回答したのは、全体の14%
- 会場使用料やコピー代等すべての団体に関係のある経費以外では、分野や活動内容によって必要となる経費は様々である。
- 公共施設の利用が多いことから、施設等の利用料が負担となっていることがわかる。

(4) 活動資金について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

- ・年2回の大会への補助金を希望
- ・事業拡大に伴う活動資金の調達
- ・気をつかわなくても良いので自分で負担している。
- ・活動費用全て役員が負担している。ボランティア活動に限界を感じる。(検討の要有)
- ・交通費は自腹
- ・経理事務やマネジメントに関する活動を理事が代行していますが、いずれ誰かに役割をもってもらいたいが、その時経費がありません。高齢化しており困っています。
- ・会費のみで運営。かなり節約していることと、講師出演者の方々の好意に頼っている。
- ・会員はボランティア(スタッフ)であるが、交通費は保証したいのだが現在「片道」又は「数ヶ月分」のみ支給である。そのための財政づくりが課題である。
- ・資金があれば事務所や活動場所がほしい。
- ・月2回の会場確保
- ・会員を減少させず増やすため会費を上げたくてもあげられない。そのため個人負担をできるだけ少なくしている。
- ・活動を広げる為、チラシ等の発行
- ・外国(フィリピン等)国内対象に活動を広げているので資金はもっとほしい。
- ・(高齢化のため)会員の減少により会費の収入が減っている。
- ・イベントの時の参加者確保に広報活動に苦慮する。
- ・会場費が免除なので助かっている。出演者は、原則、無料をお願いしているが、イベントによっては支払うこともある。利用者からは、100円お菓子代をいただいているが、きらめき事業の委託でギリギリまかなっている。
- ・個人負担が少なからず必要
- ・資金不足に伴い、本拠地とする場所の確保が出来ない。
- ・会費以外に对外活動するには、委託費等の収入が必要であるが、収入源が確保できない。
- ・助成金を得られるかが活動全体の質を左右してしまう。
- ・行政からの委託費を引上げて欲しい
- ・「不登校親子応援ガイドマップ」を作製し、教育機関等へ無料で1000冊配布しましたが、残数がわずかとなり、増刷をしたいと考えているが、作製する資金が充分にない。当事者のご家族などから冊子をほしいという声は沢山ある。
- ・活動場所がスキー場だが、近年のバス代の高騰により、参加費を上げざるを得ない。上げると参加者が減少する。講師等の負担も多くなる。
- ・花壇の維持、管理のボランティアとして、花苗、肥料、作業道具等花壇作りに必要な物は現物支給されているが、会維持のための資金の補助がなく、過去のデータの保存、ポスター作製の費用、ユニフォーム等の費用に補助があればいい。
- ・外部からの講師などは不要で、毎月の経費は会場費と印刷費に止まる。ただ、年に一度

の大きなイベント時には、運営費として10万円を超える費用が必要となり、市からの7万円の補助金は大きな支えとなっている。

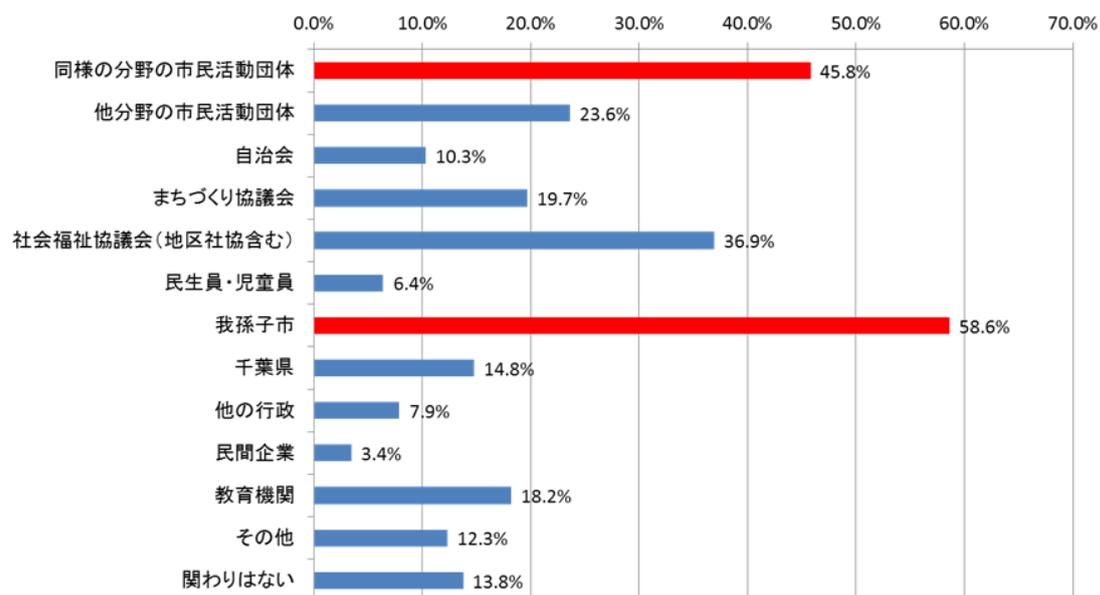
- 資料作成費や交通費、材料費等が会員の持ち出しで活動が成り立っている。これらを支給できるように活動資金を集めたい。
- 玩具が電子化している中で修理用の検査機器の購入等の調達資金が用意できない。

問6 貴団体と他の団体との関係について伺います。

(1) 団体と関わりを持っている団体はありますか。(全てに)

回答団体数：203、総回答数：552

内容	団体数	回答 / 団体数
同様の分野の市民活動団体	93	45.8%
他分野の市民活動団体	48	23.6%
自治会	21	10.3%
まちづくり協議会	40	19.7%
社会福祉協議会(地区社協含む)	75	36.9%
民生員・児童員	13	6.4%
我孫子市	119	58.6%
千葉県	30	14.8%
他の行政	16	7.9%
民間企業	7	3.4%
教育機関	37	18.2%
その他	25	12.3%
関わりはない	28	13.8%



「その他」内容：

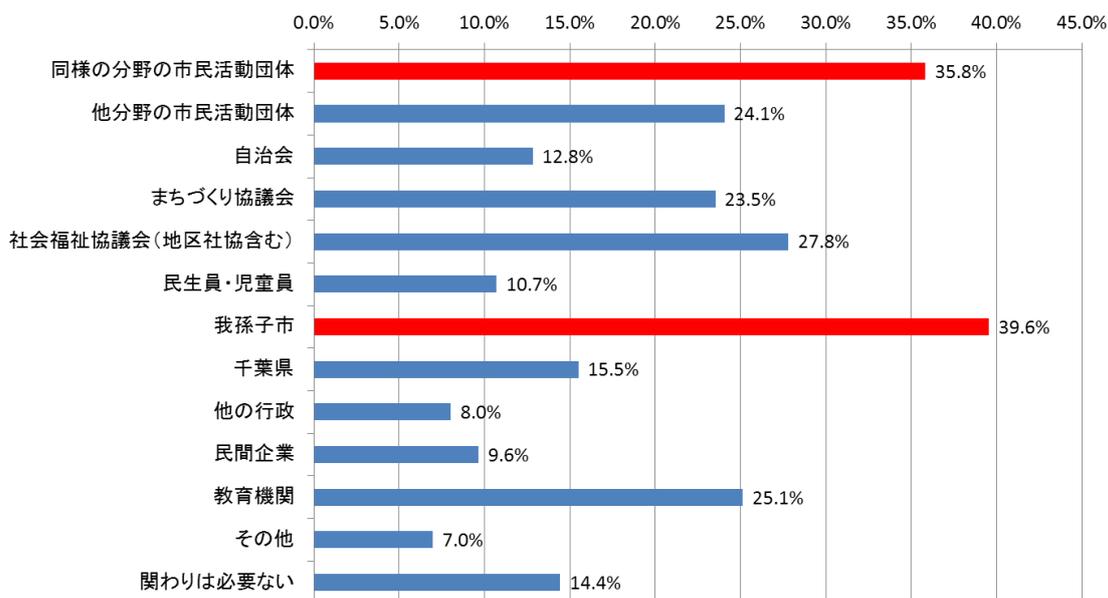
- ・ 関東全体のある親団体
- ・ 市内老人ホーム
- ・ 千葉県 GG 協会、公社法人日本GG協会
- ・ サポートステーション
- ・ 商店会
- ・ 文化連盟、文化講座連合会
- ・ 我孫子市体育協会
- ・ 介護施設
- ・ 幼稚園、保育園、老人施設
- ・ 久寺家中学校、二階堂高校、小規模多機能ホームつくし野荘、地域活動支援センターウィング
- ・ 東葛地区男女共同参画市民活動団体
- ・ 一般市民
- ・ なんでも相談室、慈絃保育園、民間施設わかば湖北台ケアガーデン
- ・ あびこ子どもネットワーク
- ・ おもちゃ図書館県・全国連絡会

-
- ・ 半数以上の団体が我孫子市と関わりを持って活動をしている。(58.6%)
 - ・ 次いで多いのが「同様の分野の市民活動団体」となった。(45.8%)
 - ・ 一方、関わりを持たずに活動している団体が13.8%となっている。
 - ・ 「他分野の市民活動団体」と関わりがある団体は1/4以下となった。(23.6%)
 - ・ 「我孫子市」と「同様の分野の市民活動団体」との関わりを持っていることが多いことから、イベント実施時や公共施設の使用等で関わりを持っていることが考えられる。
 - ・ 市と同様に市民活動支援施設を有している社会福祉協議会についても関わりがある団体が多い。

(2) 団体が今後関わりを持ちたい団体はありますか。(全てに)

回答団体数：187 総回答数：475

内容	団体数	回答 / 団体数
同様の分野の市民活動団体	67	35.8%
他分野の市民活動団体	45	24.1%
自治会	24	12.8%
まちづくり協議会	44	23.5%
社会福祉協議会(地区社協含む)	52	27.8%
民生員・児童員	20	10.7%
我孫子市	74	39.6%
千葉県	29	15.5%
他の行政	15	8.0%
民間企業	18	9.6%
教育機関	47	25.1%
その他	13	7.0%
関わりは必要ない	27	14.4%



「その他」内容：

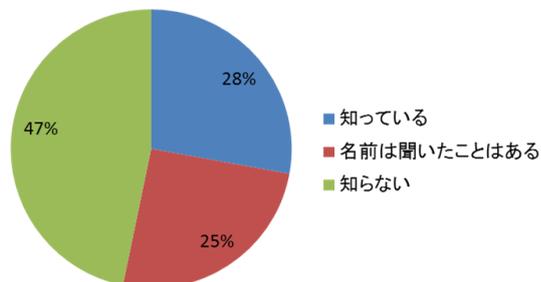
- ・ 地元企業
- ・ 千葉県 GG 協会、公社法人日本 GG 協会
- ・ 文化連盟、文化講座連合会
- ・ 我孫子市体育協会
- ・ 関わりを持っている全ての団体
- ・ 小規模多機能ホームつくし野荘、地域活動支援センターウィング
- ・ 民間福祉施設
- ・ 幼稚園、保育園、老人施設
- ・ 海外との連携も
- ・ 他市の同分野団体

-
- ・「我孫子市と関わりを持ちたいと考えている団体」（39.6%）が一番多く、次いで「同様の分野の市民活動団体」（35.8%）となった。
 - ・「関わりは必要ない」と回答した団体は、14.4%となった。
 - ・現在関わりがある団体と関わりを持ちたいと思っている団体は基本的に同様の結果となったが、「教育機関」、「民生員・児童員」、「自治会」などの組織と関わりを持ちたいと希望している団体が多くなっている。
 - ・各団体今後の活動を行う上でつながりが必要な組織は様ではなく、それぞれ異なっていることが考えられる。

(3) 「地域会議」について、知っていますか。

回答団体数：201

内容	回答数
知っている	56
名前は聞いたことはある	51
知らない	94

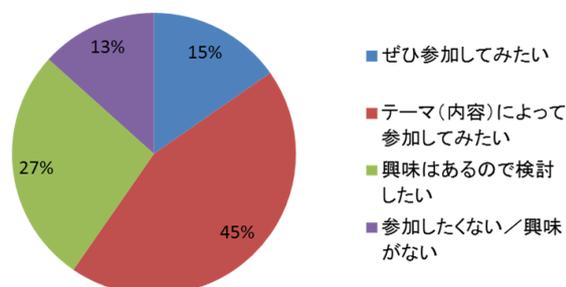


- ・地域会議について、「知らない」という回答が47%を占めている。
- ・「知っている」が28%、「名前は聞いたことはある」が25%という結果となった。
- ・「知っている」、「名前は聞いたことはある」と「知らない」が半数程度であるため、引き続き地域会議に対する周知が必要となる。

(4) 機会があれば「地域会議」に参加してみたいと思いますか。

回答団体数：201、総回答数：203（※一部複数回答有り）

内容	回答数
ぜひ参加してみたい	31
テーマ(内容)によって参加してみたい	90
興味があるので検討したい	55
参加したくない／興味がない	27

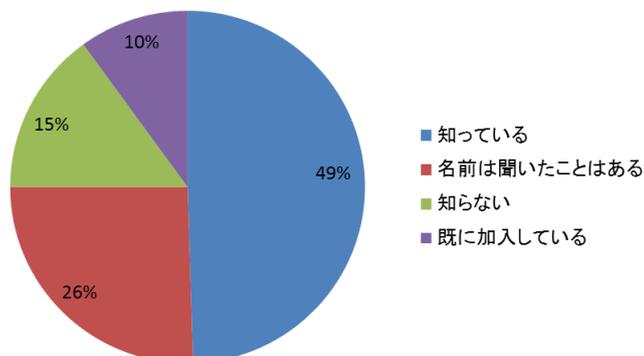


- ・「テーマによって参加してみたい」(45%)と回答している団体が一番多く、次いで「興味があるので検討したい」(27%)となった。
- ・「参加したくない」と回答している団体は、一番少数で全体の13%となっている。
- ・地域会議に興味を持っている団体は多く、全体の87%の団体が参加について前向きな意見を持っている。
- ・今後地域会議を実施するうえで事務局への団体情報等の提供が必要となってくる。

(5) 「あびこ市民活動ネットワーク」について、知っていますか。

回答団体数：200

内容	回答数
知っている	99
名前は聞いたことはある	51
知らない	30
既に参加している	20



- ・あびこ市民活動ネットワークを「知っている」(49%)という回答が一番多く、「名前は聞いたことはある」(26%)、「既に参加している」(10%)を加えると認知度が高いことがわかる。
- ・「知らない」と回答している団体は全体の15%のみ。
- ・「既に参加している」と回答している団体が全体の10%のみであるため、今後は加入の呼びかけを実施していくことが望ましい。

(6) 他団体との連携について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

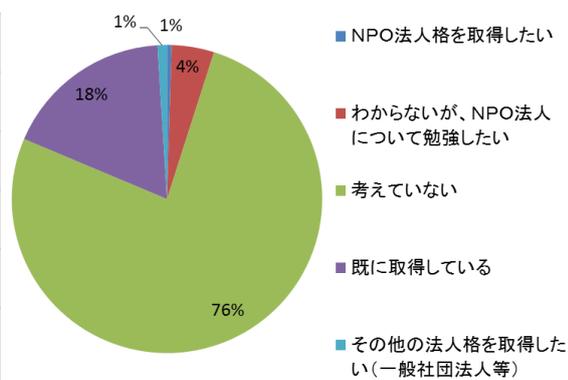
- ・情報が不足している。
- ・人材不足(2)
- ・市内、市民団体名簿
- ・現状で手いっぱい、これ以上活動を増やしたくない。
- ・会員が少ないので、役員が多く業務をこなしている。日時によっては会員全員に手伝ってもらっているが、これ以上の働きは出来ない状態。
- ・類似の団体なし 特に困っていることはない。
- ・担い手を供給してほしい。
- ・目的の共有が困難な場合がある
- ・事務局体制が弱いため会員団体との細やかな連絡調整がとりにくい。ホームページの活用について思いのほか低調
- ・文化活動の全般について、市の関連機関などが、十分に情報を共有できていないこと。

問7 貴団体の今後の展望についてお伺いします。

(1) 今後NPO法人格を取得する考えはありますか。

回答団体数：204

内容	回答数
NPO法人格を取得したい	1
わからないが、NPO法人について勉強したい	9
考えていない	156
既に取得している	36
その他の法人格を取得したい (一般社団法人等)	2

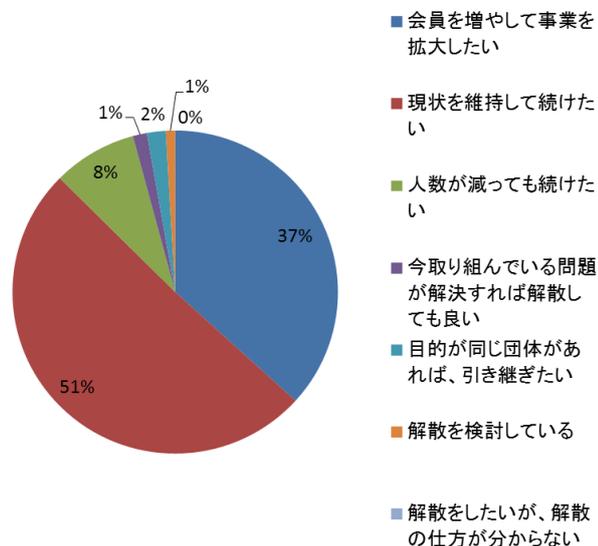


- ・「考えていない」(76%)という回答が一番多い。次いで、「既に取得している」(18%)が多い。
- ・今後、法人格を取得したいと考えている団体は、全体の2%のみ。
- ・我孫子市内の団体では、法人格を取得したいと考えている団体はほとんどなく、法人格が必要だと考えている団体はすでに取得していると考えられる。
- ・既に取得している団体を除くと、93%の団体が今後のNPO法人格取得を考えていない。

(2) 今後の団体活動についてどのようにお考えですか。

回答団体数：203、総回答数：215（※一部複数回答有り）

内容	回答数
会員を増やして事業を拡大したい	79
現状を維持して続けたい	109
人数が減っても続けたい	18
今取り組んでいる問題が解決すれば解散しても良い	3
目的が同じ団体があれば、引き継ぎたい	4
解散を検討している	2
解散をしたいが、解散の仕方が分からない	0



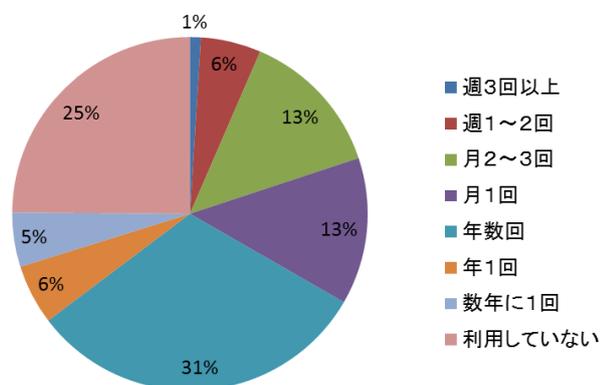
- ・「現状を維持して続けたい」（51%）と回答している団体が一番多い。次いで「会員を増やして事業を拡大したい」（37%）となっている。
- ・解散を検討、引継ぎ等自身の団体を解散させたいと考えているのは全体の4%のみ。
- ・団体活動を拡大、現状維持したいという団体が全体の88%を占め、団体活動に対し意欲的な団体が多い。

問8 「あびこ市民活動ステーション」の利用についてお伺いします。

(1) 「あびこ市民活動ステーション」の利用頻度を教えてください。

回答団体数：201

内容	回答数
週3回以上	2
週1～2回	11
月2～3回	27
月1回	27
年数回	63
年1回	11
数年に1回	10
利用していない	50

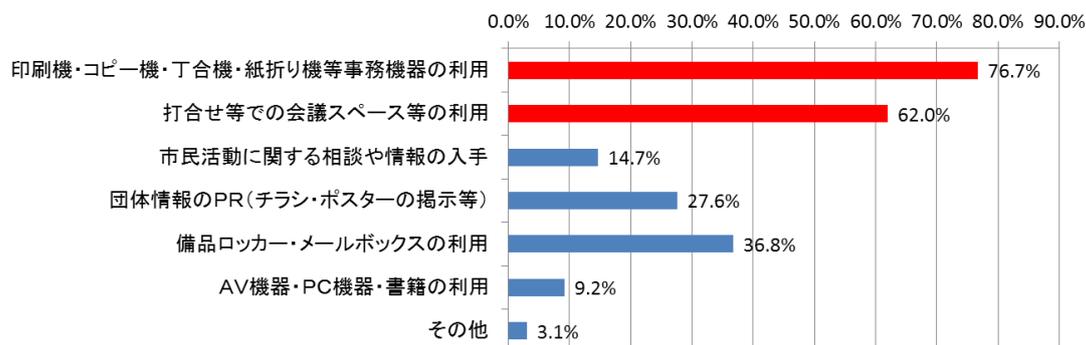


- ・ステーションの利用は、年数回（31%）が一番多い。次いで利用していない（25%）となっている。
- ・月1回以上の定期的な利用をしている団体が33%。
- ・今回の調査ではステーション利用者とNPO法人に対して調査を行った。利用していないと回答した中にはNPO法人が多かった。
- ・年数回の利用は総会準備のための印刷機等の利用が多いと考えられる。

(2) 「あびこ市民活動ステーション」の利用目的を教えてください。(全てに)

回答団体数：163、総回答数：375

内容	団体数	回答 / 団体数
印刷機・コピー機・丁合機・紙折り機等事務機器の利用	125	76.7%
打合せ等での会議スペース等の利用	101	62.0%
市民活動に関する相談や情報の入手	24	14.7%
団体情報のPR(チラシ・ポスターの掲示等)	45	27.6%
備品ロッカー・メールボックスの利用	60	36.8%
AV機器・PC機器・書籍の利用	15	9.2%
その他	5	3.1%



「その他」内容：

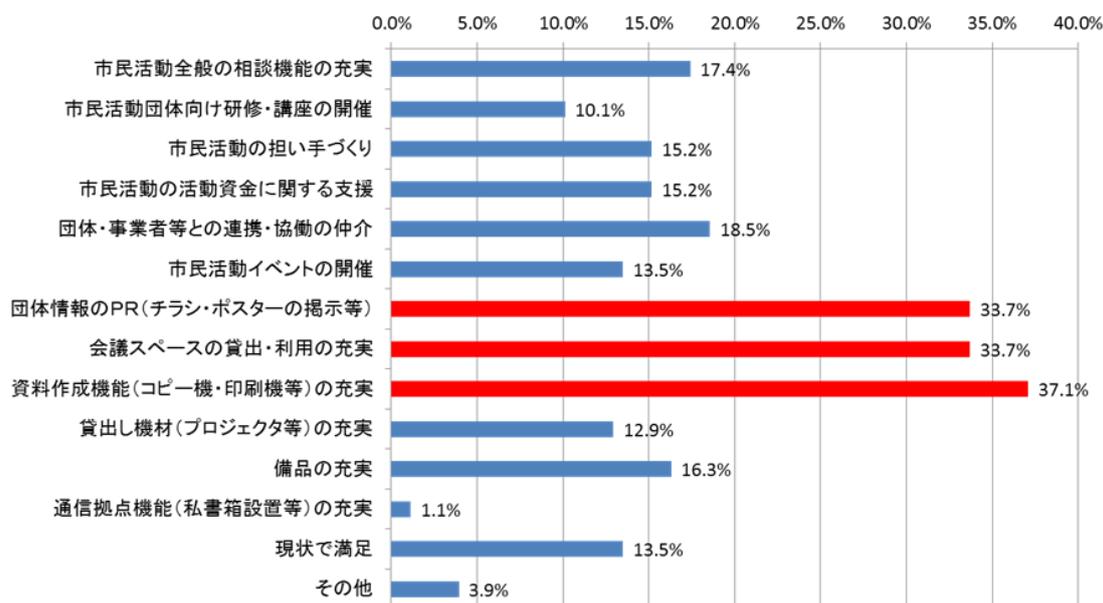
- ・以前は利用し会員になっていた。現在会議スペースは狭くメールボックスにごみ等が入っていることが多かった。
- ・今の所活用していませんが参加できれば幸いです。
- ・PCで文書作成をする時の場所を求めて利用させていただきたい。
- ・今まではステーションで印刷していましたが、今はとりあいで印刷します（ウェブデータで印刷できるため）

- ・事務機器の利用を目的としている団体が最も多く76.7%。次いで、「打合せ等での会議スペース等の利用」が62.0%となっている。
- ・市民活動に関する相談や情報の入手で利用している団体は、14.7%のみ。
- ・資料作成や会議等の打ち合わせの利用が多く、情報収集等で使用している団体は少ないため、情報量や相談対応力の向上が望まれる。

(3) 今後の「あびこ市民活動ステーション」に期待する機能は何ですか。(3つまで)

回答団体数：178、総回答数：431

内容	団体数	回答 / 団体数
市民活動全般の相談機能の充実	31	17.4%
市民活動団体向け研修・講座の開催	18	10.1%
市民活動の担い手づくり	27	15.2%
市民活動の活動資金に関する支援	27	15.2%
団体・事業者等との連携・協働の仲介	33	18.5%
市民活動イベントの開催	24	13.5%
団体情報のPR(チラシ・ポスターの掲示等)	60	33.7%
会議スペースの貸出・利用の充実	60	33.7%
資料作成機能(コピー機・印刷機等)の充実	66	37.1%
貸出し機材(プロジェクタ等)の充実	23	12.9%
備品の充実	29	16.3%
通信拠点機能(私書箱設置等)の充実	2	1.1%
現状で満足	24	13.5%
その他	7	3.9%



「その他」内容：

- ・印刷機の使用料を安くしてほしい。(3)
- ・カラーコピーも使えると良い。
- ・公共性の高い事業については、市や県と協働するための情報共有や仲介していただけの場や機会があると良い。
- ・市民活動ステーションと近隣センターの連携、近隣センターの機能が”まちづくり”に貢献できるようなスキルチェンジのための情報・意識改革を視野に入れてほしい。

-
- ・「資料作成機能の充実」（37.1％）が一番多かった。次いで、「団体情報のPR（チラシ・ポスターの掲示等）」、「会議スペースの貸し出し・利用の充実」の場として期待する団体がそれぞれ33.7％と多かった。
 - ・「通信拠点機能（私書箱設置等）の充実」を望む団体は1.1％のみ。
 - ・利用目的と同様に資料作成、会議スペースの充実に期待されている。
 - ・利用目的と比較して、団体情報のPRを望む声が多いことから情報発信の場としての利用が求められていることがわかる。

我孫子市の市民活動支援に関するご意見や、市に期待することがありましたら、ご遠慮なくお書きください。

- ・今日元気で居れば必ず明日の朝を迎えることが出来る。元気・やる気・勇気の三原則で地に足をつけた活動をして居ます。安定した会の運営を心掛けたり、心配りをして現在に至っています。続けていきますが、どうぞ何かしら当会からの申し出の際にはご対応して下さいと幸福です。今回のアンケート等の結果が出ましたら、ご報告いただけたらと考えています。ありがとうございます。
- ・市民活動支援をよろしく願います。今年は10月のねんりんピック長崎大会に千葉代表で我孫子より参加しますが、参加費用が半額個人負担となっていますが、その補助をお願いしたい。今後も高齢者は増加していますので、アウトドアへのペタンクの活動を通じて、体力、気力、智力を養い、健康を保つ活動を続けたいと思います。
- ・机上からの目線での指導や助言でなく、活動の実態を知ってもらう、団体とのコミュニケーションツールを作られたらどうか。
- ・市民活動支援課、市民活動ステーション、市民活動ネットワーク、地域会議、市民活動メッセ、市民のチカラ、我孫子のこれからフォーラム、て・と・り・あ、と団体が多すぎる。わかりにくい。
- ・こういったアンケートを配布し、市民活動をさらに支援していこうとする市の姿勢に感謝申し上げます。ありがとうございます。基本的には不備や困っていることはありません。当会が活動を発展させていく上での課題はありますが、それらは当会自身が解決すべき事柄だと信じるからです。しかしながらあえて改善のための希望を申し上げればけやきプラザの使用、あいかわらずわかりづらい。過日もプラザ前広場の使用申請のために3階の東葛飾障害者相談センター（ここが管理しているとか）を訪れましたが、あまりに対応が悪くあきらめました。担当者としては、使われても使われなくても無関係、むしろ使用されると仕事が増えて面倒なのかも知れませんが。民間の施設なら、使える（活用できる）施設は大いに使ってくれとなるところでしょう。せっかくのけやきプラザ「複合施設だから…」という口実（甘え）はもう卒業してほしいものです。
- ・我孫子市の市民活動はこの10年、近隣市より停滞してきていると感じるのはなぜでしょうか。庁内の各課とのつながり、市民が何を希望しているかとアンテナを高くして、行政マンが殻にとじこもらず、市民と共に知恵を出し合うことをして欲しい。
- ・私達は合唱団としての活動を続けて団を結成から21年となります。あくまでも趣味として歌っていますが、高齢化となった今、歌うことは健康維持に役立っていることを実感しています。人数が減っていかないことが実証しています。練習の為に集まる会場の確保に苦慮しています。出来る限り早急に市民会館の建設を願っています。広い練習場所も合わせて願います。
- ・毎年新たな市民活動団体が生まれ活動場所の確保が難しくなっている最中、市役所の一部の課によるアビスタ会議室の優先予約は困るのでやめて欲しい。

- ・利用させて頂いて大変助かっています。スタッフの方が親切で満足しています。休館日が月2回ありますが、職員のシフト変更が可能ならば全日開館できれば助かる。近くの近隣センターなどが休館の日は遠い場所へ自転車 or 歩きで行かなければならないので
- ・市民生活の安全と安心を基本に、重要性和緊急性を中心に指導や助成等に配慮していただきたい。
- ・一番利用の多い印刷機の無料化の支援をお願いしたい。
- ・公認団体については、その活動状況を把握するため、毎年活動報告書、同計画書、決算書、予算書、役員、会員名簿を提出させるべきである。
- ・支援は無料で、土曜、日曜も宜しく願います。
- ・市の担当者との交流促進。
- ・広報「あびこ」の市民掲示板の年6回を10回限定。
- ・市民活動ステーションにビデオデッキ、DVDプレーヤー設備を。
- ・行政のタテ割の考え方が非常に強く、とてもやりにくい。目的に合せ、もっと柔軟な考え方で進めて行くべきだと思います。
- ・市民活動ステーションまた各まち協の皆様はあまりにも高齢化して、固定化しすぎていませんか、若い主婦等沢山の人々を呼び込む努力が不足していると思います。
- ・実績ある団体に市の資金を入れて行くべきだと思います。
- ・当クラブは柏市になるので、我孫子市の事業に依頼があつて協力はしているが、市民活動ステーションなどの利用ができるのかは聞いたことも考えたこともなかった。
- ・私達は「子どもの心の声を聴いてみませんか～家庭内傾聴」という活動をしています。平素は教育研究所の方々にお世話になっております。私たちの「家庭内傾聴」の講座を後援していただいたり、広報に載せていただいたりしています。今年か来年あたりは、もう一歩進んでの形にしていきたいと思います。例えば、小・中学校の家庭教育学級で取り上げてもらう、又は児童民生委員の方々主催で「家庭内傾聴講座」を実施していただく。その為にはどうしたらいいのかをご相談出来たら助かります。
- ・いつも会議室等、気持良く使用させていただいて感謝しています。私たちの会についていえば、活動場所と資金の調達が最大の課題です。会員の最近の傾向として若い方が増加しています。その方々の意欲が無くならない様努力しますが、特に上の2つの課題について市に期待したいです。
- ・市民活動団体（船戸の森の会）と行政（公園緑地課）の対応組織間の問題解決・調整をどうするか。率直に、積極的に話合う場が欲しい。
- ・送迎ボランティアの支援をお願いします。
- ・会議等で会場を借りたいとき借りられないことがある。会議室をふやして頂けるとありがたい。しかし、他市に比べると我孫子市はうらやましがられることが多い。市民活動に対する理解が深く、ありがたいと思っている。
- ・当連盟は、我孫子市体育協会に所属しており、活動場所は体育協会事務所のある武道場

- のみです。様々な要望等は体育協会を通してお願いしております。
- ・市の対応は、誠実に迅速にさせていただいており感謝しております。
 - ・私共、我孫子日本舞踊協会では、伝統芸能を現在プロの日本舞踊家が（歌舞伎座、国立劇場等に出演している）本物の日舞を子供達に体験して頂ける様努力致して居ます。教育委員会、文化スポーツ課様よりご支援を頂いておりますが、更に発展出来る様、宜しく申し上げます。
 - ・まちづくりとは、人づくりと思って生涯学習を念頭においてそれぞれ各人がいろいろなサークル、分野で動いてきました。例えば平和事業・JBF・教育委員・合唱連盟・文化連盟 e t c そろそろ20年です。最初に比べてとてもスムーズになったことは嬉しいことですがその反面、人間のつながりが前程濃くなく事務的になったように思います。職員（我孫子市）とのコミュニケーションも希薄になったことは感じてます。話し合いの場が減ったためとさみしく思います。
 - ・「イースト情報」がなくなり、当会の発信の場がなくなり残念です。当会は都内の散歩をするので会員を25名で1グループにしています。各々会長、役員がいるため、広報の発信欄（市民伝言板）に掲載申請が消極的になっています。そのため、会員が減少気味です。よろしく御指導下さい。
 - ・市民ホール建設をお願いしたい。中座している様ですが…。
 - ・当団体は人生の途中で聞こえなくなったり、聞こえの悪い人達で悩みも多く、同障の仲間が集り情報交換や交流することで毎日の生活に明るさを見つけ出しているのが現状です。しかし集会の会場確保が厳しい。月1回だけでも年間予約が出来る様お願いしたいです。
 - ・①担い手を供給できるかどうかポイント。自治会やPTAから（あびこサポート隊として）共通のマークやぼうしを提供して（各団体へ出向する）子や孫への説明としても（あびこサポート隊からの出向ですと）認められ尊敬されるような社会のムードにしてほしい
 - ・私は健康生活サポートリーダーとしてグリーンのパロシャツをいただいているため誇りを持って体操ボランティアをしています。
 - ・林奏楽会の練習場所は主に近隣センターこもれびなど利用しております。私達も高齢化になり練習時に使用の機材（アンプ等）を持ち歩くのが困難になっております。近隣センターの空スペースを借用出来ることをお願いしたい。
 - ・小学生への宇宙をベースにした科学教室です。認知度をあげていただきたい。
 - ・幅広い視野を持った団体育成を
 - ・地域包括システムの推進には、地域会議の充実と促進が必要と思われれます。高齢者福祉課と支援課、社会福祉協議会及び市民団体とのプロジェクトでスピードアップしたシステム構築をお願いします。
 - ・4年前に「我孫子まちづくり研究会」を設立し、まちづくり関連の講演会等を実施し、

一貫して我孫子地元地域の快適に住む上で障害となる負の部分の改善活動（放置竹林の整備、空地空家の改善、不名井排水路の浄化（今後が主）等を実施してきましたが実施は主に私個人で実施して来たのが実情です。今後はこのような「まち」の改善活動を行って頂ける意識のある人材を発掘して掘り起こすことが今後の課題です。

- ・ 偏見（or 差別）が多い世界の人形館を正しく理解して頂き、多くの市民の皆さんに PR 願えれば幸甚です。
- ・ 全市民に届くような情報発信をしてほしいと思います。
- ・ 近隣の柏、流山、松戸、野田、船橋在住の人も我孫子在住の人と共に「あびこ市民活動ステーション」を会議や資料作成のために利用させていただいています。一同その便利さに感謝しています。我孫子市が文化都市たる所以だと思います。
- ・ ①健康都市宣言と退職者の活用と生き甲斐づくりのマッチング②行政の市民活動支援に現場（市民活動現場）をもっと自らが足を運び、理解を深めるべき。（担当者が指摘を恐れ近づかない。）③予算は不要。自助努力で頑張れる。もっと活力に寄り添う姿勢が欲しい。④行政が待ちの姿勢で、意見・提案を役所で受ける雰囲気を感じます。もっと現場に足を運び汗をかく姿勢が欲しい。⑤健康寿命を1日でも長く享受してもらうための行動意欲があるか。縦割行政弊害を感じます。
- ・ 毎月1回、青空の会を開いているが、会場の確保が大変である。優遇して予約が取れると良いが。
- ・ 2016「市民のチカラ」のイベント企画について①メッセとフォーラムの融合をめざして今回3回目ですが、担い手づくりのイベントと思いますが、市民へのPRが不足かと感じます。②フォーラムの内容紹介が、参加団体の一員としては不満です。★イベント企画の構成団体がどこにも表記されていない。☆同日・同時刻で開催の企画イベントが多く、市民の方にとって混乱を期すのではと思います。（これまでも課題でした）★フォーラムのプログラムが白地紙の1枚チラシではさみ込まれ、メッセと格差を感じ、フォーラムはそえもの？と見えます。フォーラムの進め方も団体への説明不足でした。次回の課題にしてください。
- ・ 送迎ボランティアの支援と充実
- ・ 我孫子市の後援・共催に関して幅広い支援をお願いします。
- ・ 会議室を研修会、勉強会、説明会など会議以外の目的でもう少し利用できる範囲を広げて頂けると助かります。
- ・ 湖北台ふれあいサロンは、先輩方が維持発展させてきましたが、高齢化と言う波と、他団体に加入していて中々参加できない現状があります。今後は、自治会、民生委員、見守りの会、町会の掲示板等地元の協力を得て利用者の拡大を図っていききたい。そういう意味でも、高齢者支援課を中心とする市からの応援を得て、催しの充実も図って行きたい。
- ・ 平成17年4月「久寺家きらめきサロン」本年で12年を迎えます。久寺家まちづくり

協議会と連携をとり乍ら、27年3月には高齢者が一時休める場を作りたいと福祉施設「風」さんと共に立寄りカフェ「風」も出来ました。週二回、水曜日、金曜日の開催ですが毎月200名近い方が立ち寄られます。月一回はきらめきサロンがあり、年1回はバス旅行を楽しみ、身に良い体操も週二回会場一杯の人がこられます。久寺家に住んで良かった…の環境作りをしたいと考えています。

- ・流山市は子育ての町でPRしていますが、我孫子の市民活動は余り知られていない様ですが、もっとPRしたらと思います。
- ・◎近隣センターの方からの情報ですが、「1つの団体のメンバーが複数の団体を作り、その名称で多施設の予約をしている。抽選の結果、予約がとれた団体名で利用し、他の名称の団体はキャンセルする。」その様な方法で予約をしているのでしょうか？条件としては可能なのかと思いますが、何とも気持ちの良いものではありません。
- ・環境問題に対する情報発信の充実・拡大
- ・市の事業提案制度のあり方を検討してほしい。(市民活動団体からの提案枠があれば…今の事業ではなく)
- ・人材育成のための協働事業や事業補助金等で支援を頂きたい。
- ・別紙ボランティア活動で、喜びを感謝です。
- ・会員不足のため、小学校等に働きかけのご協力をお願いしたい。(日本の民族芸能である民謡を後世に残したい)
- ・施設使用を簡単にし(NPO法人)については特に優先する方向で検討願いたい。
- ・宣伝、周知により多く紙面(広報誌)場所(各施設)に掲載、掲出出来るように配慮願いたい。※当連盟の社会貢献と地域貢献、青少年の育成等を広く地域で理解と認識を深めてもらいたいと考えています。
- ・我孫子フィルとしては、新文化ホールの早期再建に期待しており、新文化ホールは市民活動の充実化・活発化に資するものと考えている。
- ・①地域活動の活性化、充実には、地域在住の市議会議員、市職員およびそのOBが自ら各種グループのスタッフとして参加し活動すべき。②南まちづくり協議会は、現在「イベント協議会」でしかない。役員自身が言うように、自治会の役員でもなく、地域づくりに係られる状況にない。③「地域会議」で話し合うだけではどうか？南地区の場合は特に市民の自治意識が低いと思われる。まちづくり協議会の中に、担当職員を位置付けるか、ボランティアの地域づくりスタッフを置くなど、地域と行政の市民レベルのパイプ役が必要ではないか？
- ・市は市民活動の「支援」だけでなく、本来行政として自ら強いリーダーシップのもとに進めていくべき活動も含むように思う。このためには、市民活動の現状について、市の各部署においも問題意識や情報といったものをシェアする必要があるように思う。
- ・柏市の市民活動センターがとても使いやすくなり、機器や場所のサービス、人的サービスがとても良くなりました。我孫子市の今後に期待しています。

- ・我孫子市との係わりがなかったが、今回のアンケートにより、市の支援体制がある事を知ったので、今後市との情報交換を行い、空き家対策の研究・調査を生かし、積極的に参加して行きたい。
- ・車がない等弱者がリサイクル家具を購入した時の運搬等のボランティアを紹介して欲しい。
- ・日頃の活動支援に感謝しております。盲人を対象とした活動をしておりますが、利用者の高齢化もあり、利用人数が減っております。盲人以外にも読書困難者がいらっしやると思いますが、それらの人の元に届ける手段などのサービスがまだ充分していないと思いますので検討の程お願いします。
- ・①健康麻雀教室への市役所からの御紹介がウイングさんにしかされていません。人生いきいきでも受け入れたいと思います。幅広い御紹介をお願いします。②文化祭等我孫子市主催のイベントへの出展にも参加希望します。
- ・市民活動を資金的に支援する仕組みがあれば、より活動を充実させていくことができます。ぜひご検討をお願いします。
- ・市民と行政が協働で新しい公共をつくっていくという姿勢や具体的な活動をもっともっと強く示していただきたい。
- ・不登校の子どもと親を支援するために、地域の資源を紹介するガイドマップを作製し、当事者のご家族や行政、教育機関等に配布しました（2回）年1回支援団体の交流会を開き、親の方々にも参加していただいています。公共性がある活動だと思いますので、市や県と協働していただけたらと思っています。会員は皆仕事を持っているので、活動費の助成などの情報を収集したり、自分たちの活動を行政に知っていただく時間がなかなかとれないのが実情です。何か機会がありましたら、お声かけいただければと思います。よろしくをお願いします。
- ・市民活動支援の行政のたて割の是正。自治会・まち協等のまちづくり支援と市民活動支援の連携の強化と新しい視点での支援体制の構築。市民安全、福祉関係からのまちづくりの連携。要支援者名簿の自治会の受取り状況は今の我孫子のコミュニティ力の現状の現れであると思います。これをどのように課題分析するか…。今後はより行政のたて割の弊害をなくしていかないと、課題解決につながらないと思える。部長クラスの方がご自分の部内の連携のイメージやストーリーを持って各課や担当をつなげて行ってほしいと思う。若い職員が増え、期待もあり不安もある。
- ・現状よくやっているといます。
- ・我孫子駅南口ロータリー内を活動拠点としており、同様にこの場所の継続的、単発的活動があります。（シルバー人材センターの作業、カップパ祭りのオブジェ設置、クリスマスイルミネーション設置、植木剪定作業等）以前に較べれば、個々の活動の横の連絡が取れるようになってきましたが、まだまだ不十分です。また、同様に市の所轄課の違いもあり、担当課で戸惑うこともあります。これらを全体的に取りまとめる体制があればと

思います。

- 市民活動への若者の参加者の少なさは、皆が感じていることであり、私が所属している我孫子市文化連盟の総会でも、そのことについて意見を述べたことがある。すなわち、講座の開設時間や、関係する会合の曜日・時間では、リタイアした者しか参加できず、若い現役の勤務者には出席したくても不可能な曜日・時間の設定になっているからである。会議の多くは教育委員会の会議室を使用できる金曜日の5時以前まで。講座の会場も、アビスタや近隣センターが開いている時間内であり、6時～8時くらいの開講でなければ参加は無理である。

我孫子市の講座を本気に考えるのであれば、僅かな講座数であっても、勤務者が参加できる6時以降に開くこと、講座その他に関わる全体会議は、土曜日か日曜日に開くか、月～金曜日であれば6時以降に開くなどして、リタイアする前の若い男女が参加できる状況を実現することが必要である。他の県や市町村も、同様の問題に直面して、様々な工夫をしている。それらを参考にしながら、しかも、その真似に止まらず、その先に行くような工夫を、真剣に考える必要がある。

- 活動範囲を広げていきたいと思っています。積極的に参加させて頂きたいと思いますので、イベント等開催の際は声を掛けて頂けたら幸いです。よろしくお願い致します。
- 現状維持でお願いします。

4. クロス調査結果

主要な調査項目について年齢別、分野別、会員の増減を基にクロス調査で検証を行った。結果は次の通り。

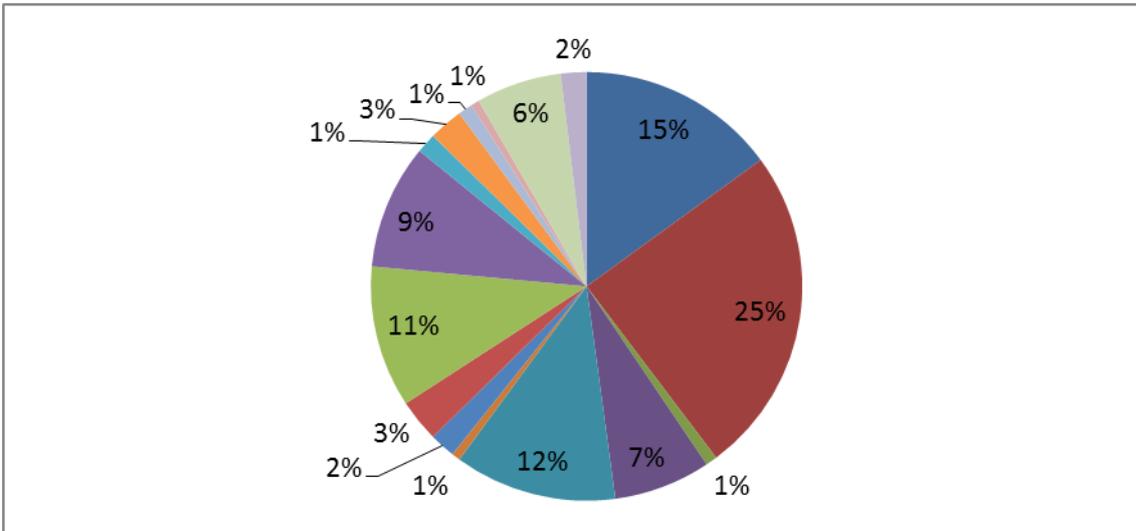
① 会員の主な年齢層×活動する上で困っていること

回答総数：493件（10～29歳：15件、30～49歳：22件、50～59歳：49件、60～64歳：43件、65～69歳：141件、70～74歳：154件、75～79歳：52件、80歳以上：17件）

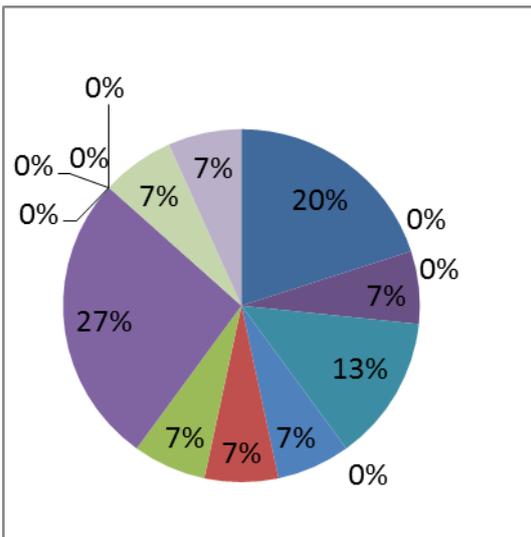
	会員の減少	会員の高齢化	会員間の人間関係	役員等に責任・業務が集中	リーダー・後継者の引き受け手がない	相談する機関(相手)がない	専門的な知識やノウハウの不足	団体の拠点となる事務所がない
10～29歳	3	0	0	1	2	0	1	1
30～49歳	3	1	0	2	3	0	0	0
50～59歳	3	10	3	4	6	0	1	1
60～64歳	4	13	1	2	6	0	1	2
65～69歳	24	35	0	11	14	0	2	6
70～74歳	25	48	0	9	24	1	2	5
75～79歳	10	18	0	2	8	0	0	0
80歳以上	4	5	0	1	4	0	0	0
	活動場所の確保	活動資金の不足	機材・備品が不足	活動を周知する方法がない	活動に必要な情報が入り手でない	市民の理解が得られない	特に困っていることはない	その他
10～29歳	1	4	0	0	0	0	1	1
30～49歳	3	4	0	3	2	0	1	0
50～59歳	6	8	1	1	0	0	4	1
60～64歳	4	2	0	1	0	0	7	0
65～69歳	20	15	3	2	1	0	7	1
70～74歳	14	13	3	1	0	2	5	2
75～79歳	2	3	0	0	1	0	7	1
80歳以上	1	1	0	0	0	0	1	0

- 会員の減少
- 会員間の人間関係
- リーダー・後継者の引き受け手がいない
- 専門的な知識やノウハウの不足
- 活動場所の確保
- 機材・備品が不足
- 活動に必要な情報が入手できない
- 特に困っていることはない
- 会員の高齢化
- 役員等に責任・業務が集中
- 相談する機関(相手)がない
- 団体の拠点となる事務所がない
- 活動資金の不足
- 活動を周知する方法がない
- 市民の理解が得られない
- その他

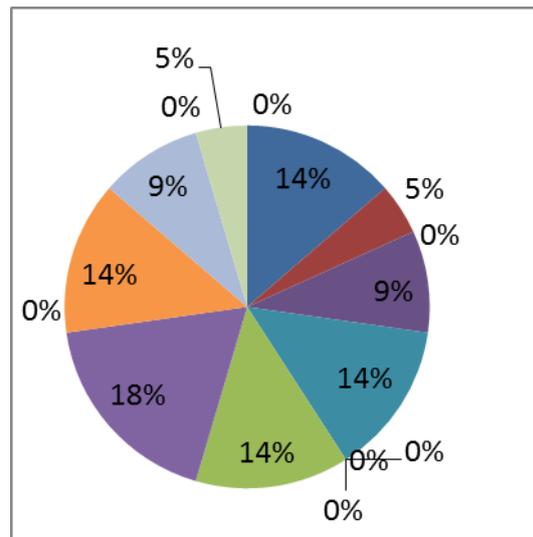
【全体】



【10～29歳】

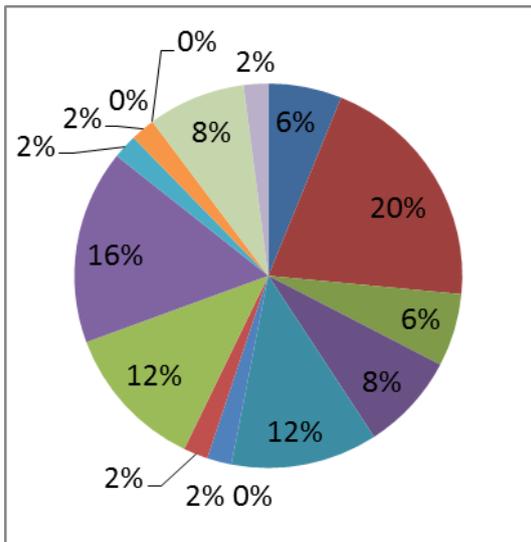


【30～49歳】

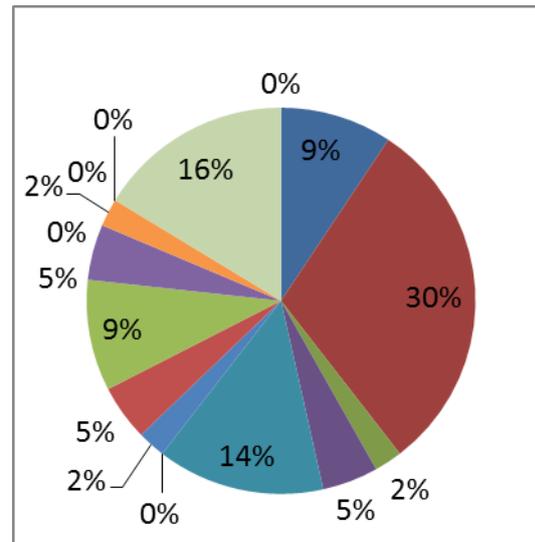


- 会員の減少
- 会員間の人間関係
- リーダー・後継者の引き受け手がない
- 専門的な知識やノウハウの不足
- 活動場所の確保
- 機材・備品が不足
- 活動に必要な情報が入手できない
- 特に困っていることはない
- 会員の高齢化
- 役員等に責任・業務が集中
- 相談する機関(相手)がない
- 団体の拠点となる事務所がない
- 活動資金の不足
- 活動を周知する方法がない
- 市民の理解が得られない
- その他

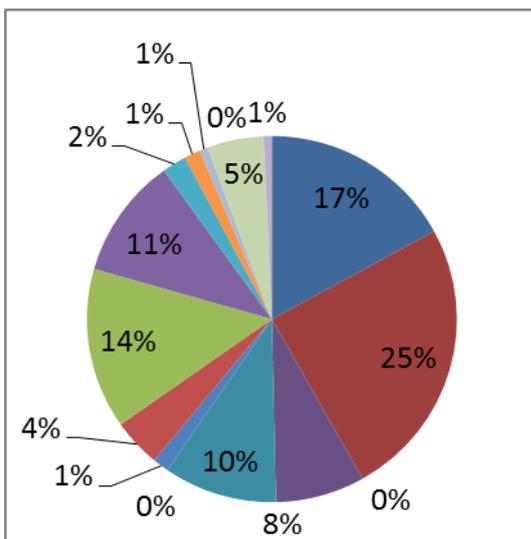
【50～59歳】



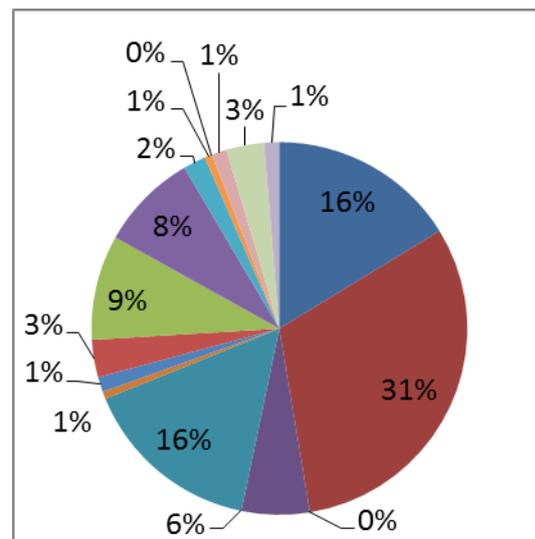
【60～64歳】



【65～69歳】

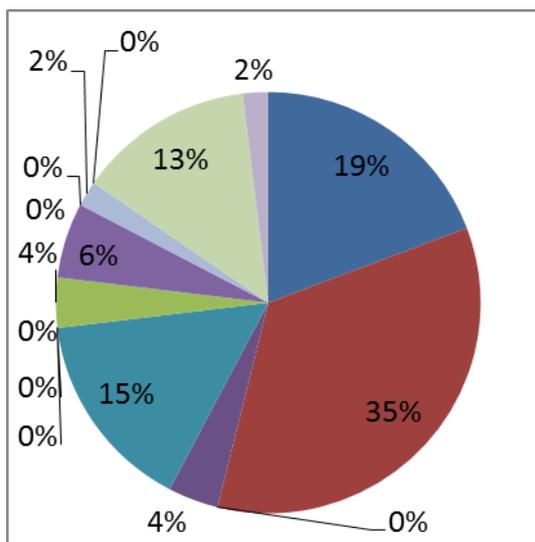


【70～74歳】

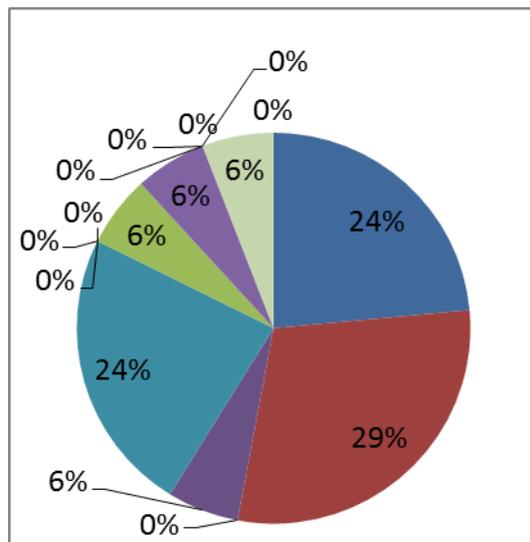


- 会員の減少
- 会員間の人間関係
- リーダー・後継者の引き受け手がいない
- 専門的な知識やノウハウの不足
- 活動場所の確保
- 機材・備品が不足
- 活動に必要な情報が入手できない
- 特に困っていることはない
- 会員の高齢化
- 役員等に責任・業務が集中
- 相談する機関(相手)がない
- 団体の拠点となる事務所がない
- 活動資金の不足
- 活動を周知する方法がない
- 市民の理解が得られない
- その他

【75～79歳】



【80歳以上】



- ・ 49歳未満の団体の一番困っていることは、活動資金の不足。50歳以上の団体の一番困っていることは、会員の高齢化という結果となった。
- ・ 50～64歳の団体は、他の年代と比べると「会員の減少」と回答している比率が低い
ため、仕事を退職した方は比較的同年代の団体に加入していることが考えられる。
- ・ 30～49歳の団体では、「活動を周知する方法がない」という回答の比率が高い。
- ・ その他の項目については、年代別の違いは少ない。

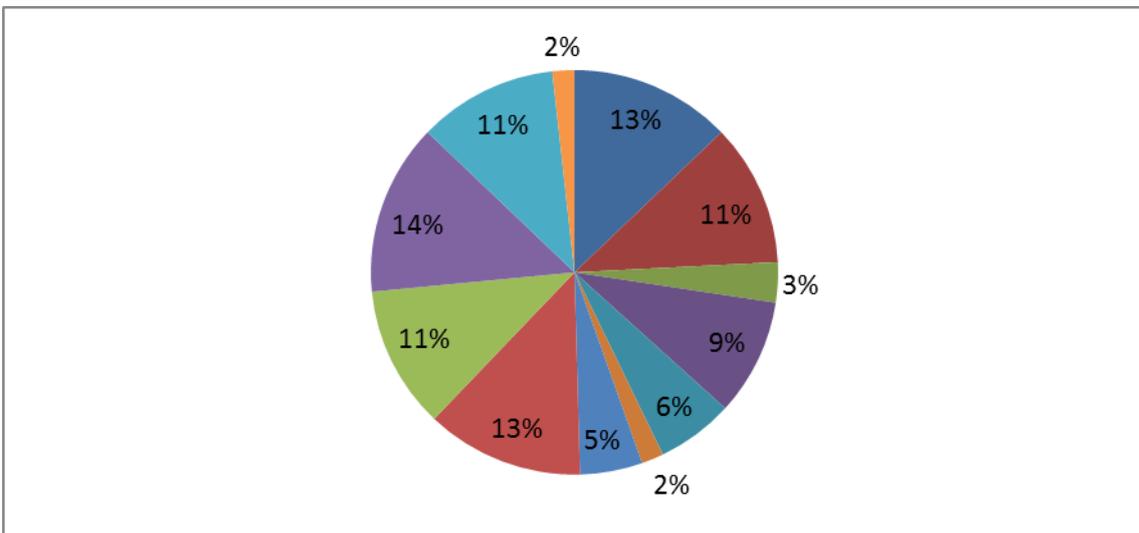
② 会員の主な年齢層×活動する上での必要な支援

回答総数：360件（10～29歳：15件、30～49歳：18件、50～59歳：37件、60～64歳：33件、65～69歳：101件、70～74歳：107件、75～79歳：38件、80歳以上：11件）

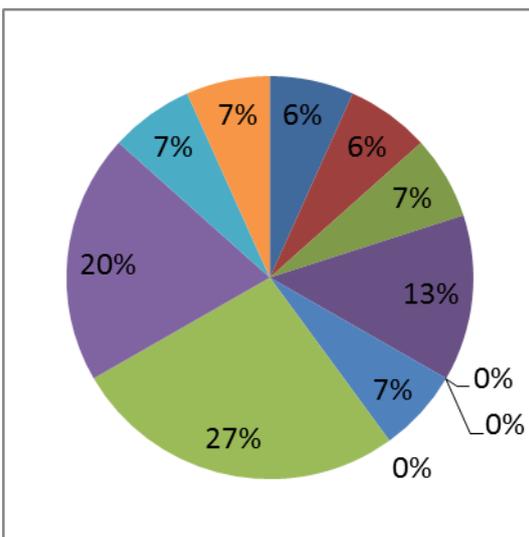
	あびこ 市民活動 ステーションの施設 面(活動ス ペースや 機材等)の 充実	市民活動 への参加 促進(担い 手づくり) を促す催 し・事業の 充実	市民活動 団体向け の研修・講 座等の充 実	市民活動 に関する 情報発信 の充実	市民活動 団体間の 連携・交流 事業の充 実	NPO 法人 等が行うソ ーシャルビ ジネス等 への支援 の充実
10～29歳	1	1	1	2	0	0
30～49歳	1	1	0	3	0	1
50～59歳	3	3	1	5	2	2
60～64歳	2	3	1	4	5	2
65～69歳	19	10	1	8	7	1
70～74歳	16	16	4	10	5	2
75～79歳	5	4	3	5	1	1
80歳以上	1	0	2	2	0	1
	市民活動 団体と企 業、学校 等への仲 介や交流 の充実	市民活動 団体と行 政の協働 の推進	金銭面で の支援	活動場所 の充実	特に支援 の必要は ない	その他
10～29歳	1	0	4	3	1	1
30～49歳	0	2	5	5	0	0
50～59歳	4	2	6	6	3	0
60～64歳	3	7	2	1	3	0
65～69歳	6	19	7	10	12	1
70～74歳	5	12	13	13	9	2
75～79歳	1	4	1	4	9	0
80歳以上	1	1	0	1	2	0

- あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実
- 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実
- 市民活動団体向けの研修・講座等の充実
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 市民活動団体間の連携・交流事業の充実
- NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
- 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実
- 市民活動団体と行政の協働の推進
- 金銭面での支援
- 活動場所の充実
- 特に支援の必要はない
- その他

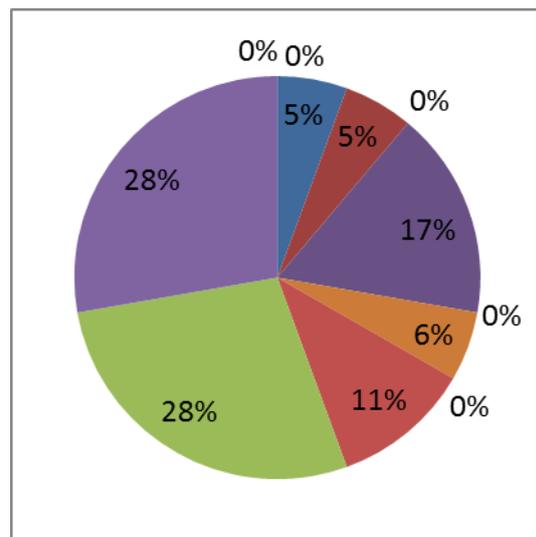
【全体】



【10～29歳】

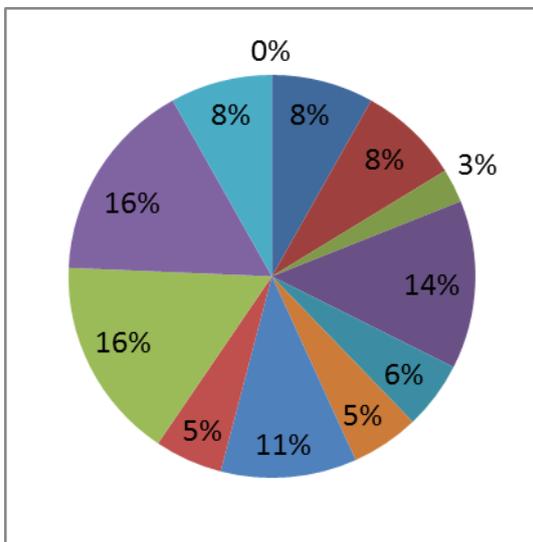


【30～49歳】

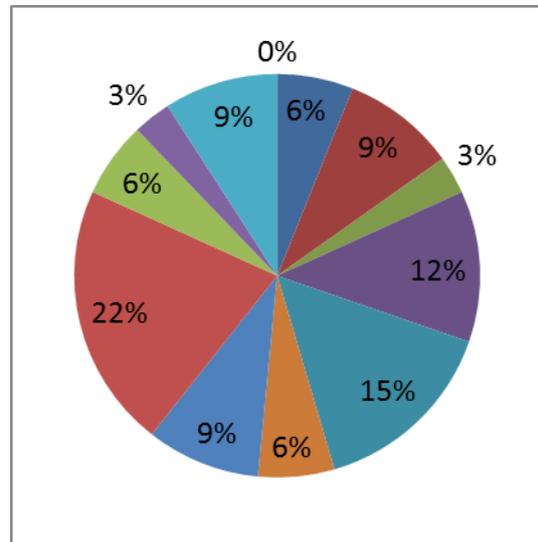


- あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実
- 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実
- 市民活動団体向けの研修・講座等の充実
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 市民活動団体間の連携・交流事業の充実
- NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
- 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実
- 市民活動団体と行政の協働の推進
- 金銭面での支援
- 活動場所の充実
- 特に支援の必要はない
- その他

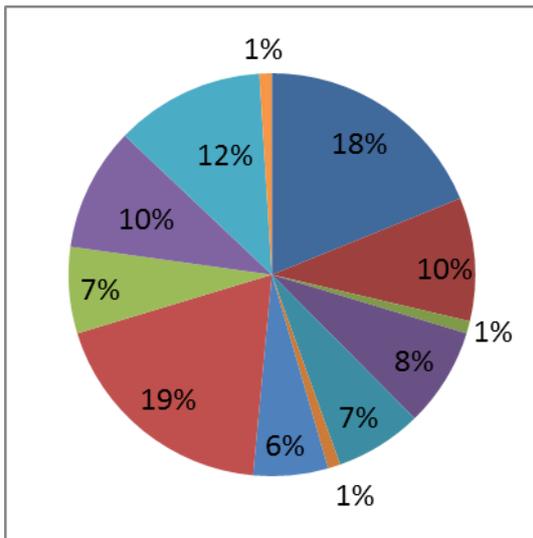
【50～59歳】



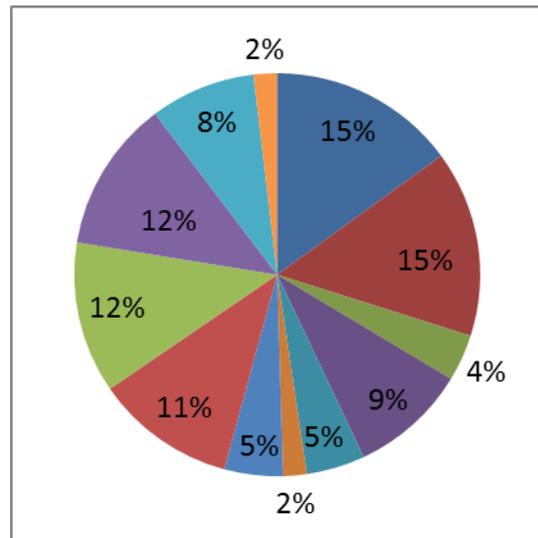
【60～64歳】



【65～69歳】

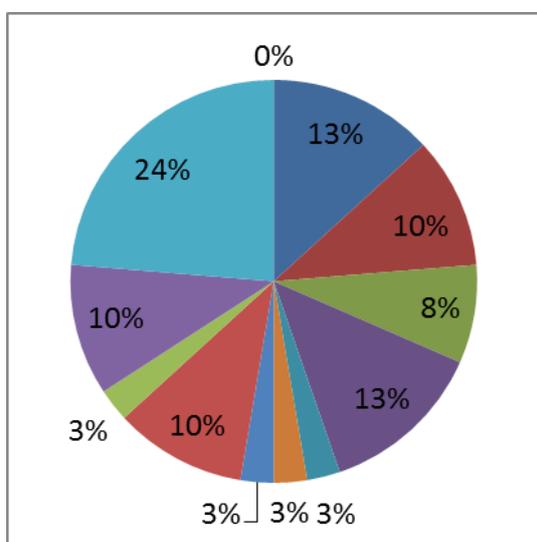


【70～74歳】

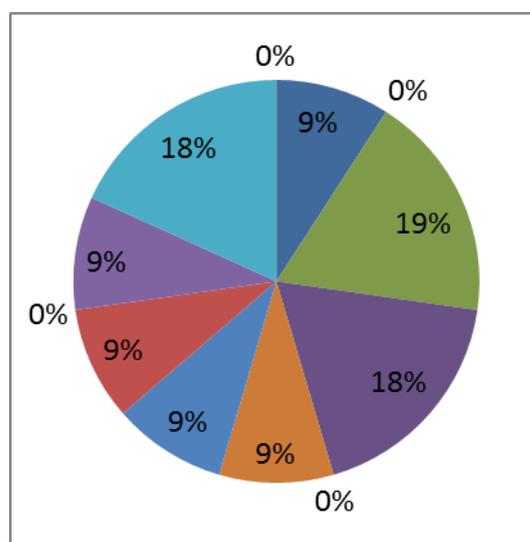


- あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実
- 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実
- 市民活動団体向けの研修・講座等の充実
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 市民活動団体間の連携・交流事業の充実
- NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
- 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実
- 市民活動団体と行政の協働の推進
- 金銭面での支援
- 活動場所の充実
- 特に支援の必要はない
- その他

【75～79歳】



【80歳以上】



- ・年代別の必要な支援では、59歳までの団体では、「金銭面の支援」の比率が一番高くなっている。また、30～59歳までの団体は、「活動場所の充実」も同率となっている。
- ・60～69歳までの団体は、「市民活動団体と行政の協働の推進」の比率が一番高くなっている。また、65～69歳までの「あびこ市民活動ステーションの施設面での充実」も同率となっている。
- ・70～74歳までの団体は、「あびこ市民活動ステーションの施設面での充実」、「市民活動への参加促進を促す催し・事業の充実」の比率が一番高くなっている。
- ・75歳以上の団体は「特に支援の必要はない」の比率が一番高くなっている。また80歳以上の団体は、「市民活動団体向けの研修・講座等の充実」「市民活動に関する情報発信の充実」も同率となっている。
- ・年代によって大きく偏った結果にはなっていないが、それぞれ必要な支援の比率は異なっている。年齢層が若い団体ほど、金銭面の支援が必要と考えており、60歳代の団体は、行政との協働が必要だと考えているなど、年代によって特徴は見られており、一体的な支援は難しいため、それぞれ個別の支援を行う必要がある。

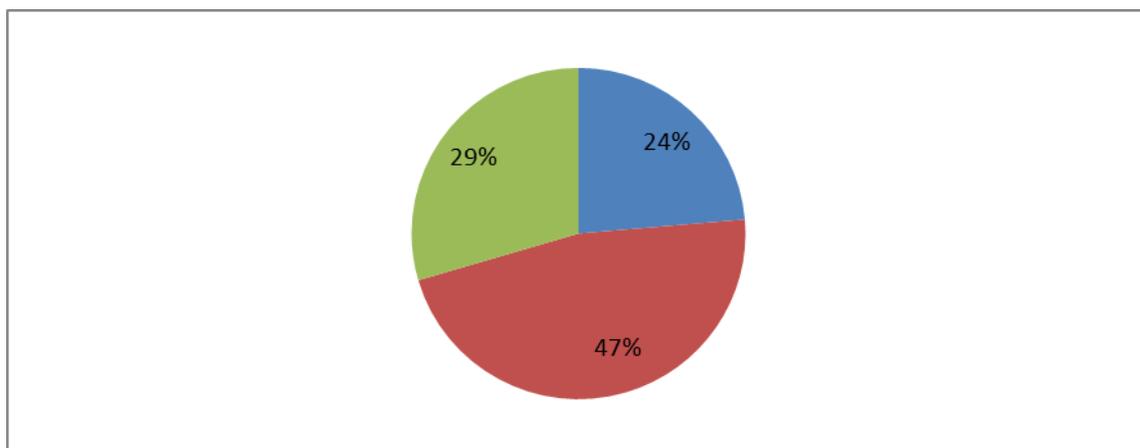
③ 会員の主な年齢層×会員の増減

回答総数：218件（10～29歳：8件、30～49歳：11件、50～59歳：22件、60～64歳：23件、65～69歳：63件、70～74歳：63件、75～79歳：22件、80歳以上：6件）

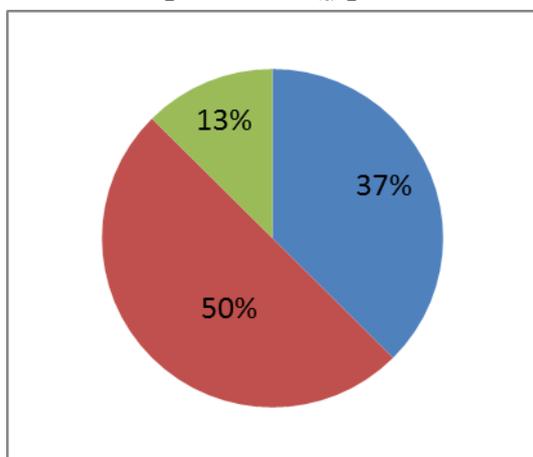
	増加した	変化なし	減少した
10～29歳	3	4	1
30～49歳	4	4	3
50～59歳	6	11	5
60～64歳	10	8	5
65～69歳	15	29	19
70～74歳	15	33	15
75～79歳	2	10	10
80歳以上	1	1	4

■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した

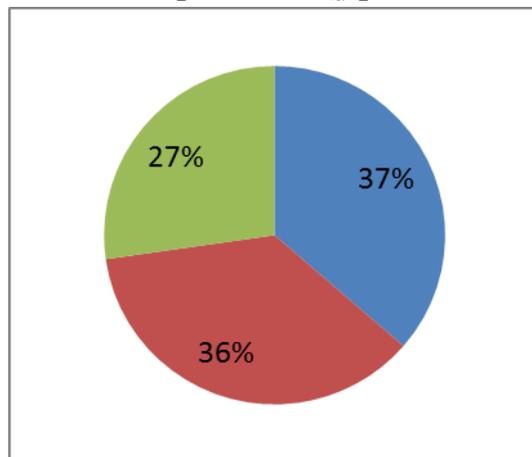
【全体】



【10～29歳】

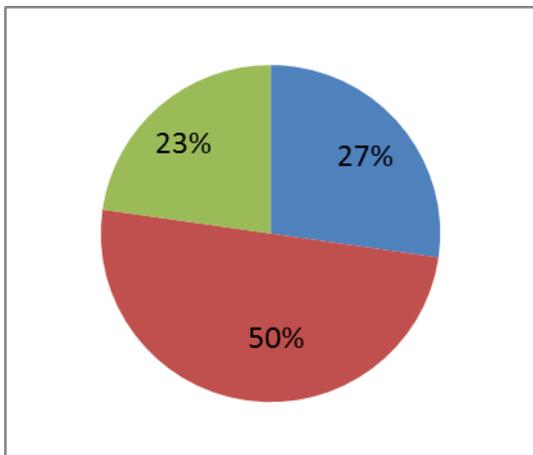


【30～49歳】

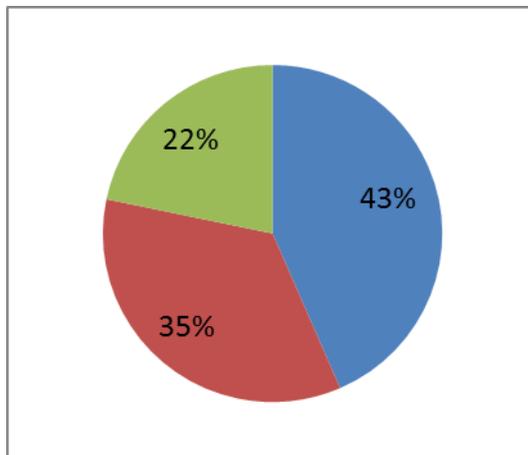


■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した

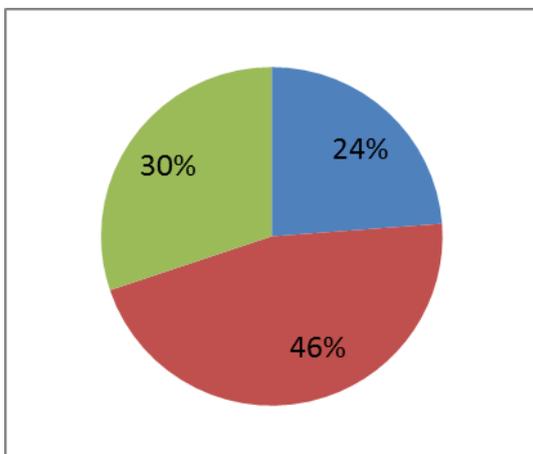
【50～59歳】



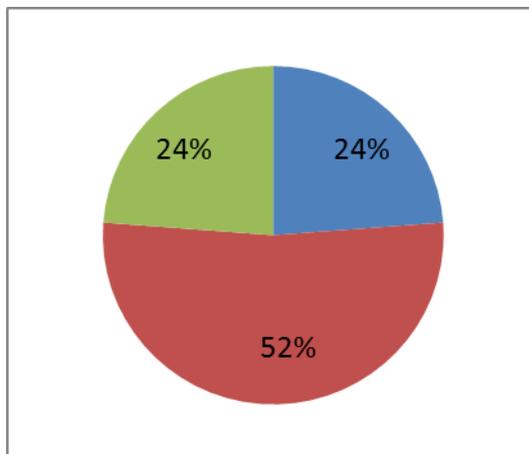
【60～64歳】



【65～69歳】

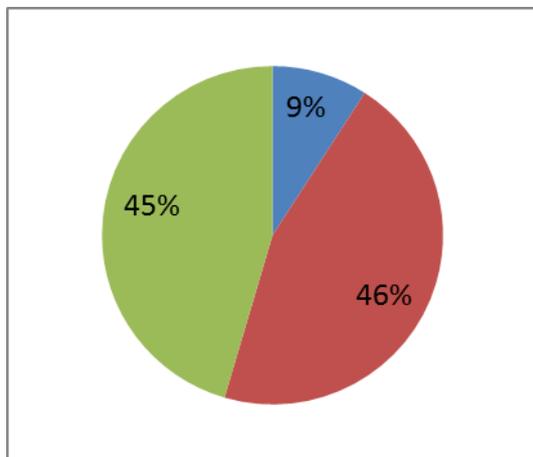


【70～74歳】

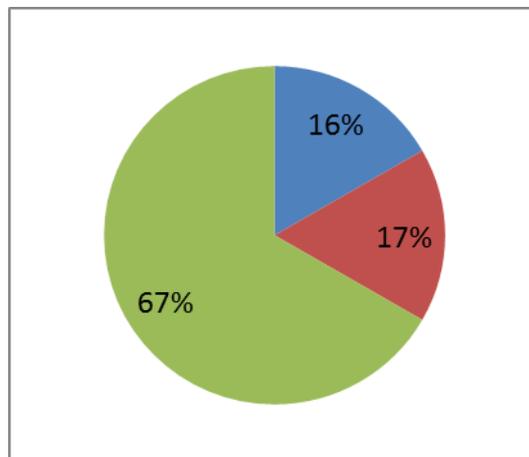


■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した

【75～79歳】



【80歳以上】



- ・各年代とも「変化なし」と回答している団体が多いが、増加と減少のみを比較すると64歳以下の団体は、増加したと回答した団体の方が多く、65歳以上の団体は減少したと回答した団体が多くなっている。
- ・高齢になるにつれ、体力面等で活動ができなくなる方が増える65歳以上の団体では会員が減少していることが考えられる。
- ・年代が若い団体は、活動以外の場での知り合いも多いことが予想される。自身の知り合いに声をかけて団体を増やしていくことで会員が増えている可能性がある。

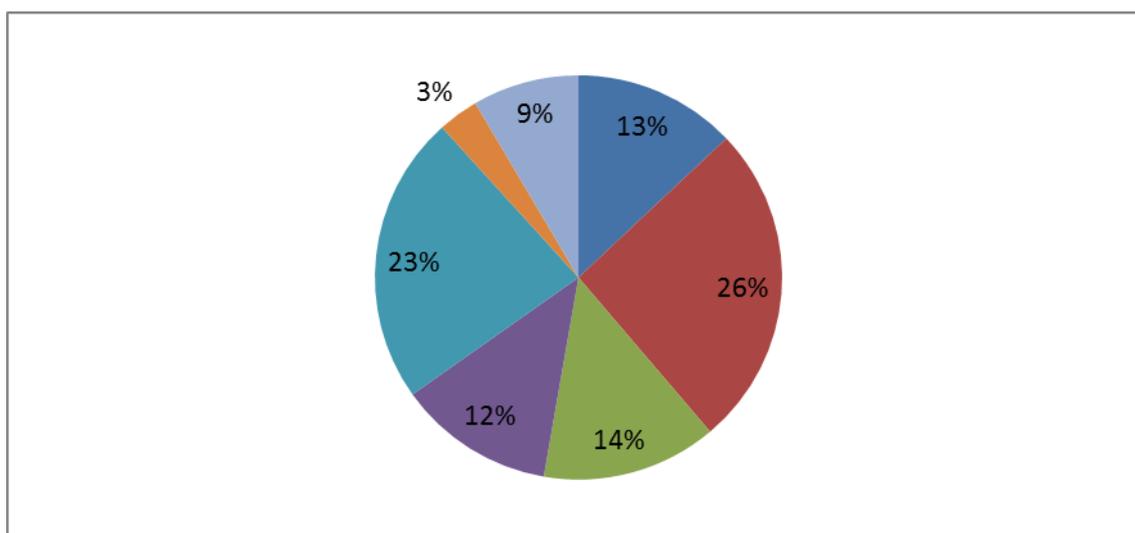
④ 会員の主な年齢層×担い手対策のために行っていること

回答総数：428件（10～29歳：20件、30～49歳：23件、50～59歳：45件、60～64歳：38件、65～69歳：120件、70～74歳：128件、75～79歳：44件、80歳以上：10件）

	会員募集のチラシ作成	人脈の活用	広報、ミニコミ誌等での募集	積極的な活動内容の周知	イベント時の声掛け	その他	何もしていない
10～29歳	4	4	2	4	5	1	0
30～49歳	5	6	3	3	4	0	2
50～59歳	6	12	6	8	10	1	2
60～64歳	3	13	6	4	5	3	4
65～69歳	15	32	18	10	29	6	10
70～74歳	16	36	13	16	33	3	11
75～79歳	5	13	5	5	9	2	5
80歳以上	1	4	0	1	2	1	1

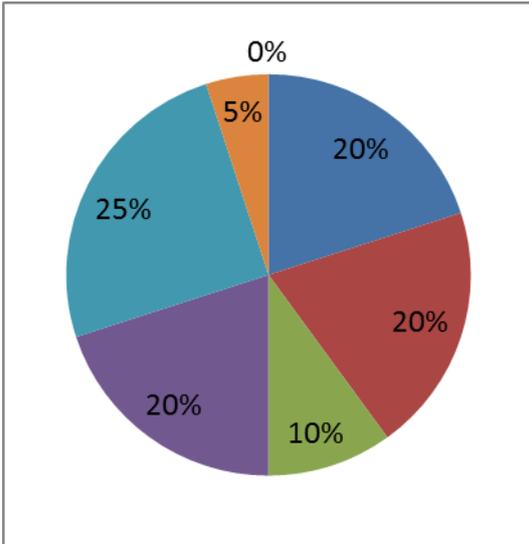
- 会員募集のチラシ作成
- 人脈の活用
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- 積極的な活動内容の周知
- イベント時の声掛け
- その他
- 何もしていない

【全体】

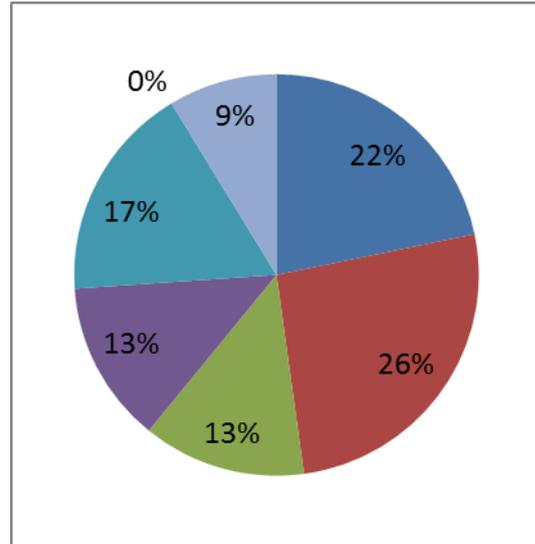


- 会員募集のチラシ作成
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- イベント時の声掛け
- 何もしていない
- 人脈の活用
- 積極的な活動内容の周知
- その他

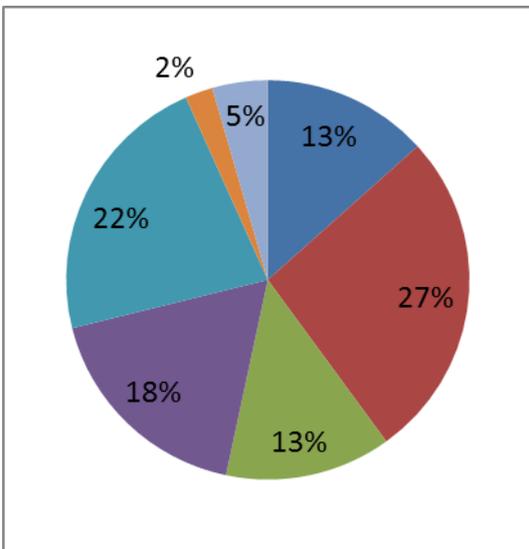
【10～29歳】



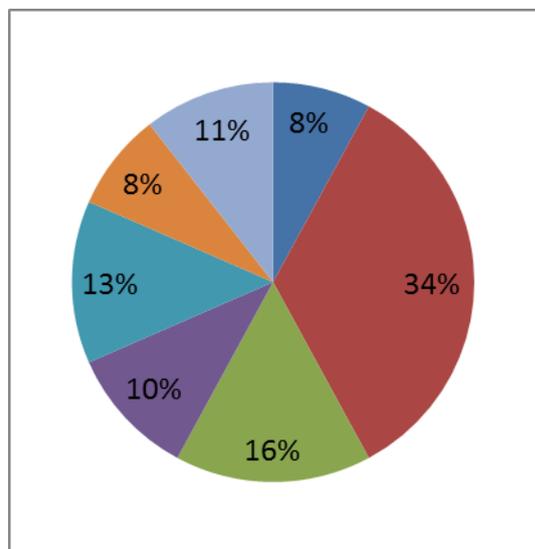
【30～49歳】



【50～59歳】

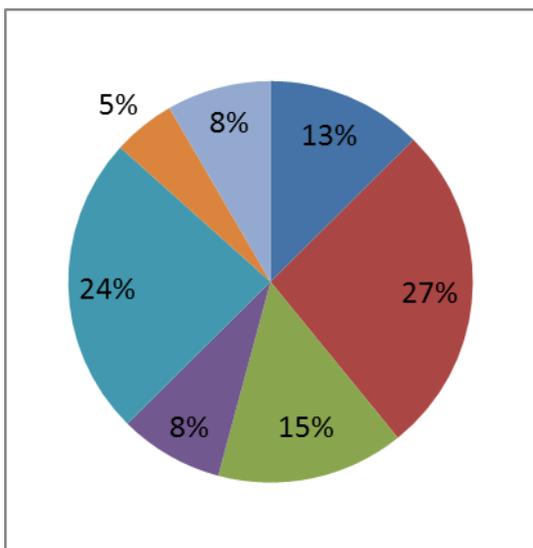


【60～64歳】

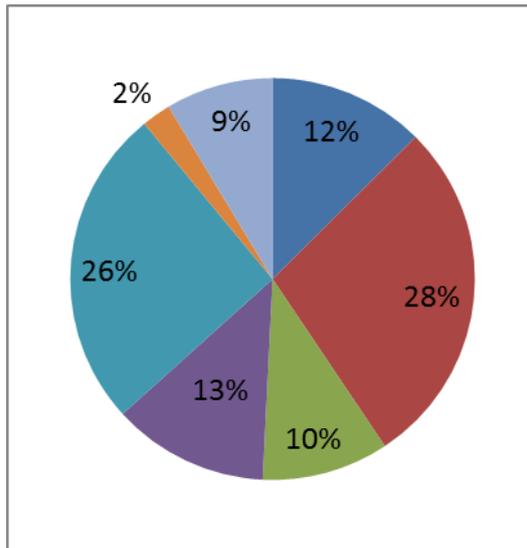


- 会員募集のチラシ作成
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- イベント時の声掛け
- 何もしていない
- 人脈の活用
- 積極的な活動内容の周知
- その他

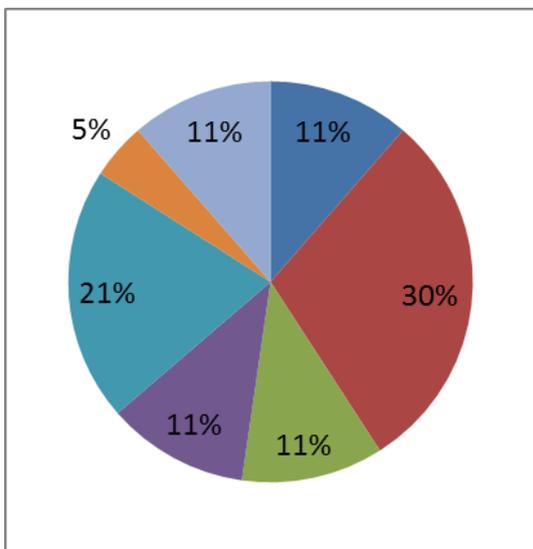
【65～69歳】



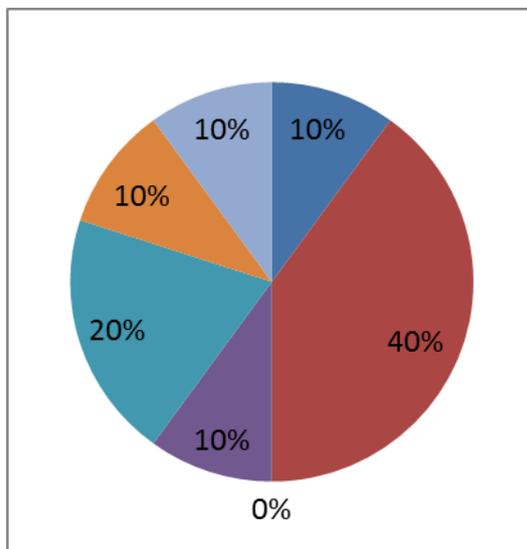
【70～74歳】



【75～79歳】



【80歳以上】



- どの年代でも一番比率が高いのは、「人脈の活用」となっている。また、10～29歳を除き、10%程度は「何もしていない」という回答となっている。
- その他、どの年代を比較しても特徴的な違いは見受けられなかった。

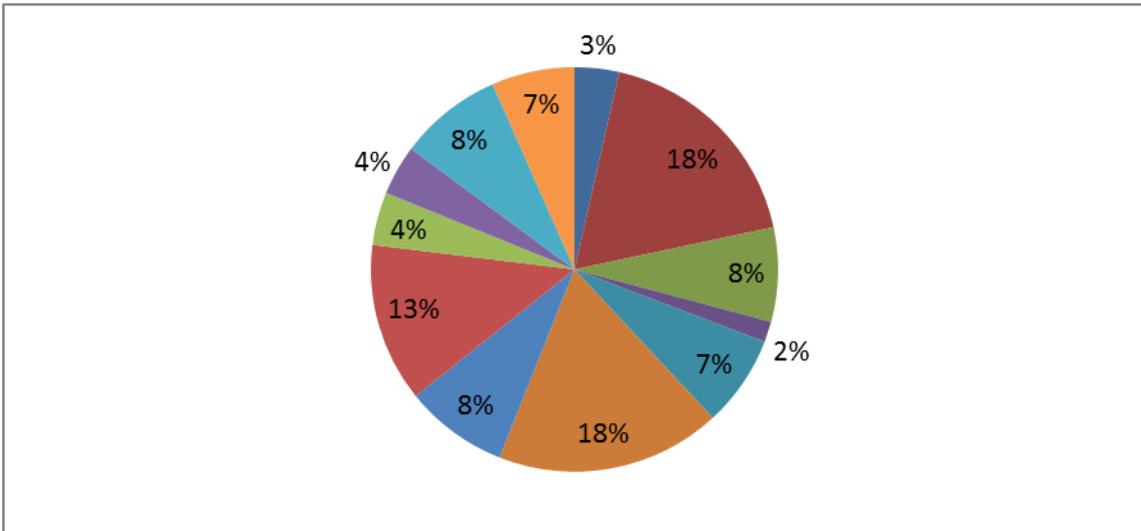
⑤ 会員の主な年齢層×負担となっている経費

回答総数：459件（10～29歳：17件、30～49歳：23件、50～59歳：47件、60～64歳：49件、65～69歳：126件、70～74歳：140件、75～79歳：48件、80歳以上：9件）

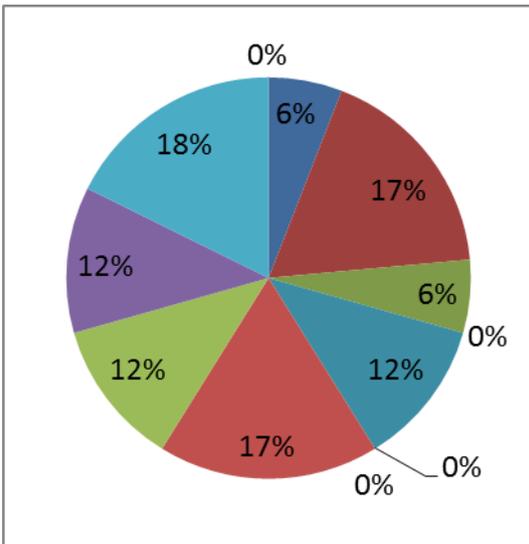
	調査・研究費	会場・施設などの使用料	機材・資料・参考図書などの調達費	他団体との交流費（交通費含む）	イベント等の広報・宣伝にかかる費用	コピー代・印刷費
10～29歳	1	3	1	0	2	0
30～49歳	1	5	0	1	1	1
50～59歳	2	7	2	1	6	6
60～64歳	5	8	6	1	5	7
65～69歳	5	24	9	2	8	27
70～74歳	4	22	13	1	14	30
75～79歳	2	10	5	2	3	8
80歳以上	1	2	0	0	1	0
	通信費	講師・出演者などにかかる経費	事務所維持費	人件費（事務局員への給与等）	その他	特に経済的負担はない
10～29歳	0	3	2	2	3	0
30～49歳	3	4	2	1	4	0
50～59歳	2	6	4	3	6	2
60～64歳	2	8	1	1	3	2
65～69歳	9	20	4	1	7	10
70～74歳	14	14	3	5	10	10
75～79歳	4	9	0	0	2	3
80歳以上	1	2	0	0	0	2

- 調査・研究費
- 会場・施設などの使用料
- 機材・資料・参考図書などの調達費
- 他団体との交流費(交通費含む)
- イベント等の広報・宣伝にかかる費用
- コピー代・印刷費
- 通信費
- 講師・出演者などにかかる経費
- 事務所維持費
- 人件費(事務局員への給与等)
- その他
- 特に経済的負担はない

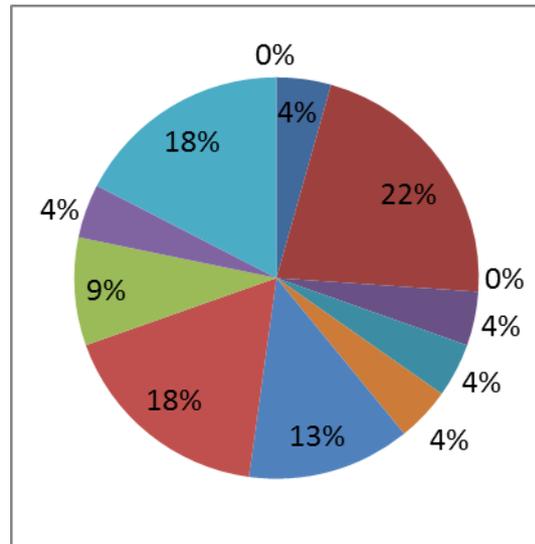
【全体】



【10～29歳】

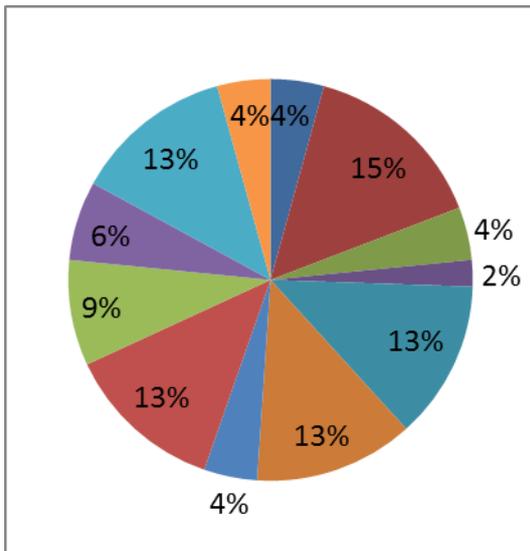


【30～49歳】

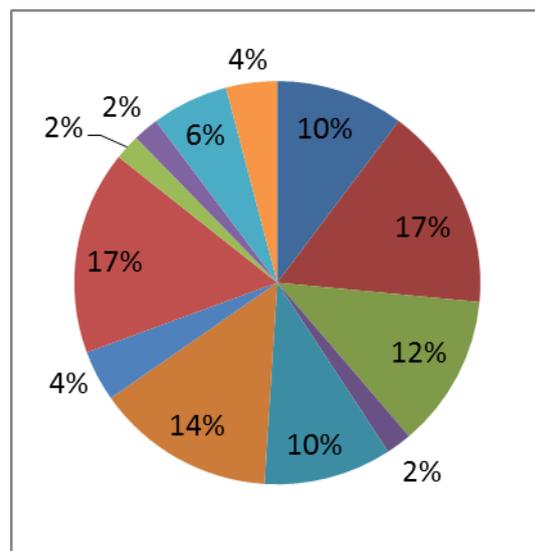


- 調査・研究費
- 会場・施設などの使用料
- 機材・資料・参考図書などの調達費
- 他団体との交流費(交通費含む)
- イベント等の広報・宣伝にかかる費用
- コピー代・印刷費
- 通信費
- 講師・出演者などにかかる経費
- 事務所維持費
- 人件費(事務局員への給与等)
- その他
- 特に経済的負担はない

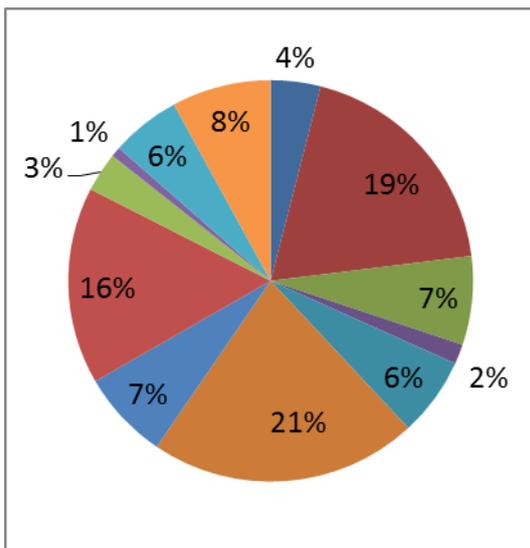
【50～59歳】



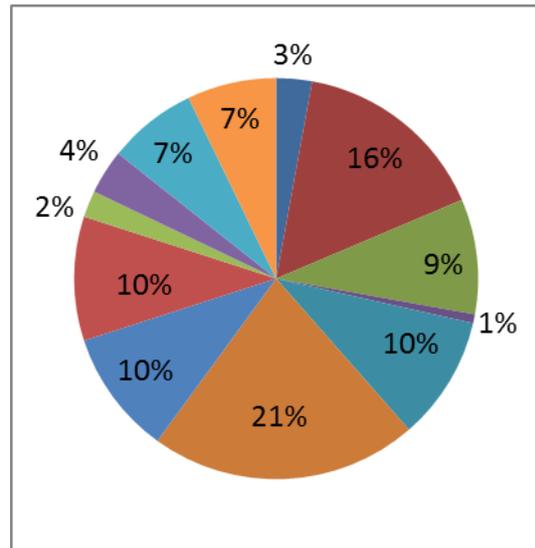
【60～64歳】



【65～69歳】

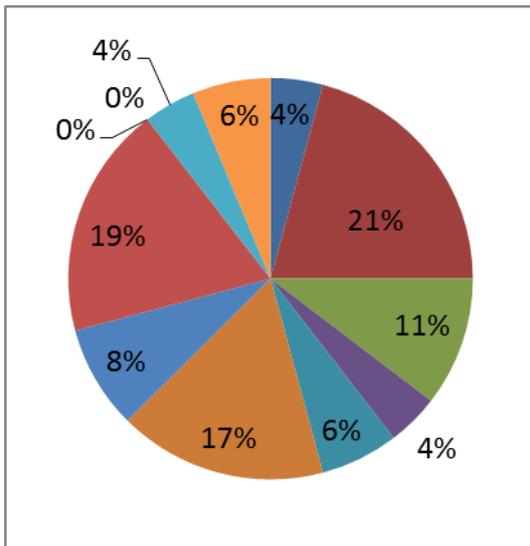


【70～74歳】

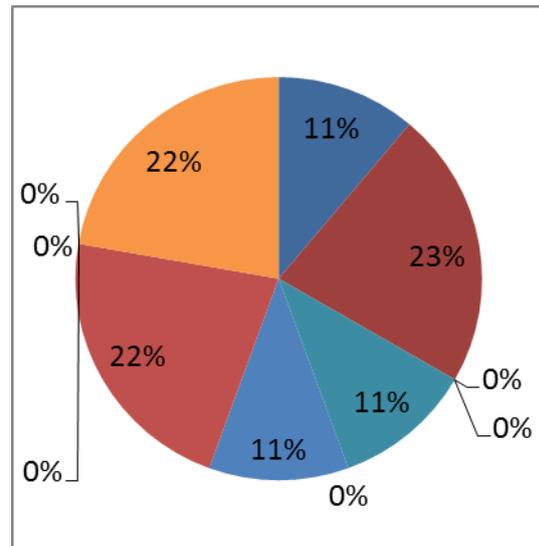


- 調査・研究費
- 会場・施設などの使用料
- 機材・資料・参考図書などの調達費
- 他団体との交流費(交通費含む)
- イベント等の広報・宣伝にかかる費用
- コピー代・印刷費
- 通信費
- 講師・出演者などにかかる経費
- 事務所維持費
- 人件費(事務局員への給与等)
- その他
- 特に経済的負担はない

【75～79歳】



【80歳以上】



- ・各年代とも「会場・施設などの使用料」の比率が高く、大きな違いは見受けられなかった。
- ・金銭面での支援を多く希望していた若い世代でも団体によって必要となる経費が異なるため、団体運営全般をカバーできるような仕組みが必要だと考えられる。

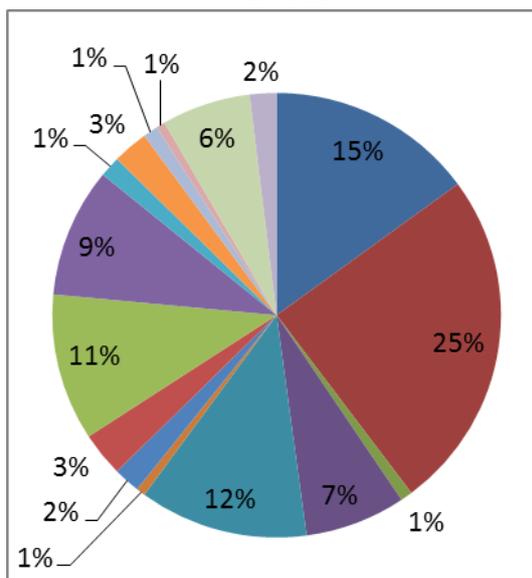
⑥ 活動分野×活動する上で困っていること

回答総数：792件（保健・福祉：187件、環境：95件、教育・文化：197件、スポーツ：46件、まちづくり：117件、子ども：79件、その他：71件）

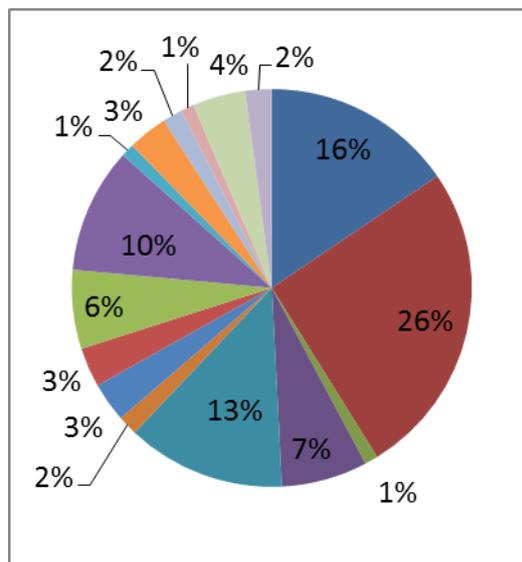
	会員の減少	会員の高齢化	会員間の人間関係	役員等に責任・業務が集中	リーダー・後継者の引き受け手がない	相談する機関(相手)がない	専門的な知識やノウハウの不足	団体の拠点となる事務所がない
保健・福祉	29	48	2	13	24	3	6	6
環境	14	30	0	7	17	0	2	2
教育・文化	24	49	1	17	18	0	1	5
スポーツ	10	11	0	2	5	0	1	2
まちづくり	14	29	1	16	18	1	2	4
子ども	9	14	0	9	5	1	1	5
その他	10	15	0	4	9	1	1	0
	活動場所の確保	活動資金の不足	機材・備品が不足	活動を周知する方法がない	活動に必要な情報が入手できない	市民の理解が得られない	特に困っていることはない	その他
保健・福祉	12	19	2	6	3	2	8	4
環境	6	10	1	0	1	1	3	1
教育・文化	31	19	3	5	2	1	17	4
スポーツ	7	2	0	2	1	0	3	0
まちづくり	7	14	4	2	1	1	2	1
子ども	8	11	1	4	3	1	4	3
その他	7	10	2	4	1	0	5	2

- 会員の減少
- 会員の高齢化
- 会員間の人間関係
- 役員等に責任・業務が集中
- リーダー・後継者の引き受け手がいない
- 相談する機関(相手)がない
- 専門的な知識やノウハウの不足
- 団体の拠点となる事務所がない
- 活動場所の確保
- 活動資金の不足
- 機材・備品が不足
- 活動を周知する方法がない
- 活動に必要な情報が入手できない
- 市民の理解が得られない
- 特に困っていることはない
- その他

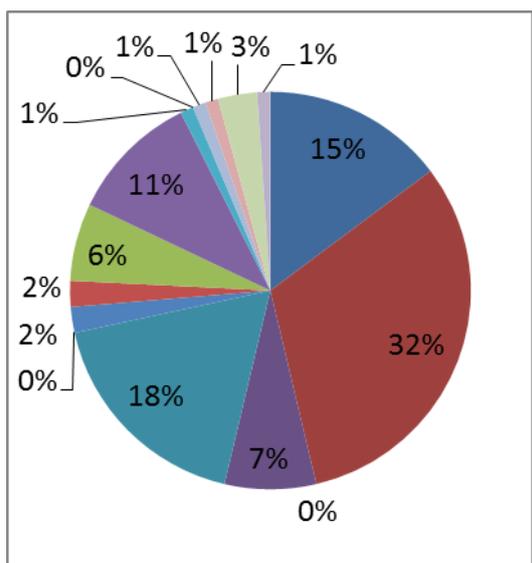
【全体】



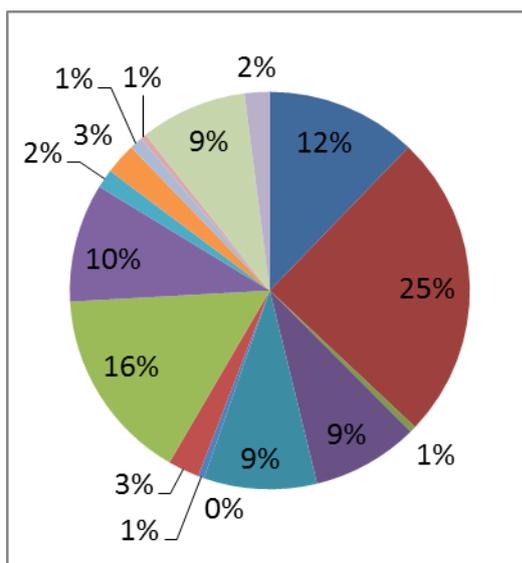
【保健・福祉】



【環境】

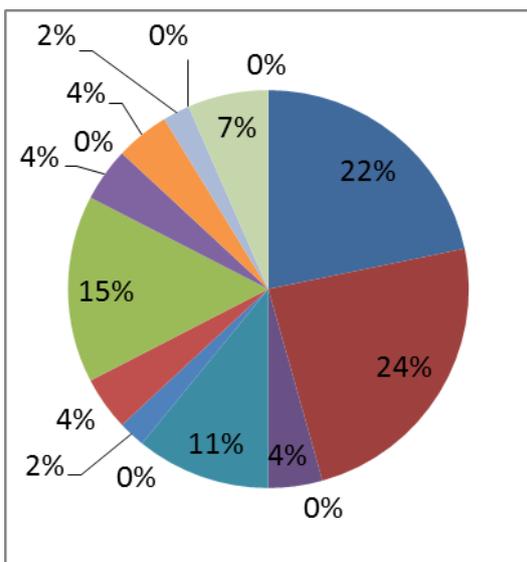


【教育・文化】

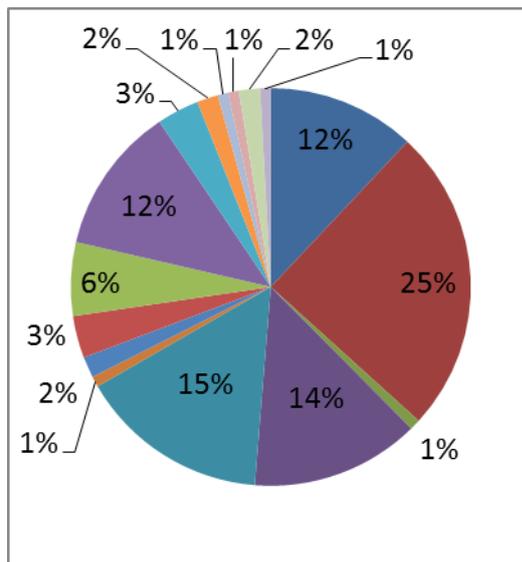


- 会員の減少
- 会員の高齢化
- 会員間の人間関係
- 役員等に責任・業務が集中
- リーダー・後継者の引き受け手がいない
- 相談する機関(相手)がない
- 専門的な知識やノウハウの不足
- 団体の拠点となる事務所がない
- 活動場所の確保
- 活動資金の不足
- 機材・備品が不足
- 活動を周知する方法がない
- 活動に必要な情報が入手できない
- 市民の理解が得られない
- 特に困っていることはない
- その他

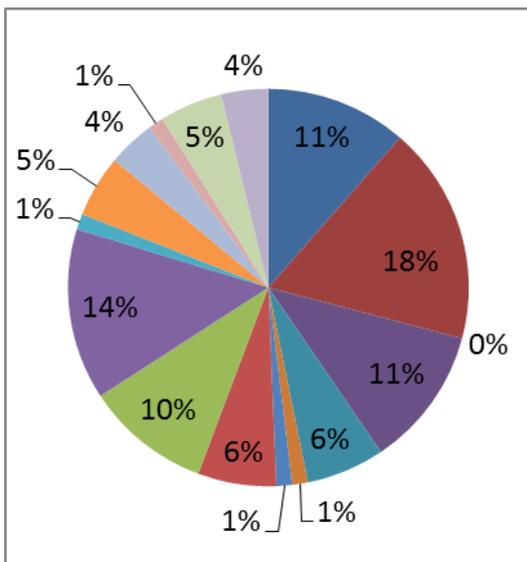
【スポーツ】



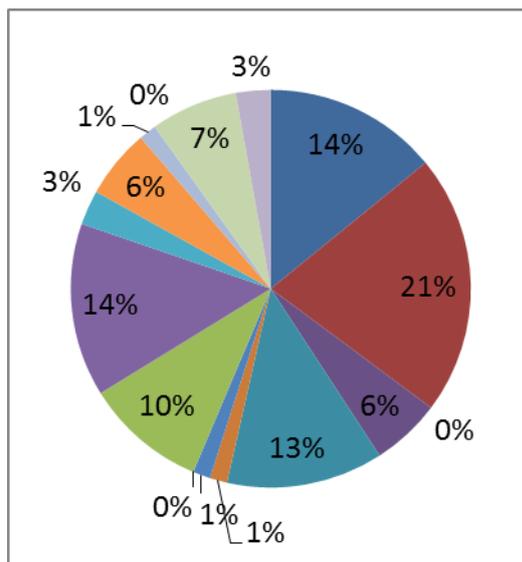
【まちづくり】



【子ども】



【その他】



-
- ・活動分野別の困っていることは、どの分野も会員の高齢化の比率が一番高くなった。
 - ・全体として分野別の大きな特徴は見受けられないが、2番目に比率が高くなったものは、分野によって異なる結果となった。「保健・福祉」、「スポーツ」の分野では、「会員の減少」。「環境」、「まちづくり」の分野では、「リーダー・後継者の引き受け手がいない」。「教育・文化」の分野では、「活動場所の確保」。「子ども」の分野では、「活動資金の不足」。「その他」の分野では、「会員の減少」、「活動資金の不足」。
 - ・「教育・文化」、「スポーツ」で活動場所の確保という課題が多くあがっている要因は、活動場所の数よりもサークル活動等他の団体が多く、競争率が高いことが考えられる。

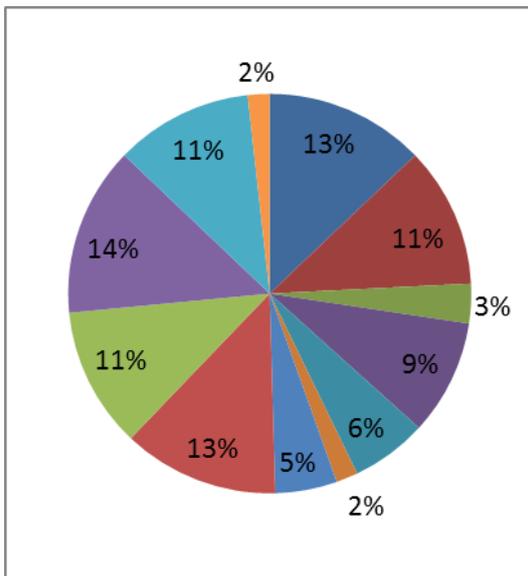
⑦ 活動分野×活動する上での必要な支援

回答総数：566件（保健・福祉：136件、環境：59件、教育・文化：149件、スポーツ：33件、まちづくり：85件、子ども：59件、その他：45件）

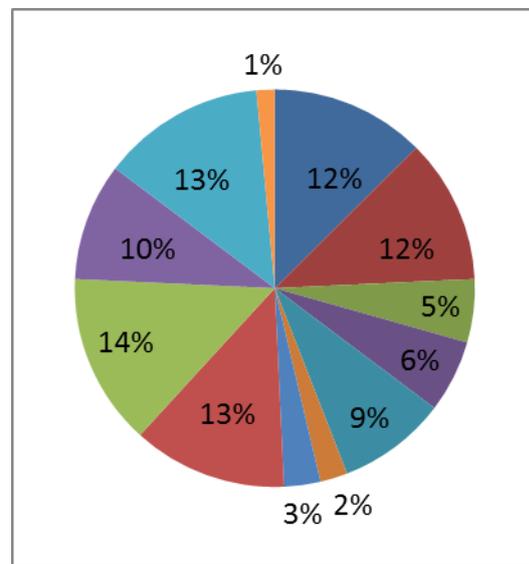
	あびこ市民活動ステーションの施設面（活動スペースや機材等）の充実	市民活動への参加促進（担い手づくり）を促す催し・事業の充実	市民活動団体向けの研修・講座等の充実	市民活動に関する情報発信の充実	市民活動団体間の連携・交流事業の充実	NPO 法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
保健・福祉	17	16	7	8	12	3
環境	9	10	2	4	3	1
教育・文化	19	15	5	15	7	3
スポーツ	4	4	2	4	2	0
まちづくり	12	14	0	6	6	0
子ども	5	4	1	3	7	2
その他	6	4	1	4	2	0
	市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実	市民活動団体と行政の協働の推進	金銭面での支援	活動場所の充実	特に支援の必要はない	その他
保健・福祉	4	17	19	13	18	2
環境	2	9	7	3	7	2
教育・文化	9	19	16	25	13	3
スポーツ	1	1	2	8	4	1
まちづくり	4	21	12	6	4	0
子ども	7	10	8	10	2	0
その他	3	5	3	8	7	2

- あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実
- 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実
- 市民活動団体向けの研修・講座等の充実
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 市民活動団体間の連携・交流事業の充実
- NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
- 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実
- 市民活動団体と行政の協働の推進
- 金銭面での支援
- 活動場所の充実
- 特に支援の必要はない
- その他

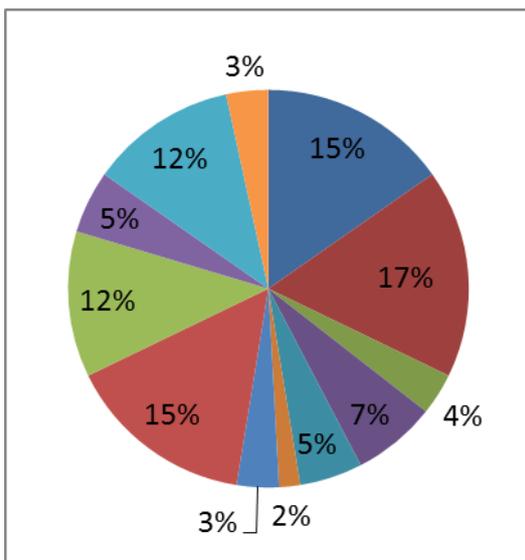
【全体】



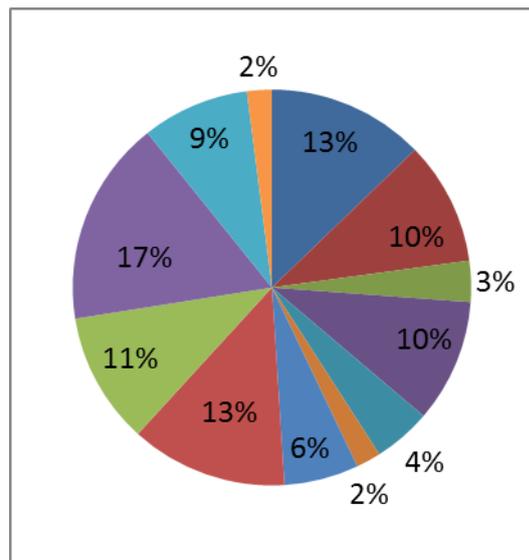
【保健・福祉】



【環境】

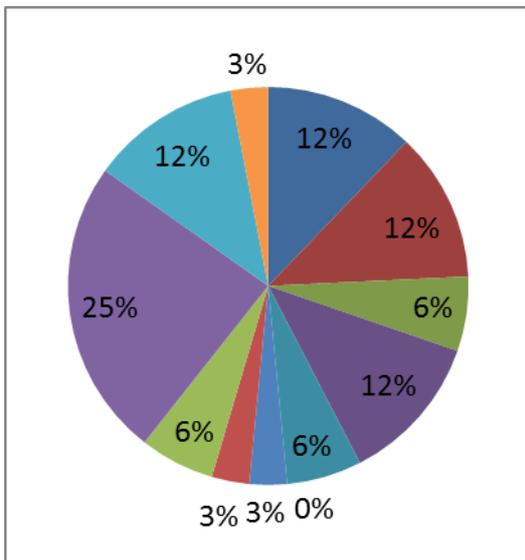


【教育・文化】

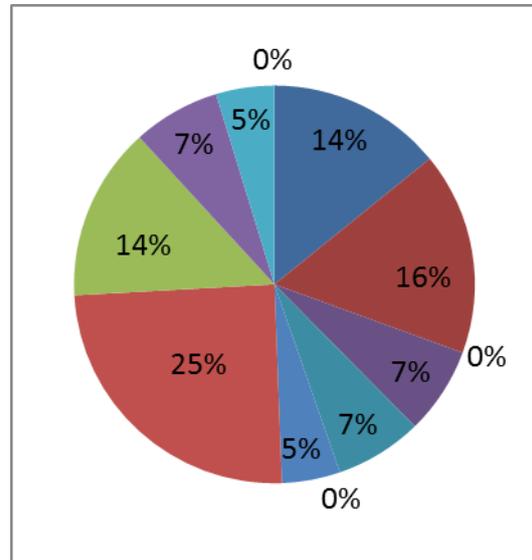


- あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実
- 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実
- 市民活動団体向けの研修・講座等の充実
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 市民活動団体間の連携・交流事業の充実
- NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実
- 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実
- 市民活動団体と行政の協働の推進
- 金銭面での支援
- 活動場所の充実
- 特に支援の必要はない
- その他

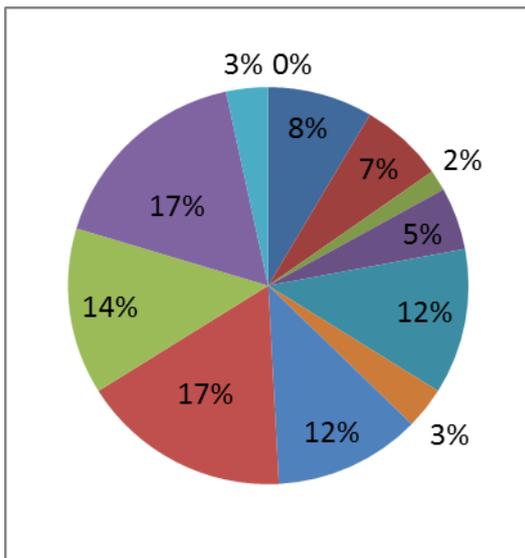
【スポーツ】



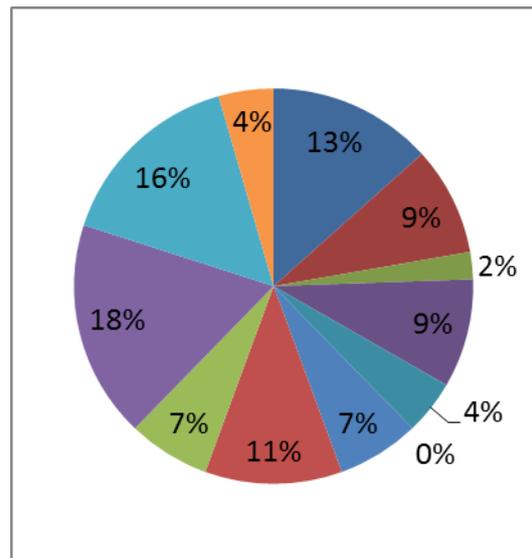
【まちづくり】



【子ども】



【その他】



-
- 一番比率が高くなったものは各分野で異なる結果となった。「保健・福祉」の分野では、「金銭面での支援」。「環境」の分野では、「市民活動への参加促進を促す催し・事業の充実」。「教育・文化」、「スポーツ」、「その他」の分野では、「活動場所の充実」。「まちづくり」の分野では、「市民活動団体と行政の協働の推進」。「子ども」の分野では、「市民活動団体と行政の協働の推進」、「活動場所の充実」。
 - 「協働の推進」は、「まちづくり」の回答比率が高い。まちづくりという活動目的から団体のみでは解決できない課題が多いことが考えられる。
 - 「活動場所の充実」では、「スポーツ」の比率が高い。スポーツを行う際に一定程度のスペースが必要となることから、市内の活動場所は限られていることが考えられる。

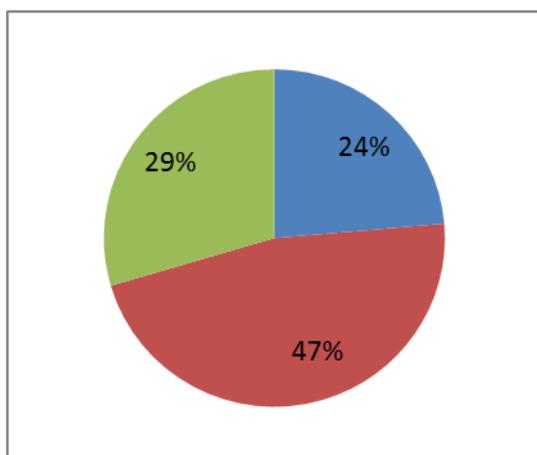
⑧ 活動分野×会員の増減

回答総数：329件（保健・福祉：80件、環境：37件、教育・文化：88件、スポーツ：18件、まちづくり：46件、子ども：31件、その他：29件）

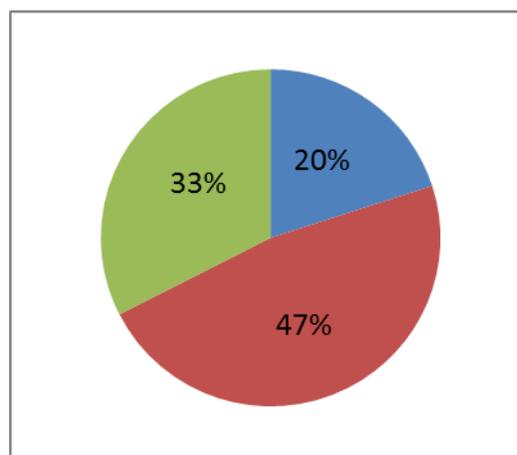
	増加した	変化なし	減少した
保健・福祉	16	38	26
環境	10	15	12
教育・文化	23	46	19
スポーツ	6	5	7
まちづくり	15	24	7
子ども	10	18	3
その他	8	16	5

■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した

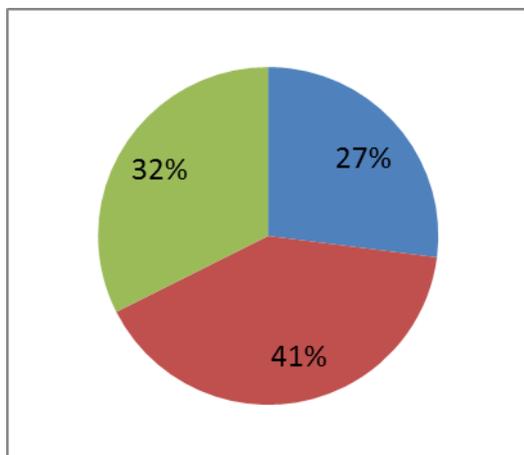
【全体】



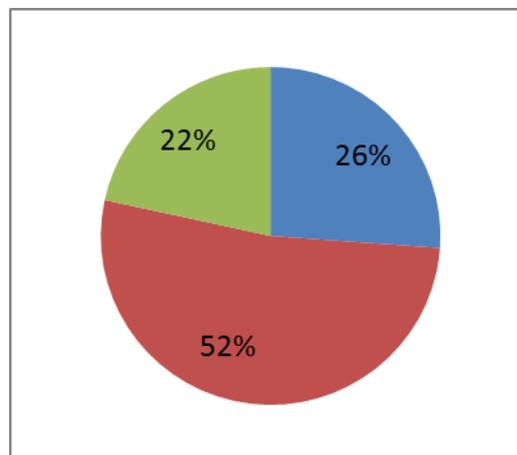
【保健・福祉】



【環境】

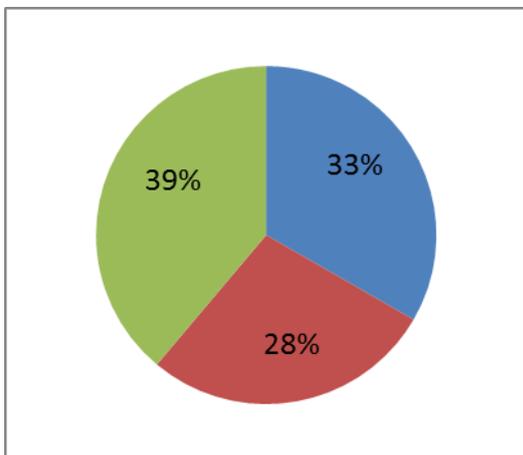


【教育・文化】

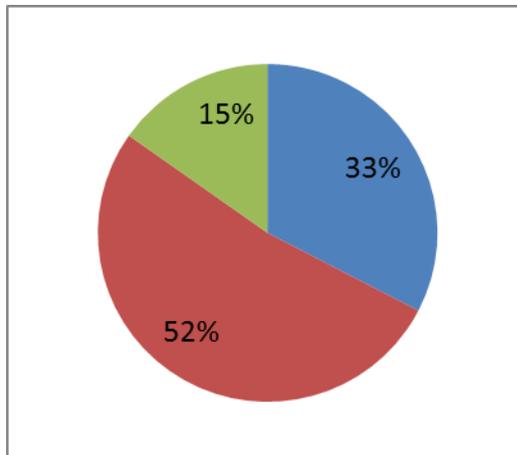


■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した

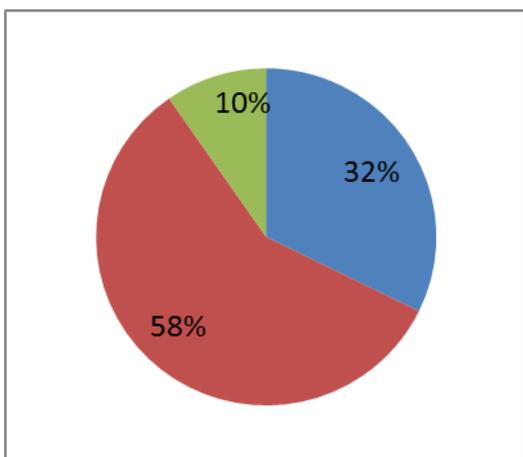
【スポーツ】



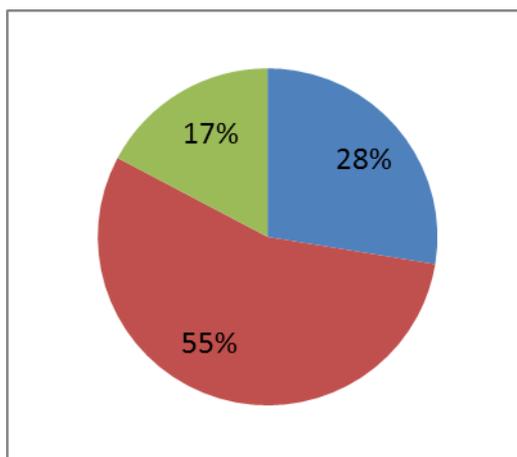
【まちづくり】



【子ども】



【その他】



- ・ほとんどの分野で「変化なし」という回答が一番多かったが、増減のみを比較すると、会員が増加した比率が30%を超えた分野は、「スポーツ」、「まちづくり」、「子ども」。減少した比率が30%を超えた分野は、「保健・福祉」、「環境」、「スポーツ」となった。しかし、それぞれの分野での母数が少ないこともあり人気の有無ではなく、誤差の範囲だと考えられる。
- ・「スポーツ」の分野では、唯一「変化なし」が一番低い比率となった。行う競技が違うこと、高齢化の影響を大幅に受けることなどの要因で団体による差が出やすいと考えられる。

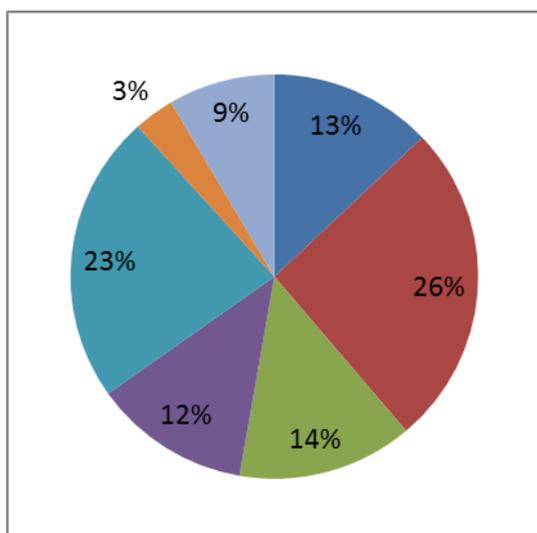
⑨ 活動分野×担い手対策のために行っていること

回答総数：658件（保健・福祉：141件、環境：72件、教育・文化：189件、スポーツ：42件、まちづくり：89件、子ども：65件、その他：60件）

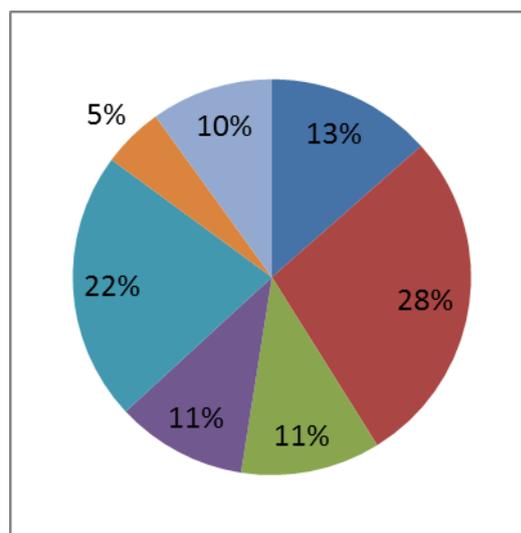
	会員募集のチラシ作成	人脈の活用	広報、ミニコミ誌等での募集	積極的な活動内容の周知	イベント時の声掛け	その他	何もしていない
保健・福祉	19	39	16	15	31	7	14
環境	6	21	11	11	16	2	5
教育・文化	24	44	27	29	44	7	14
スポーツ	5	11	11	4	10	1	0
まちづくり	9	28	10	11	19	6	6
子ども	7	18	6	10	16	4	4
その他	10	15	7	8	16	1	3

- 会員募集のチラシ作成
- 人脈の活用
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- 積極的な活動内容の周知
- イベント時の声掛け
- その他
- 何もしていない

【全体】

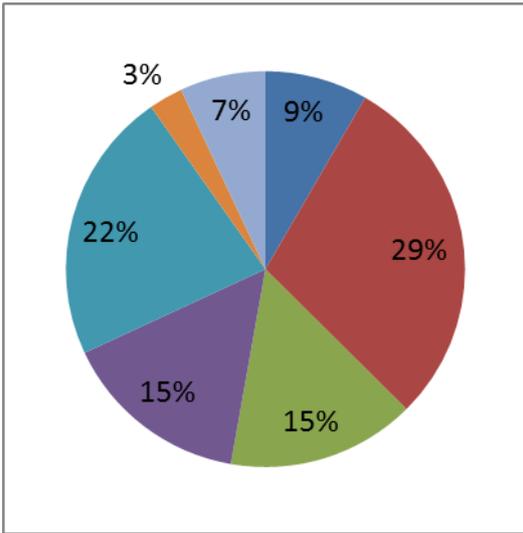


【保健・福祉】

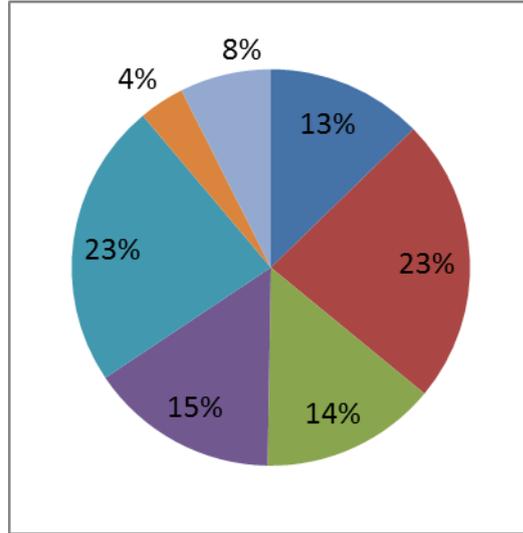


- 会員募集のチラシ作成
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- イベント時の声掛け
- 何もしていない
- 人脈の活用
- 積極的な活動内容の周知
- その他

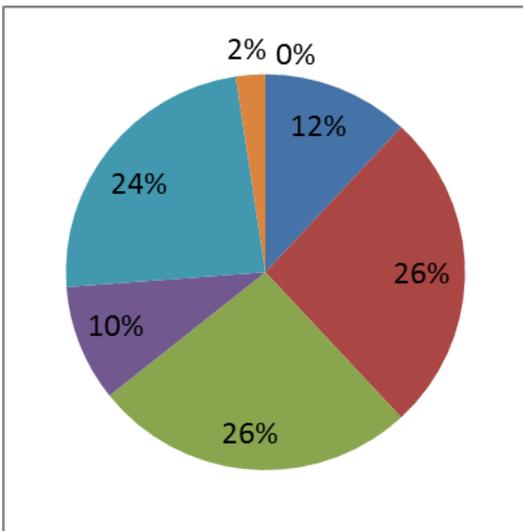
【環境】



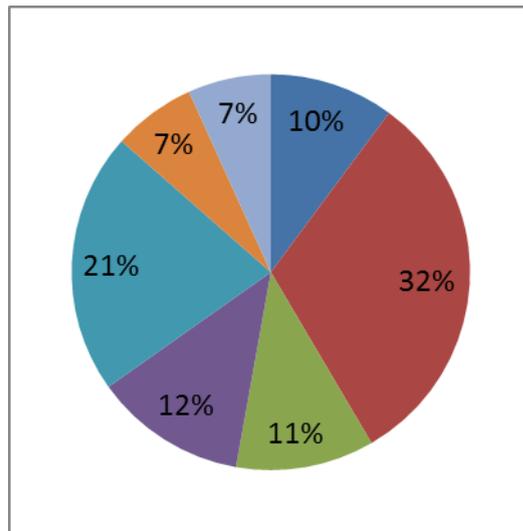
【教育・文化】



【スポーツ】

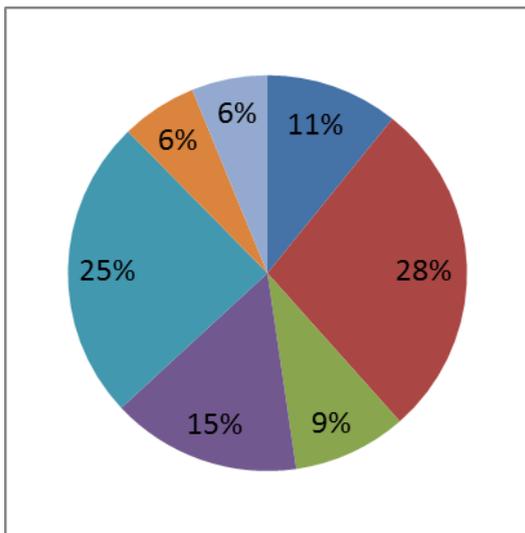


【まちづくり】

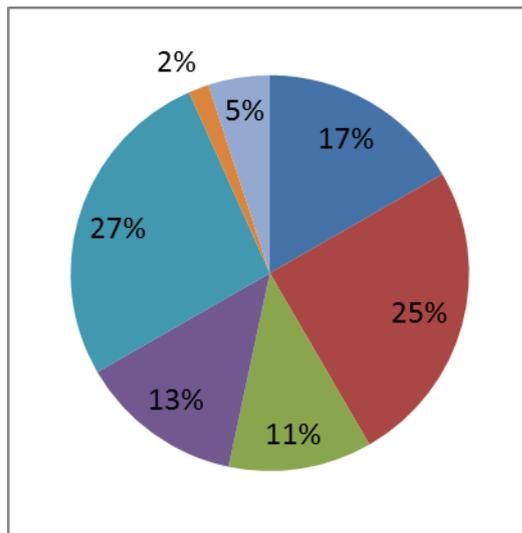


- 会員募集のチラシ作成
- 広報、ミニコミ誌等での募集
- イベント時の声掛け
- 何もしていない
- 人脈の活用
- 積極的な活動内容の周知
- その他

【子ども】



【その他】



- ・ほとんどの分野で一番比率が高いのは、「人脈の活用」となっている。また、「スポーツ」を除き、10%弱程度は「何もしていない」という回答となっている。
- ・その他、どの分野を比較しても特徴的な違いは見受けられなかった。

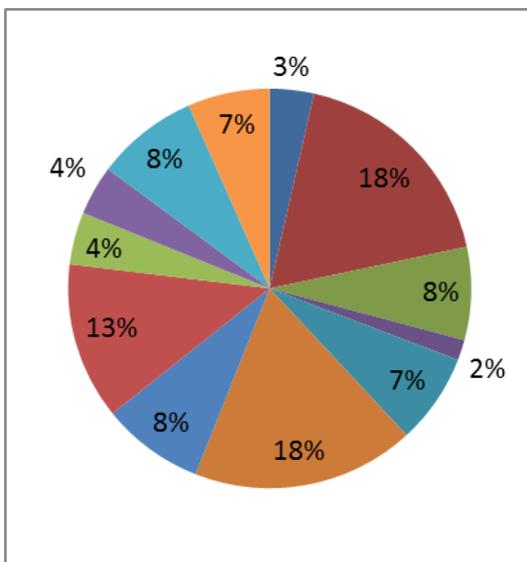
⑩ 活動分野×負担となっている経費

回答総数：718件（保健・福祉：160件、環境：74件、教育・文化：207件、スポーツ：38件、まちづくり：106件、子ども：69件、その他：64件）

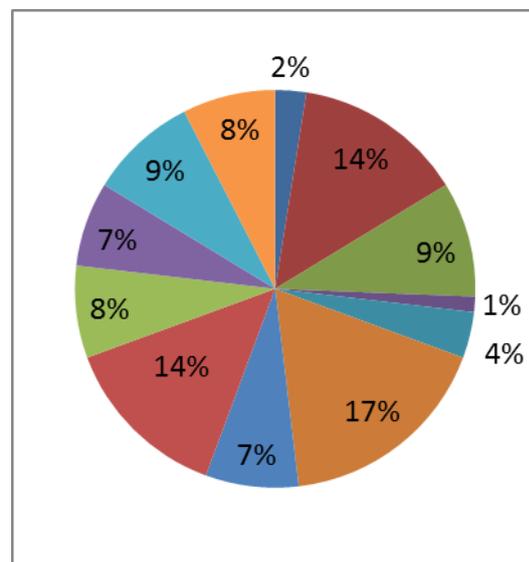
	調査・研究費	会場・施設などの使用料	機材・資料・参考図書などの調達費	他団体との交流費（交通費含む）	イベント等の広報・宣伝にかかる費用	コピー代・印刷費
保健・福祉	4	22	15	2	6	28
環境	4	8	11	0	10	16
教育・文化	9	49	11	1	15	35
スポーツ	0	11	1	1	2	5
まちづくり	5	12	16	2	10	22
子ども	2	13	6	3	5	11
その他	2	17	3	2	5	12
	通信費	講師・出演者などにかかる経費	事務所維持費	人件費（事務局員への給与等）	その他	特に経済的負担はない
保健・福祉	12	22	12	11	14	12
環境	8	4	1	1	6	5
教育・文化	13	38	7	4	16	9
スポーツ	3	4	2	3	3	3
まちづくり	13	7	5	4	7	3
子ども	2	10	4	1	10	2
その他	6	5	1	2	3	6

- 調査・研究費
- 会場・施設などの使用料
- 機材・資料・参考図書などの調達費
- 他団体との交流費(交通費含む)
- イベント等の広報・宣伝にかかる費用
- コピー代・印刷費
- 通信費
- 講師・出演者などにかかる経費
- 事務所維持費
- 人件費(事務局員への給与等)
- その他
- 特に経済的負担はない

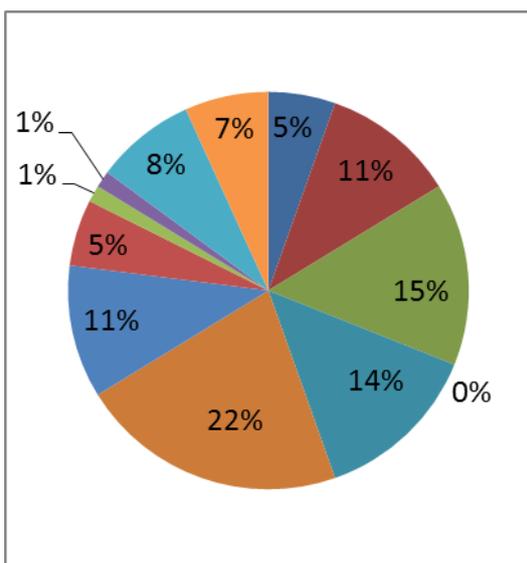
【全体】



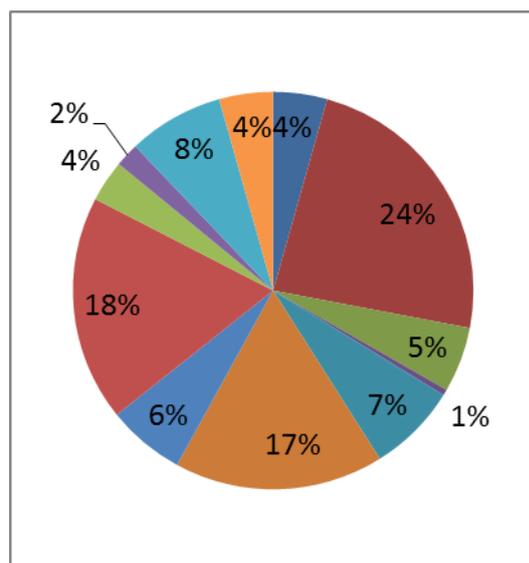
【保健・福祉】



【環境】



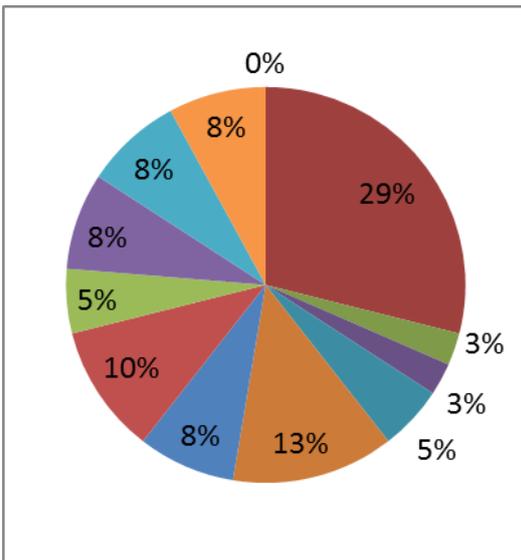
【教育・文化】



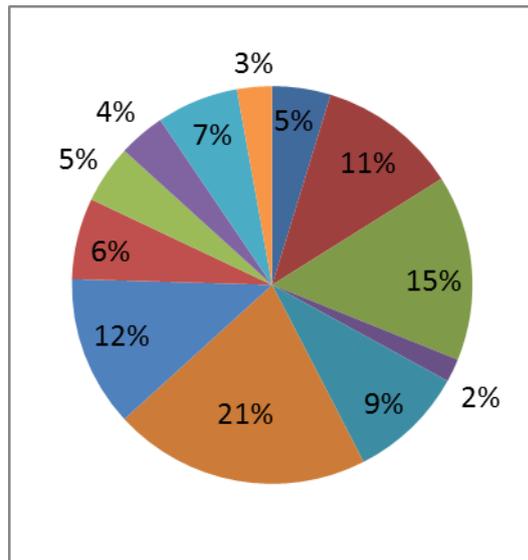
- 調査・研究費
- 機材・資料・参考図書などの調達費
- イベント等の広報・宣伝にかかる費用
- 通信費
- 事務所維持費
- その他

- 会場・施設などの使用料
- 他団体との交流費(交通費含む)
- コピー代・印刷費
- 講師・出演者などにかかる経費
- 人件費(事務局員への給与等)
- 特に経済的負担はない

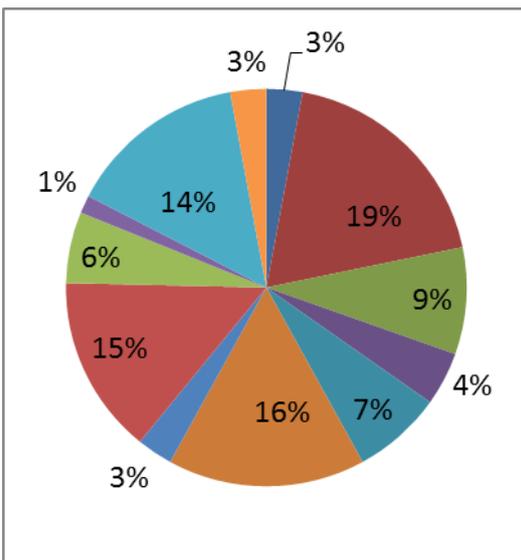
【スポーツ】



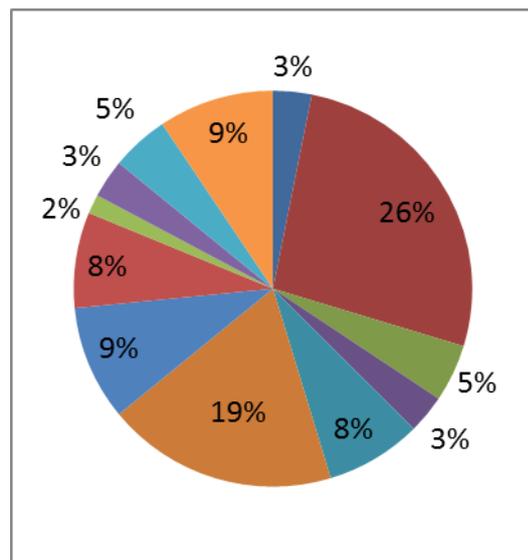
【まちづくり】



【子ども】



【その他】



-
- 一番比率が高くなったものは各分野で「会場・施設などの使用料」、「コピー代・印刷費」の2つに分かれた。
 - 施設の使用料と回答した比率が高い分野は、「教育・文化」、「スポーツ」、「子ども」、「その他」。
 - 印刷費と回答した比率が高い分野は、「保健・福祉」、「環境」、「まちづくり」。
 - どちらの費用も各分野で数値は高いので必要性が高い費用だが、施設を使わなくては成り立たない活動の多さで差が出ていることが考えられる。

⑪ 会員の増減について

設問から会員の増減に着目し、会員が増えている団体と減っている団体との比較を行った。調査結果から主要な点のみを抜粋。

1) 会員の増減×設立経過年

回答総数：190件（増加した：45件、変化なし：89件、減少した：56件）

	0～2年	3～5年	6～9年	10年～19年	20年以上
増加した	10	7	17	6	5
変化なし	15	15	29	14	16
減少した	1	9	22	10	14

- ・設立2年未満の団体では10団体の会員が増加しており、減少したのは1団体のみ。
- ・設立20年以上の団体では、5団体で会員が増加しているが、14団体は減少している。
- ・設立経過年が長い団体ほど、会員が減少している傾向がある。要因は、高齢化により活動できる方が減っている中で新たな会員が入会していないことが考えられる。

2) 会員の増減×活動に使用する主な場所

回答総数：294件（増加した：76件、変化なし：129件、減少した：89件）

	団体専用の事務所	公共施設	町内会館・自治会館	個人の住宅	企業の施設
増加した	7	36	7	1	5
変化なし	9	65	4	18	5
減少した	9	41	7	11	2
	公園・広場	農地	森林	その他	
増加した	10	2	2	6	
変化なし	7	2	2	17	
減少した	7	0	2	10	

- ・会員の増減にかかわらず、公共施設を利用している団体が一番多い結果となっているが、大きな違いが出た項目は、「個人の住宅」となった。会員が増加した団体で主な活動場所として個人の住宅を挙げている団体は1団体のみ。
- ・考えられる要因は、会員規模から個人宅では活動のできない団体が多いこと、活動の目的が「公園・広場」、「農地」など野外のフィールドで活動している団体の会員が増えていることなどが考えられる。

3) 会員の増減×会員に関することで苦勞していること

回答総数：312件（増加した：72件、変化なし：136件、減少した：104件）

	会員の減少	会員の高齢化	会員間の人間関係	役員等に責任・業務が集中	リーダー・後継者の引き受け手がない	その他	特に問題はない
増加した	2	23	0	17	12	7	11
変化なし	14	58	2	14	19	3	26
減少した	37	46	1	5	10	2	3

- ・会員の増減にかかわらず、「会員の高齢化」を一番多い項目となっている。
- ・会員の増加と減少を比較すると、会員に関することで苦勞している点で差が出た項目は、「役員等に責任・業務が集中」「特に問題はない」の2点。
- ・増加したと回答している団体が、2点の項目で多く回答している団体が多い。
- ・会員が多くなることで、役員の大任が大きくなっていることが考えられる。また、会員が増えていることで人に関することの苦勞はないという回答が多くなっていると考えられる。

4) 会員の増減×年間活動費用

回答総数：192件（増加した：46件、変化なし：90件、減少した：56件）

	0万～5万円未満	5万～10万円未満	10万～50万円未満	50万～100万円未満	100万～500万円未満	500万～1000万円未満
増加した	4	4	16	3	12	7
変化なし	22	13	34	13	7	1
減少した	17	8	14	8	6	3

- ・増加と減少を比較すると、会員が増加している団体の方が費用の面で活動規模が大きいことがわかる。
- ・0～10万円未満の規模の団体では、会員が減少した団体が多く、100万円以上の規模の団体では、会員が増加した団体が多い。
- ・考えられる要因は、活動規模が大きくなると活動内容が広く一般に周知されやすく活動の理解者や新たな会員の獲得がしやすくなることが考えられる。

5) 会員の増減×主な収入源

回答総数：383件（増加した：103件、変化なし：171件、減少した：109件）

	会費	行政からの補助金	財団等民間からの助成金	寄付金・賛助金・協賛金	事業収入
増加した	36	18	8	14	11
変化なし	62	18	7	21	25
減少した	36	16	2	16	15
	会費以外の個人負担	行政からの業務委託	借入金	その他	
増加した	7	5	0	4	
変化なし	22	8	1	7	
減少した	11	5	0	8	

- ・主な収入源で大きい差が出たのは、「民間からの助成金」
- ・活動の目的・計画が明確な団体が民間からの助成金を得やすいことが考えられる。活動を行う過程で会員だけでなく、多くの方を巻き込むことで会員が増えていることが考えられる。

6) 会員の増減×負担となる経費

回答総数：423件（増加した：109件、変化なし：206件、減少した：108件）

	調査・研究費	会場・施設などの使用料	機材・資料・参考図書などの調達費	他団体との交流費(交通費含む)	イベント等の広報・宣伝にかかる費用	コピー代・印刷費
増加した	5	21	8	0	13	17
変化なし	9	38	15	3	12	42
減少した	2	18	9	4	5	17
	通信費	講師・出演者などにかかる経費	事務所維持費	人件費(事務局員への給与等)	その他	特に経済的負担はない
増加した	6	13	7	6	9	4
変化なし	16	32	5	9	16	9
減少した	13	8	6	2	10	14

- ・増加と減少を比較すると、「広報・宣伝にかかる費用」、「人件費」、「特に経済的負担はない」の項目に差がある。
- ・会員が増加している団体は、広報・宣伝に費用を多く使っていることがわかる。団体の活動内容をより多く周知することで集客や会員増につながっていると考えられる。
- ・また、活動規模が大きいことから事務局員を雇用している団体やいわゆる有償ボランティアとして活動をしている団体も含め人件費が負担となっている団体も増加傾向にある。
- ・一方、特に経済的負担がないと回答している団体は会員の減少傾向にある。要因は一概にはわからないが、増加している団体と比べると活動規模からも様々な経費に費用をかけずに活動をしていることで一般への活動の周知がしづらくなっていることが考えられる。

7) 会員の増減×団体と関わりを持っている団体

回答総数：550件（増加した：166件、変化なし：258件、減少した：126件）

	同様の分野の市民活動団体	他分野の市民活動団体	自治会	まちづくり協議会	社会福祉協議会（地区社協含む）	民生員・児童員	我孫子市
増加した	29	10	10	13	21	5	34
変化なし	40	25	6	20	37	7	53
減少した	24	13	5	7	17	1	31
	千葉県	他の行政	民間企業	教育機関	その他	関わりはない	
増加した	11	9	4	11	5	4	
変化なし	13	6	3	22	14	12	
減少した	6	1	0	4	6	11	

- ・増加と減少を比較すると、「自治会」、「他の行政」、「教育機関」、「関わりはない」の項目で差が出ている。
- ・会員が増加している団体は自治会・教育機関などの所属する人が多い団体や活動エリアが広く、他の行政と関わりがあることが考えられる。
- ・一方、会員が減少した団体は、他の団体と関わりがないと回答した団体の比率が大きい。
- ・会員が増加した団体は、他団体も含め人目に多く触れていることがわかる。

8) 会員の増減×今後関わりを持ちたい団体

回答総数：472件（増加した：156件、変化なし：207件、減少した：109件）

	同様の分野の市民活動団体	他分野の市民活動団体	自治会	まちづくり協議会	社会福祉協議会（地区社協含む）	民生員・児童員	我孫子市
増加した	19	17	9	19	18	8	19
変化なし	24	20	9	16	25	9	37
減少した	23	7	6	9	9	3	18
	千葉県	他の行政	民間企業	教育機関	その他	関わりは必要ない	
増加した	9	5	8	16	6	3	
変化なし	13	5	9	23	6	11	
減少した	6	5	1	8	2	12	

- ・増加と減少を比較すると、「他分野の市民活動団体」、「まちづくり協議会」、「社会福祉協議会」、「民間企業」、「関わりは必要ない」の項目で差が出ている。
- ・会員が増加している団体は、異分野との団体との関わりを多く求めている傾向が見受けられる。
- ・一方、会員が減少している団体は他団体との関わりが必要ないと考えている団体の比率が高くなっていることがわかる。

9) 会員の増減×担い手対策のために行っていること

回答総数：401件（増加した：105件、変化なし：180件、減少した：116件）

	会員募集のチラシ作成	人脈の活用	広報、ミニコミ誌等での募集	積極的な活動内容の周知	イベント時の声掛け	その他	何もしていない
増加した	12	30	14	16	21	6	6
変化なし	22	48	25	24	40	4	17
減少した	17	26	18	10	31	3	11

- ・増加と減少を比較すると担い手対策で大きな差はなかった。
- ・担い手対策に特化して何かをやるということよりも、日常的に広く活動内容を周知し、興味を持ってもらうことが重要だと考えられる。

10) 会員の増減に係る総括

- ・会員が増加している団体に見受けられる特徴として、「他団体とのつながりが多い」「活動内容の周知に費用をかけている」、等の特徴がある。
- ・一方、会員が減っている団体は、他団体との関わりが少なく、活動が自身の会員内や限られた少数のみへの活動となっていることがわかる。
- ・会員を増やすために、活動内容を変えることはやる必要はないと考えるが、イベント時だけでなく日常的な活動内容の周知や外部に向けたイベントの開催等広く市民の目に触れることが重要だと考えられる。

5. 終わりに

- ・アンケート結果を見て、過去と比較できる課題は数年ではほとんど変化がなかった。
- ・一方で、大きな課題に変化はないが、細かい課題やニーズ、活動内容等の変化は起きていることがわかる。社会課題が多様化する中で、団体の活動も多様化しており、純粋なボランティア団体だけでなく、有償ボランティアや自分たちの楽しみの延長で社会貢献を行っている団体もある。
- ・今後も一定の期間で調査を実施し、市民団体の実態を把握する必要がある。

【資料】市民活動支援に関するアンケート

1. 団体の概要について

団体名		会員数	_____名
団体の設立日	昭和・平成 _____年_____月_____日		
会員の主な年齢層 (いずれか <u>1つ</u> に○)	1. 10～29歳 4. 60～64歳 7. 75～79歳	2. 30～49歳 5. 65～69歳 8. 80歳以上	3. 50～59歳 6. 70～74歳
活動分野 (<u>3つ以内</u> に○)	1. 保健・福祉 4. スポーツ 7. その他 ()	2. 環境 5. まちづくり	3. 教育・文化 6. 子ども
社会貢献を主たる目的としているか (いずれか <u>1つ</u> に○)	1. 主たる目的としている 2. 一部社会貢献を実施している		

2. 団体の現状と支援策について

問1 活動する上で困っていることはありますか。

(該当する番号に3つまで○を付けてください)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 会員の減少 | 2. 会員の高齢化 |
| 3. 会員間の人間関係 | 4. 役員等に責任・業務が集中 |
| 5. リーダー・後継者の引き受け手がない | 6. 相談する機関(相手)がない |
| 7. 専門的な知識やノウハウの不足 | 8. 団体の拠点となる事務所がない |
| 9. 活動場所(会議・イベントスペース等)の確保 | 10. 活動資金の不足 |
| 11. 機材・備品が不足 | 12. 活動を周知する方法がない |
| 13. 活動に必要な情報が入手できない | 14. 市民の理解が得られない |
| 15. 特に困っていることはない | 16. その他 () |

問2 活動する上で、どのような支援を必要としていますか。

(該当する番号に2つまで○を付けてください)

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. あびこ市民活動ステーションの施設面(活動スペースや機材等)の充実 | |
| 2. 市民活動への参加促進(担い手づくり)を促す催し・事業の充実 | |
| 3. 市民活動団体向けの研修・講座等の充実 | |
| 4. 市民活動に関する情報発信の充実 | |
| 5. 市民活動団体間の連携・交流事業の充実 | |
| 6. NPO法人等が行うソーシャルビジネス等への支援の充実 | |
| 7. 市民活動団体と企業、学校等への仲介や交流の充実 | |
| 8. 市民活動団体と行政の協働の推進 | |
| 9. 金銭面での支援 | 10. 活動場所の充実 |
| 11. 特に支援の必要はない | 12. その他 () |

問3 貴団体の活動場所について伺います。

(1) 貴団体の事務局(連絡先)は、どこに置いていますか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 団体専用の事務所 | 2. 自治会館内 |
| 3. 会員の個人宅 | 4. 会員の勤務先 |
| 5. その他(具体的に |) |

(2) 活動には、主にどのような場所を使っていますか。

(該当する番号に2つまで○をつけてください)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 団体専用の事務所 | 2. 公共施設(近隣センター・公民館等) |
| 3. 町内会館・自治会館 | 4. 個人の住宅 |
| 5. 企業の施設 | 6. 公園・広場 |
| 7. 農地 | 8. 森林 |
| 9. その他(具体的に |) |

(3) 今後、活動する上で使用したい場所がありますか。

(該当する番号全てに○を付けてください)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 団体専用の事務所 | 2. 公共施設(近隣センター・公民館等) |
| 3. 町内会館・自治会館 | 4. 個人の住宅 |
| 5. 企業の施設 | 6. 公園・広場 |
| 7. 農地 | 8. 森林 |
| 9. その他(具体的に |) |
| 10. 今のままで良い | |

(4) 活動場所について、現在お困りのことがありましたらお書きください。

問4 貴団体の会員等について伺います。

(1) 前年の同時期と比べて会員数の増減はありましたか。

1. 増加した
2. 変化なし
3. 減少した

(2) 会員に関することで苦労していることは何ですか。

(該当する番号に2つまで○を付けてください)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 会員の減少 | 2. 会員の高齢化 |
| 3. 会員間の人間関係 | 4. 役員等に責任・業務が集中 |
| 5. リーダー・後継者の引き受け手がいない | |
| 6. その他(具体的に |) |
| 7. 特に問題はない | |

(3) 現在、市民活動団体の担い手不足が大きな問題となっています。貴団体会員を増やすために
行っていることは何ですか。

(該当する番号全てに○を付けてください)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 会員募集のチラシ作成 | 2. 人脈の活用 |
| 3. 広報、ミニコミ誌等での募集 | 4. 積極的な活動内容の周知 |
| 5. イベント時の声掛け | 6. その他(|
| 7. 何もしていない |) |

(4) 会員について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

問5 貴団体の資金について伺います。

(1) 過去3年間の平均的な年間活動費用はどのくらいですか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 0万～5万円未満 | 2. 5万～10万円未満 |
| 3. 10万～50万円未満 | 4. 50万～100万円未満 |
| 5. 100万～500万円未満 | 6. 500万～1000万円未満 |
| 7. 1000万円以上 | |

(2) 貴団体の主な収入源は何ですか。

(該当する番号を金額の多い順に3つまで○を付けてください)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 会費 | 2. 行政からの補助金 |
| 3. 財団等民間からの助成金 | 4. 寄付金・賛助金・協賛金 |
| 5. 事業収入(バザー・参加費・出版物・チケット等) | |
| 6. 会費以外の個人負担(各自の持ち出し) | |
| 7. 行政からの業務委託 | 8. 借入金 |
| 9. その他(具体的に) | |

(3) 貴団体の負担となっている主な経費は何ですか。

(該当する番号を金額の多い順に3つまで○を付けてください)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 調査・研究費 | 2. 会場・施設などの使用料 |
| 3. 機材・資料・参考図書などの調達費 | 4. 他団体との交流費(交通費含む) |
| 5. イベント等の広報・宣伝にかかる費用 | 6. コピー代・印刷費 |
| 7. 通信費 | 8. 講師・出演者などにかかる経費 |
| 9. 事務所維持費 | 10. 人件費(事務局員への給与等) |
| 11. その他(具体的に) | |
| 12. 特に経済的負担はない | |

(4) 活動資金について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

問6 貴団体と他の団体との関係について伺います。

(1) 貴団体と関わりを持っている団体はありますか。

(該当する番号全てに○を付けてください)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 同様の分野の市民活動団体 | 2. 他分野の市民活動団体 |
| 3. 自治会 | 4. まちづくり協議会 |
| 5. 社会福祉協議会(地区社協含む) | 6. 民生員・児童員 |
| 7. 我孫子市 | 8. 千葉県 |
| 9. 他の行政 | 10. 民間企業教育機関 |
| 11. 教育機関 | 12. その他() |
| 13. 関わりはない | |

(2) 貴団体が今後関わりを持ちたい団体はありますか。

(該当する番号全てに○をつけてください)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 同様の分野の市民活動団体 | 2. 他分野の市民活動団体 |
| 3. 自治会 | 4. まちづくり協議会 |
| 5. 社会福祉協議会(地区社協含む) | 6. 民生員・児童員 |
| 7. 我孫子市 | 8. 千葉県 |
| 9. 他の行政 | 10. 民間企業教育機関 |
| 11. 教育機関 | 12. その他() |
| 13. 関わりは必要ない | |

(3) 我孫子市では、地域で活動する団体同士をつなげる仕組みとして「地域会議」の開催を進めています。

「地域会議」は、自治会、地区社協、市民活動団体、学校など地域で活動する様々な団体が集まり、地域の課題などを話し合う円卓会議（組織ではなく、「話し合う場」）です。

「地域会議」について、知っていますか。

1. 知っている
2. 名前は聞いたことはある
3. 知らない

(4) 現在、市内一部の地域で主に自治会とまちづくり協議会を中心として「地域会議」が開催され、今後市内11の地域で立ち上げていく予定です。今後、機会があれば「地域会議」に参加してみたいと思いませんか。

1. ぜひ参加してみたい
2. テーマ（内容）によって参加してみたい
3. 興味はあるので検討したい
4. 参加したくない／興味がない

(5) 現在、我孫子市にはあびこ市民活動ネットワーク（ACNW）という市民活動団体等のネットワーク組織があります。

「あびこ市民活動ネットワーク」について、知っていますか。

1. 知っている
2. 名前は聞いたことはある
3. 知らない
4. 既に参加している

(5) 他団体との連携について現在お困りのことがありましたらご記入ください。

問7 貴団体の今後の展望についてお伺いします。

(1) 貴団体では、今後NPO法人格を取得するお考えはありますか。

1. NPO法人格を取得したい
2. わからないが、NPO法人について勉強したい
3. 考えていない
4. 既に取得している
5. その他の法人格を取得したい（一般社団法人等）

(2) 今後の団体活動についてどのようにお考えですか。

1. 会員を増やして事業を拡大したい
2. 現状を維持して続けたい
3. 人数が減っても続けたい
4. 今取り組んでいる問題が解決すれば解散しても良い
5. 目的が同じ団体があれば、引き継ぎたい
6. 解散を検討している
7. 解散をしたいが、解散の仕方が分からない

問8 「あびこ市民活動ステーション」の利用についてお伺いします。

(1) 「あびこ市民活動ステーション」の利用頻度を教えてください。

1. 週3回以上 2. 週1～2回 3. 月2～3回 4. 月1回
5. 年数回 6. 年1回 7. 数年に1回 8. 利用していない

(2) 「あびこ市民活動ステーション」の利用目的を教えてください。

(該当する番号全てに○を付けてください)

1. 印刷機・コピー機・丁合機・紙折り機等事務機器の利用
2. 打合せ等での会議スペース等の利用
3. 市民活動に関する相談や情報の入手
4. 団体情報のPR (チラシ・ポスターの掲示等)
5. 備品ロッカー・メールボックスの利用
6. AV機器・PC機器・書籍の利用
7. その他 ()

(3) 今後の「あびこ市民活動ステーション」に期待する機能はなんですか。

(該当する番号に3つまで○を付けてください)

1. 市民活動全般の相談機能の充実
2. 市民活動団体向け研修・講座の開催
3. 市民活動の担い手づくり
4. 市民活動の活動資金に関する支援
5. 団体・事業者等との連携・協働の仲介
6. 市民活動イベントの開催
7. 団体情報のPR (チラシ・ポスターの掲示等)
8. 会議スペースの貸出・利用の充実
9. 資料作成機能 (コピー機・印刷機等) の充実
10. 貸出し機材 (プロジェクタ等) の充実
11. 備品 (備品ロッカー・メールボックス・AV機器・PC機器・書籍) の充実
12. 通信拠点機能 (私書箱設置等) の充実
13. 現状で満足
14. その他 ()

問9 我孫子市の市民活動支援に関するご意見や、市に期待することがありましたら、ご遠慮なくお書きください。